

地域社会保障教育推進事業 実施報告書

平成26年2月14日
株式会社 放送映画製作所

目次

1. 全体スケジュール	3
2. 委託事業実施状況報告	
(1) 実施体制	4, 5
(2) 学校の選定・調整過程	5
(3) 社会保障教育プログラムの策定	6～8
(4) 教材の作成・準備	9、10
(5) 授業の実施	
蒲田高校	11～13
足立新田高校	14, 15
桜修館中等教育学校	16, 17
芥川高校	18～20
茨木西高校	21, 22
(6) アンケートの集計結果	21～37
生徒	23～40
教師	41～56
3. 授業の実施結果の検証	
(1) 「プログラム(授業計画)」として効果的だったと思われる点	
(2) 「プログラム(授業計画)」としての問題点・改善点	
(3) 「教材」として効果的だったと思われる点	
(4) 「教材」としての問題点・改善点	
(5) 全体として	
蒲田高校	57～59
足立新田高校	60～62
桜修館中等教育学校	63～65
芥川高校	66～68
茨木西高校	69～71
4. 社会保障教育の全国展開・定着に向けた考察	
(1) 現状の課題	72
(2) 提案	72, 73
5. 参考資料	
(1) 指導書参考資料	74～78
(2) 授業実践報告参考資料	79, 80
(3) 教師オリジナル教材	81～113

1. 全体スケジュール

全校

	学校側との調整等	プログラム等作成	授業の実施
H25 8月	⇕ 実施校選定	⇕ プログラム策定 ⇕ 教材作成	
9月	⇕ 授業内容調整		
10月	⇕		
11月			● 授業実施
12月			

2. 委託事業実施状況報告

(1) 実施体制

① 受託者

株式会社 放送映画製作所

全体の事業統括責任者 秋元 康宏 (東京支社長)	会計管理責任者 三木 (経理部長)
調査分析責任者 関 克子 (営業企画部 マネージャー)	連絡窓口・事業進行管理 住吉 甚一郎 (営業企画部)
プログラム立案・教材制作 近藤 康博 (営業企画部)	学校連絡・調整 田阪 貫太 (営業企画部)

② 授業の実施校

学校名 (所在地)	国 公 私	科	学 年	人 数	充当 教科	担当教諭・講師	実施日
東京都立蒲田高等学校 (東京都大田区蒲田 1-1-30)	公	公民科	3	26 名	政治 経済	浅川 貴広 (公民科教諭)	平成25年11月15日 ・20日・22日
東京都立足立新田高等学校 (東京都足立区 新田2-10-16)	公	家庭科	3	40 名	家庭 総合	三野 直子 (家庭科教諭)	平成25年11月21日
東京都立桜修館中等教育学校 (東京都目黒区 八雲1-1-2)	公	社会科	3	40 名	公民 的分 野	高橋 勝也 (公民科教諭)	平成25年11月15日 ・22日

②授業の実施校

学校名 (所在地)	国 公 私	科	学 年	人 数	充 当 教 科	担当教諭・講師	実施日
大阪府立芥川高等学校 (大阪府高槻市浦堂1-12-1)	公	家庭科	3	40名	家庭基礎	稲葉 ゆかり	平成25年11月22日 ・27日・29日
大阪府茨木西高等学校(大阪府茨木市紫明園10番68号)	公	家庭科	3	29名	家庭基礎	西田 恵理	平成25年11月8日 ・12日

(2)学校の選定・調整過程

①当該学校の選定に至った経緯

【桜修館中等教育学校・蒲田高等学校】

担当教師には、生命保険に関する授業実践報告で原稿執筆を依頼したことがあり、また、平成24年度社会保障教育推進事業でお世話になった国際高等学校宮崎三喜男先生からも紹介いただいたため。

【足立新田高等学校・茨木西高等学校】

担当教師には、長年教材制作等にご協力をいただいております、昨年に続き今年も依頼を行った。

【芥川高等学校】

大阪府家庭科研究会の指導教諭主任からの紹介。

②選定に当たり留意した点

公立を念頭に選定した。

また、様々なケースでモデル授業を行うため、

普通科、定時制など幅を広げて選定し、

科目も、公民科、家庭科、福祉科など幅広く声を掛けた。

(スケジュールの問題で、今回は公民科、家庭科、社会科になった。)

また、卒業後に進学する生徒が多いのか、就職する生徒が多いのか等も考慮に入れた。

(3) 社会保障教育プログラムの策定

社会保障教育プログラムを策定するにあたり、
教材の表記を統一した。
以降の表記については、下記の通りである。

■ 社会保障を教える際に重点とすべき学習項目

⇒「重点とすべき学習項目」

■ 社会保障を教える際に重点とすべき学習項目の具体的内容

⇒「テキスト」

■ 映像教材

・「社会保障って、なに？」

⇒「映像教材」

■ 副教材（紙ベース）

・社会保障の理念やあり方を考えるワークシート

⇒「理念やあり方ワークシート」

・身近な社会保障を学んでいくワークシート

⇒「身近な社会保障ワークシート」

・年金教材『10個の「10分間講座」』

⇒「10個の「10分間講座」」

・厚生労働省HP掲載年金ワークシート

⇒「年金ワークシート」

【蒲田高等学校】

①策定者

授業を担当した教諭

②どのような点を授業のねらいにしたか

社会保障の必要性をわかりやすく伝えることをねらいにした。

③どの教材を採用したか(もしくは、どの教材を元に作成したか)

- ・理念やあり方ワークシート
- ・身近な社会保障ワークシート
- ・映像教材
- ・「10個の「10分間講座」」

④プログラム策定に当たり留意した点

社会保障は生徒にとって難しい内容であるため、パワーポイントを使いテンポよく授業を組み立てるようにした。

⑤プログラム策定に当たり参考にした資料

教科書

【足立新田高等学校】

①策定者

授業を担当した教諭

②どのような点を授業のねらいにしたか

社会保障を税金(社会保険料)の側から見つめ、制度がどう生活に関わってくるのかを、家計簿を作成するなどして生徒が実感をもって理解できるようにした点。

③どの教材を採用したか(もしくは、どの教材を元に作成したか)

- ・身近な社会保障ワークシート
- ・映像教材

④プログラム策定に当たり留意した点

社会保障については、2年時に学習した事があるので、前半に座学で学習させ、最後のおさらいに映像教材を視聴させた。

⑤プログラム策定に当たり参考にした資料

生命保険文化センター「新しい家庭経済授業プラン」

【桜修館中等教育学校】

①策定者

授業を担当した教諭

②どのような点を授業のねらいにしたか

豊かな社会を実現するための社会保障のありかたを生徒に考えさせながら学習させることをねらいにした。

③どの教材を採用したか(もしくは、どの教材を元に作成したか)

- ・テキスト
- ・理念やあり方ワークシート
- ・「10個の「10分間講座」」

④プログラム策定に当たり留意した点

生徒に考える力があるために、グループワークやディスカッションを多く取り入れた点。

⑤プログラム策定に当たり参考にした資料

教科書

【芥川高等学校】

- ①策定者
授業を担当した教諭
- ②どのような点を授業のねらいにしたか
卒業後に就職する学生が多いため、生活に活用できることをねらいにした。
- ③どの教材を採用したか(もしくは、どの教材を元に作成したか)
 - ・テキスト
 - ・理念やあり方ワークシート
 - ・映像教材
 - ・身近な社会保障ワークシート
- ④プログラム策定に当たり留意した点
座学で得た知識をアウトプットすることで理解を深めるため、最後の授業ではポスターを作成させるようにした。
- ⑤プログラム策定に当たり参考にした資料
現代社会の教科書、インターネット検索

【茨木西高等学校】

- ①策定者
授業を担当した教諭
- ②どのような点を授業のねらいにしたか
映像教材で概要を学ばせた後に、給付と負担について学ばせ、保険料を納める意味を理解させるようにした。
- ③どの教材を採用したか(もしくは、どの教材を元に作成したか)
 - ・テキスト
 - ・理念やあり方ワークシート
 - ・映像教材
- ④プログラム策定に当たり留意した点
授業の最後に、感想考察を記述させ、生徒自身に学んだことを整理させるようにした点。
- ⑤プログラム策定に当たり参考にした資料
特になし

(4)教材の作成・準備

【蒲田高等学校】

- ①厚生労働省提供教材以外で使用した・取り入れた資料等
求人票
- ②作成・準備に当たり留意した点
生徒の意識を高めるために、「リスク」をキーワードにした。
飽きさせないようにパワーポイントを使用した。
- ③作成・準備に当たり要した時間
3, 4時間程度。通常の授業の準備に要する時間と変わりはない。

【足立新田高等学校】

- ①厚生労働省提供教材以外で使用した・取り入れた資料等
新聞記事、童話、生命保険文化センター資料
- ②作成・準備に当たり留意した点
生徒の関心を引くために、童話から入り、制度の説明、生活との関わりなどを学習させた。
- ③作成・準備に当たり要した時間
通常とあまり変わらず、5時間程度。

【桜修館中等教育学校】

- ①厚生労働省提供教材以外で使用した・取り入れた資料等
特になし。
- ②作成・準備に当たり留意した点
公民科の授業なので、経済の観点から授業を行うようにした。
- ③作成・準備に当たり要した時間
3, 4時間程度

【芥川高等学校】

- ①厚生労働省提供教材以外で使用した・取り入れた資料等
高槻市HP、機構の年金資料、厚労省・年金機構ポスター
- ②作成・準備に当たり留意した点
生徒が学んだものを整理し、アウトプットできるようにポスターを作製させた点。
- ③作成・準備に当たり要した時間
他の授業と並行して準備しているので、正確ではないが1時間の授業につき、それぞれ3, 4時間。通常の授業の準備に要する時間と変わりはない。

【茨木西高等学校】

- ①厚生労働省提供教材以外で使用した・取り入れた資料等
特になし
- ②作成・準備に当たり留意した点
生徒の関心を引くために、パワーポイントに落とし込み学習させた。
- ③作成・準備に当たり要した時間
5, 6時間。通常の授業の準備に要する時間と変わりはない。

(5)授業の実施

① 東京都立蒲田高等学校(公立)

- (1)所在地 : 東京都大田区蒲田1-1-30
(2)受講生徒 : 普通科3年生(1クラス計26名)
(3)充当教科 : 公民科政治経済
(4)社会保障関連の授業の学習状況

今回の授業の前に租税について学習した際、社会保障についても少し触れて学習させた。

1 限目

- (1)日時
平成25年11月15日(金) 9:40~10:30
- (2)講師
浅川 貴広(公民科教諭)
- (3)目的(ねらい)等
「社会保障」とは何かというテーマをもとに、社会保障の理念を学び、社会保障制度に対する意欲・関心を高める。
- (4)使用教材
①厚生労働省作成副教材「身近な社会保障ワークシート」
②厚生労働省作成副教材「社会保障って、なに？」
③映像教材用ワークシート(先生オリジナル)
- (5)内容

展開	内 容	使用教材
15分	「社会保障」を学ぶ上での導入を行う。 ・人生には病気になることや、将来介護が必要となる可能性があるなど、リスクがあり、いつまでも順風満帆ではないことを生徒に説明する。 ・教材①の「社会の一員として生きていくこととは」に記入をしながら学習させる。その際に、実際の求人票を見ながら記入させる。 ・家計の基本的なやりくりを考えさせたうえで、想定外のリスクに遭遇した場合にどうするかを考えさせ、発表させる。	教材①
35分	映像教材を視聴させる。 ・映像教材を基に作成した、ワークシートを記入しながら、生徒に興味を持たせ、問題喚起を行う。映像も途中で一時停止して、解説を入れる。また、ワークシートの最後には、「映像教材」を視聴した後の「社会保障」に対する意識をまとめさせる。	教材②, ③

2限目

- (1)日時
平成25年11月20日(水) 9:40～10:30
- (2)講師
浅川 貴広(公民科教諭)
- (3)目的(ねらい)等
社会保障制度と私たちの人生の結びつきを学ばせた上で、社会保障制度の概要、財源や仕組み、日本の現状を学ばせる。
- (4)使用教材
①厚生労働省作成副教材「身近な社会保障ワークシート」
②厚生労働省作成副教材「理念やあり方ワークシート」
- (5)内容

展開	内 容	使用教材
3分	・前回の復習 ・社会保障に関する高校生クイズ(教諭作成パワーポイント)を出題して、前回の授業で視聴したDVDのおさらいを行う。	
10分	私たちの人生と、社会保障がどのように関係しているのかを学習させる。 ・教材①の「わたしたちの生活と社会保障」を用いて、私たちの人生と社会保障がどのように関わっているのかをまとめさせる。 ・【こども期】【青年後(労働期間)】【老年期(退職後)】それぞれの段階でどのようなリスクがあるのかを考えていく。 ・そのリスクに対して社会保障によりどのような備えが用意されているのかをワークシートに記入して学習させる。それにより、一生涯にわたって社会保障が関わっていることを理解させる。	教材①
12分	社会保障制度の在り方や、その財源などについて学習させる。 ・教材②の「社会保障制度を整理してみよう」を記入しながら社会保障について学習させる。 ・「市場」「家庭」「政府」の3つの関わりあいから、市場経済と社会保障制度の所得の再分配機能を学習させる。 ・教材②の「「幸福を分かち合う社会」とは？」を使い、望ましいと考える社会保障制度について考えさせる。その後、黒板に貼った座標にシールを張らせ、何故そう考えたのかを発表させる。	教材②
23分	社会保障制度の概要をまとめ、その仕組みや財源などについて学ぶ。 ・教材②の「社会保障制度」…「国によって様々なパターンがある。」を使い、国によって社会保障制度の在り方の違いがあることを学習させる。 - その際、以下のことを重点的に理解させる。 ・日本は高齢化が世界でも最高水準となっている一方で、低負担ながら、様々な社会保障制度が整っている。 ・スウェーデンとアメリカの対比から、社会の仕組みが社会保障制度にも影響を及ぼしていることを考えさせる。 ・上記を学習した上で、どの国の形が良いのかをグループで話し合い発表させる。	教材②
2分	本時の授業を振り返る。	

3限目

(1)日時

平成25年11月22日(金) 9:40～10:30

(2)講師

浅川貴広(公民科教諭)

(3)目的(ねらい)等

日本の年金制度の概要について学ぶとともに、その利点と今後の課題について学び、社会保障制度の学習のまとめを行う。

(4)使用教材

①「10個の「10分間講座」

②厚生労働省作成副教材「身近な社会保障ワークシート」

③厚生労働省作成副教材「理念やあり方ワークシート」

④年金人生ゲーム(教師オリジナル)

(5)内容

展開	内 容	使用教材
5分	前2回の授業の復習 ・社会保障制度は人生のリスクを補うもの ・所得の再分配機能 ・社会保障制度はだれが担うかによって異なり、長所と短所があること。	
35分	年金制度の仕組みと、日本の年金制度の現状、課題を学習させる。 ・教材①を使い、年金に対する理解を深めさせる。 ・教材②の「高校生として必ず押さえておきたい“年金の基礎知識”」を使い、年金にはどのような種類があるのかを学習させる。 ・教材④を通して、貯蓄と年金の違いについて理解させる。 その際、以下のことを重点的に理解させる。 ・日本の年金制度は、物価の変動や老後の生活などの点から、個人の貯蓄よりも優れている。 ・日本の年金制度の維持には、少子高齢化など様々な課題を抱えており、現在、そのための対策が進められている。 ・年金人生ゲームでは、社会保障制度があるグループとないグループに分け、社会保障制度によるリスクの回避を実感して学習させる。 ・教材②の「高校生として必ず押さえておきたい“公的年金のメリット”」を使い、貯蓄にはない年金保険の安心感を学習させる。	教材①、②、③、④
10分	・社会保障制度のまとめ ・社会保障制度に対する考えが、学習活動を通じてどのように変化したかまとめさせる。	教材②
5分	・本日の授業を振り返る。	

② 東京都立足立新田高等学校(公立)

- (1)所在地 : 東京都足立区新田2-10-16
 (2)受講生徒 : 普通科3年生(1クラス計40名)
 (3)充当教科 : 家庭科家庭総合
 (4)社会保障関連の授業の学習状況
 2学年時に、社会保障について一度学習済み。

1 限目

- (1)日時
 平成25年11月21日(木) 8:45~9:35
 (2)講師
 三野直子(家庭科教諭)
 (3)目的(ねらい)等
 社会保障制度を税金(社会保険料)の側から見つめ、国の制度が私たちの生活をどのような形で支えているかを考えながら、理解を深める。
 (4)使用教材
 ①教師オリジナル資料
 ②厚生労働省作成副教材「身近な社会保障ワークシート」
 (5)内容

展開	内 容	使用教材
10分	今の社会保障制度が出来た経緯を考えさせる。 ・パワーポイントをスクリーンに投影して授業を展開。 ・「ありとぎりぎりす」「三匹のこぶた」「フランダースの犬」を紹介して、社会保障制度というものが全くない状況を理解させる。 ・1850年代の会話から社会保障制度の役割を確認させる。	教材①
30分	社会保険の種類を確認させる。 ・社会保険にはどのようなものがあるのかを生徒に書かせながら確認させる。 ・家計を考えさせる。 ・社会人になったら得る給料から家計を考えさせる。 ・可処分所得・税金・社会保険料を確認させる。 ・身近な社会保障ワークシートの「社会の一員として生きていくこととは」を使い、自立した一人暮らしのやりくりについて考えさせる。 ・ワークシート記入後は生徒に、どのような結果になったかを答えさせる。	教材①、②
10分	・人生における社会保障制度を学習させる。 教材②「私たちの生活と社会保障」を使い、生徒に考えさせる。	教材②

2限目

(1)日時

平成25年11月21日(木) 9:45～10:35

(2)講師

三野直子(家庭科教諭)

(3)目的(ねらい)等

社会保障制度を税金(社会保険料)の側から見つめ、国の制度が私たちの生活をどのような形で支えているかを考えながら、理解を深める。

(4)使用教材

①厚生労働省作成副教材「身近な社会保障ワークシート」

②厚生労働省作成副教材「社会保障って、なに？」

(5)内容

展開	内 容	使用教材
20分	給付と負担の関係性を学習させる。 ・教材①の「ライフサイクルでみた社会保障の給付と負担のイメージ」を使い、給付と負担について学習させる。 ・高齢期になると給付の割合が大きく増え、全体でみると負担が少ないことを理解させる。 年金の基礎知識とメリットを学習させる。 ・教材①の「高校生として必ず押さえておきたい“年金の基礎知識”と高校生として必ず押さえておきたい“公的年金のメリット”」を使い、学習させる。 ・物価の変動を知ることで、公的年金がリスクへ備えていることを理解させる。	教材①
25分	映像教材を視聴させる。 ・これまでの授業で学んだことを振り返りながら映像教材を視聴させる。	教材②
5分	学習のまとめ ・アンケートに記入させながら、考えをまとめさせる。	

③ 東京都立桜修館中等教育学校(公立)

- (1)所在地 : 東京都目黒区八雲1-1-2
 (2)受講生徒 : 中学3年生(1クラス計40名)
 (3)充当教科 : 社会科公民的分野
 (4)社会保障関連の授業の学習状況
 今回が初。

1 限目

- (1)日時
 平成25年11月15日(金) 11:35~12:25
 (2)講師
 高橋勝也(公民科教諭)
 (3)目的(ねらい)等
 豊かさを分かち合うことについて主体的に考察する。より良い、豊かな社会を実現するために、どうあるべきかを考察する。
 (4)使用教材
 ①厚生労働省作成副教材「理念やあり方ワークシート」(ワークシート、ファクトシート)
 ②厚生労働省作成副教材「テキスト」
 (5)内容

展開	内 容	使用教材
14分	「社会保障制度」に関する高校生クイズに取り組ませる。 ・Q1,Q2生徒数名に発表させ、正解を教えた後に解説を加えていく。 ・クイズによって私たちの生活に非常に身近な存在であることに気付かせる。 ・社会保障が私たちの生活を支える存在であることに気付かせる。	教材①
34分	理想とする社会保障制度について考え、発表させる。 ・あなたが望ましいと考える「サービス・負担」の座標を黒板に書き、生徒3名に答えさせる。その後、どれが良いと思うのかをクラス全体に問いかけ挙手で解答させる。さらに、4人グループで話し合い、考えさせる。 ・教材①、「日本の税金や社会保険料は高い？低い？」を使い、他国と比較させる。 ・低負担・高サービスは実際には難しい事に気づかせる。 ・現実の日本における「社会保障制度」の実態を考え、発表させる。 日本の「社会保障制度」の現状を考察させる。 ・教材②を生徒に読ませ、解説を入れていく。 社会保障の4つの柱を理解させる。 ・日本の「社会保障制度」における制度を概観する。	教材①、②
2分	本日の授業を振り返る。 ・本日の授業の感想を書かせる。	

2限目

(1)日時

平成25年11月22日(金) 11:35～12:25

(2)講師

高橋勝也(公民科教諭)

(3)目的(ねらい・テーマ)等

豊かさを分かち合うことについて主体的に考察する。より良い、豊かな社会を実現するために、どうあるべきかを考察する。

(4)使用教材

①厚生労働省作成副教材「理念やあり方ワークシート」(ワークシート、ファクトシート)

②厚生労働省作成副教材「テキスト」

③「10個の「10分間講座」」

(5)内容

展開	内 容	使用教材
10分	教材③からクイズ形式で日本における少子高齢化を実感させる。 ・スクリーンに映し出し、生徒に挙手で答えさせ、解説を入れていく。 ・最後に教材②のコラムを読ませてまとめさせる。	教材③、②
15分	市場経済と所得の再分配機能の関係を理解させる。 ・教材①「社会保障制度を整理してみよう。」を使い学習させる。	教材①
25分	日本・アメリカ・スウェーデンの社会保障制度を支える仕組みを理解させる。 ・どの国の仕組みが良いか考えさせる。 ・グループを作り、グループ内でどの国が良いかを話し合っ、決定したものを発表させる。	教材①
5分 (授業終了後)	まとめ ・2回の授業を受けて、社会保障制度についてのアンケートに回答せる。	

④ 大阪府立芥川高等学校(公立)

- (1)所在地 : 大阪府高槻市浦堂1-12-1
 (2)受講生徒 : 普通科3年生(1クラス計40名)
 (3)充当教科 : 家庭科家庭基礎
 (4)社会保障関連の授業の学習状況
 今回が初。

1 限目

- (1)日時
 平成25年11月22日(金) 8:40~9:30
 (2)講師
 稲葉ゆかり(家庭科教諭)
 (3)目的(ねらい)等
 社会保障制度について、身近であり、知らなければ困ることを知る。
 (4)使用教材
 ①厚生労働省作成副教材「理念やあり方ワークシート」(ワークシート、ファクトシート)
 ②「10個の「10分間講座」」
 ③映像教材「社会保障って、なに？」
 ④映像教材用ワークシート(教師オリジナル)
 (5)内容

展開	内 容	使用教材
3分	本時の目的を理解させる。	
10分	社会保障について、身近であり、知らなければ困ることを理解させる。 ・教材①高校生クイズ、教材②から抜粋したクイズに取り組みせ、その後解説を加えていく。 ・学習を通して、自分のイメージしていた社会保障制度と実際の社会保障制度のギャップを実感させる。	教材①、②
27分	映像教材を視聴させる。 ・映像教材を基に作成したワークシートに記入しながら視聴させる。	教材③、④
5分	映像教材視聴後、分かったこと、分からなかったこと、感想を書かせる。	教材③
5分	本日の授業を振り返る。	

2限目

(1)日時

平成25年11月27日(水) 14:20～15:10

(2)講師

稲葉ゆかり(家庭科教諭)

(3)目的(ねらい・テーマ)等

前回の映像教材視聴を振り返り、社会保障制度の理念、概要と意義、必要性について理解する。国ごとの違いにも触れ、日本がこれからどのような制度を目指していくのが良いか考える。また、「高校生として知っておかなければいけない」項目について自分なりにまとめ、次回のポスター作製につなげる。

(4)使用教材

- ①映像教材用ワークシート(教師オリジナル)
- ②厚生労働省作成副教材「テキスト」
- ③厚生労働省作成副教材「身近な社会保障ワークシート」
- ④教材②・③を基に作成したワークシート(教師オリジナル)
- ⑤厚生労働省作成副教材「理念やあり方ワークシート」

(5)内容

展開	内 容	使用教材
5分	前回の映像教材視聴時のワークシートを返却し内容を振り返る。	教材①
30分	日本の社会保障制度の考え方を理解させる。 リスクと自助、共助、公助、他の国の現状を学習させる。 ・教材②③をもとに作成した教材④を学習させる。 解説を入れながら、ワークシートに記入させる。 ・高槻市の年金事務所の配布物を紹介し、学生納付特例の申請の仕方があることを紹介する。 ・生活者として自立についても考えさせる。	教材②、③、④
10分	教材⑤を使い、国ごとで違いがあることを学習させる。	教材⑤
5分	生徒が、年金、医療保険について学内の他の生徒に一番知らせたいことを振り返りシートにまとめさせる。	教材②

3限目

(1)日時

平成25年11月29日(金) 8:40～9:30

(2)講師

稲葉ゆかり(家庭科教諭)

(3)目的(ねらい・テーマ)等

これまでの授業で学んだことをポスターの形にすることでより自分の側に引き寄せて考えさせ、定着させる。また、校内に展示し、他の生徒への啓蒙も行う。

(4)使用教材

- ①映像教材用ワークシート(教師オリジナル)
- ②厚生労働省作成副教材「テキスト」
- ③厚生労働省作成副教材「身近な社会保障ワークシート」
- ④教材②・③を基に作成したワークシート(教師オリジナル)
- ⑤厚生労働省作成副教材「理念やあり方ワークシート」

(5)内容

展開	内 容	使用教材
5分	本時の目的を理解させる。	
35分	2時間の学習で学んできた知識をアウトプットすることで、自分自身での理解度を実感させるために、社会保障を本校の生徒に知らせるポスターを作成させる。 ・これまでの「映像教材」視聴や、学習したことの中から、 「これは知っておかなければ」 「これは大切なこと」 「知っていると思える」 「一番印象に残っている」 を考えて公共広告ポスターの形にさせる。	前2回で使用してきた教材を参照。
10分	振り返り 完成したポスターを黒板に張り出し、お互いの作品を見てもらう。 感想を書かせる。	

⑤大阪府立茨木西高等学校(公立)

- (1)所在地 : 大阪府茨木市紫明園10番68号
 (2)受講生徒 : 普通科3年生(1クラス計29名)
 (3)充当教科 : 家庭科家庭基礎「発育と保育」
 (4)社会保障関連の授業の学習状況
 今回が初。

1 限目

- (1)日時
 平成25年11月8日(金) 11:40~12:30
 (2)講師
 西田恵理(家庭科教諭)
 (3)目的(ねらい)等
 「社会保障って、なに？」(視聴覚教材)を利用する事により社会保障について理解を深め、自分の生き方や生活に役立てる。
 (4)使用教材
 ①厚生労働省作成副教材「テキスト」
 ②映像教材「社会保障って、なに？」
 ③教材②を基に作成したワークシート(教師オリジナル)
 (5)内容

展開	内 容	使用教材
5分	本時の目的を理解させる。 ・事前アンケートに回答させる。	
35分	「映像教材」を視聴させる。 ・視聴する前に人生にどのような「リスク」があるのかを考え、答えさせる。 ・教材①の社会保障の考え方を生徒に読ませる。 ・視聴しながら教材③に記入させ、年金と健康保険についてしっかりと考え、理解を深めさせる。	教材①、②、③
10分	本時の授業を振り返る。 ・テーマ「社会保障と私」で作文を作成させる。「映像教材」で学習した感想、考察、健康保険・公的年金について記述させる。	教材③

2限目

(1)日時

平成25年11月12日(火) 8:40～9:30

(2)講師

西田恵理(家庭科教諭)

(3)目的(ねらい)等

公的年金のあり方や保険料を納める意味、少子高齢化への対応について自ら考え、自分の生き方や生活に役立てる。

(4)使用教材

①厚生労働省作成副教材「理念やあり方ワークシート」

②厚生労働省作成副教材「テキスト」

③教材①、②を基に作成したワークシート(教師オリジナル)

(5)内容

展開	内 容	使用教材
3分	本時の目的を理解させる。	
8分	社会保障クイズの実施 ・教材①社会保障クイズに解答し、「年金」「健康保険」について理解を深めさせる。グループで取り組ませる。	教材①
10分	社会保障制度におけるサービスと負担について考えさせる。 ・教材①「あなたが望ましいと考える「社会保障制度」とは」、に記入させた上で、意見を発表させる。まずは個人で考えさせた後に、グループで考えを話し合わせ、発表させる。	教材①、③
10分	ワークシートの資料より、諸外国と比較した日本における社会保障制度の負担規模を把握させる。 ・日本の税金や社会保険料について考えさせる。 ・65歳以上人口比率との対比では、諸外国に比べて負担規模は必ずしも大きくないことを理解させる。	教材①、③
5分	教材①を使い、所得の再分配について学習させる。	教材①、②、③
10分	日本・アメリカ・スウェーデンの社会保障を支える仕組みを理解させる。 ・F・G・Mのグラフを使い、どれが日本にあてはまるかを考えさせる。 ・どの国の仕組みが良いか考えさせる。	教材①、③
4分	本日の授業を振り返る。 ・社会保障制度のあり方など、感想・考察を記入させる。	

(6)アンケート集計結果 -生徒-

3 アンケート案 生徒用(1)

【生徒用】授業前及び各授業終了後の感想

地域社会保障教育推進事業「社会保障教育プログラム」に関するアンケート

学校名	学年	性別
高等学校	年生	男・女

①授業前にご記入をお願いいたします。

1. 社会保障について知っていますか？あてはまるものに○を付けてください。

①よく知っている・②少し知っている・③『社会保障』という言葉は聞いたことがある・④あまり知らない・⑤全く知らない

2. 社会保障について関心がありますか？あてはまるものに○を付けてください。

①関心が高い・②やや関心が高い・③普通・④関心がやや低い・⑤関心が低い

3. 社会保障に対するイメージは？あてはまるものに○を付けてください。

①良い・②やや良い・③普通・④あまり良くない・⑤良くない

②授業終了後にご記入をお願いいたします。

4. 今回の授業を受けて、社会保障について関心が高まりましたか？あてはまるものに○を付けてください。

①関心が高くなった・②関心がやや高くなった・③変わらなかった・④関心がやや低くなった・⑤関心が低くなった

5. 今回の授業を受けて、社会保障の仕組みが理解できましたか？あてはまるものに○を付けてください。

①十分理解できた・②やや理解できた・③変わらなかった・④あまり理解できなかった・⑤理解できなかった

6. 社会保障に対するイメージは変わりましたか？あてはまるものに○を付けてください。

①良いイメージになった・②やや良いイメージになった・③変わらなかった・④やや良くないイメージになった・⑤良くないイメージになった

7. 今回の授業で使用した社会保障教育の教材はわかりやすかったですか？あてはまるものに○を付けてください。

①わかりやすかった・②ややわかりやすかった・③普通・④ややわかりにくかった・⑤わかりにくかった

8. 今後もこのような社会保障教育に関する学習に取り組みたいと思いますか？あてはまるものに○を付けてください。

①そう思う・②ややそう思う・③どちらとも言えない・④あまりそう思わない・⑤そう思わない

9. 授業を受けた感想をお書きください。

9. 授業の良かったと思われる点をお書きください。

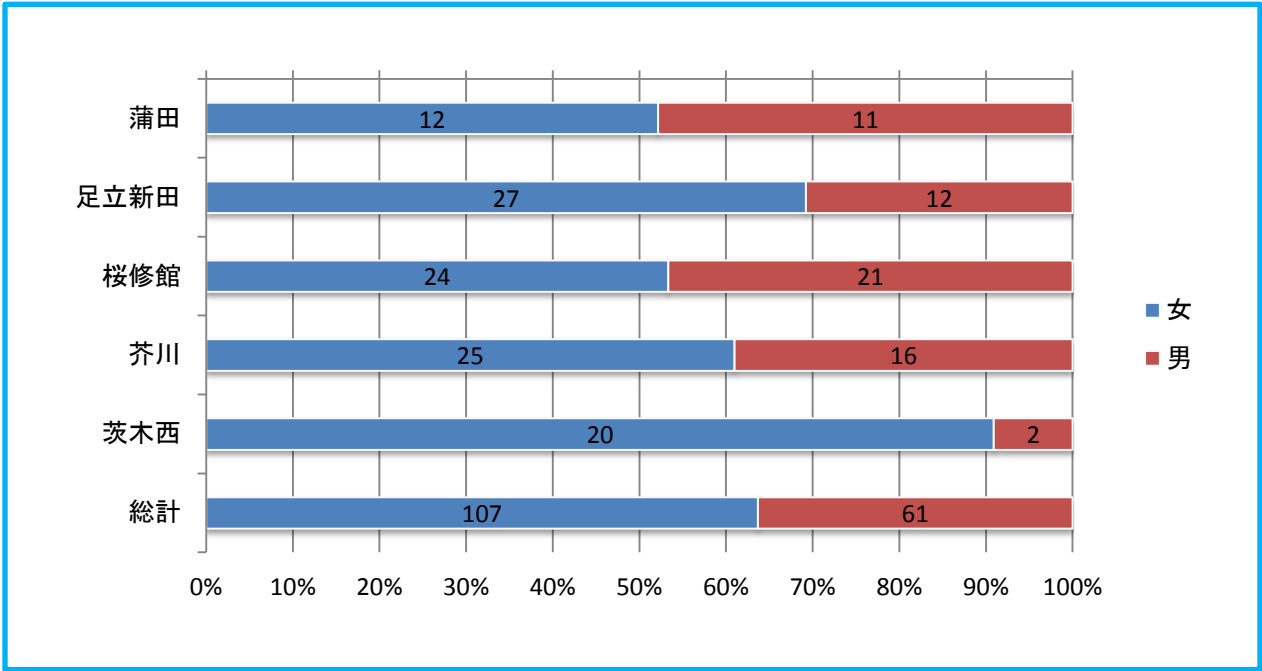
10. 授業について改善したら良いと思われる点をお書きください。(教材について、わかりにくかった事、もっと詳しく知りたかった事などをお書きください。)

11. 社会保障全般についてどう思いますか？お書きください。

5校の生徒の内訳

(単位:人)

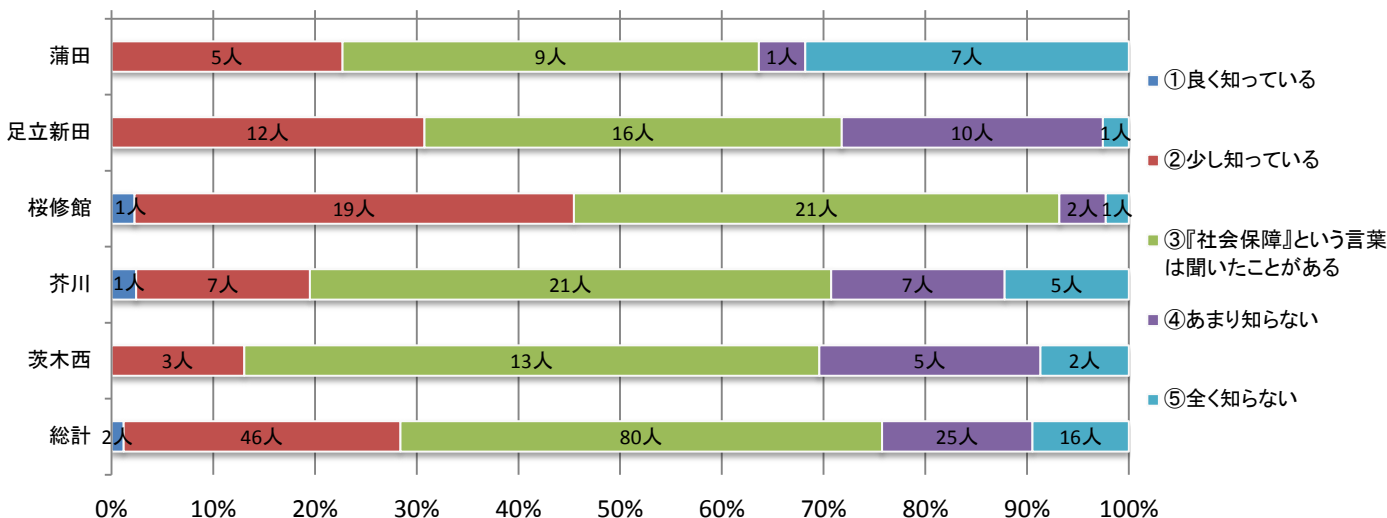
	蒲田	足立新田	桜修館	芥川	茨木西	総計
女	12	27	24	25	20	107
男	11	12	21	16	2	61
総計	23	39	45	41	22	170



授業前

問1. 社会保障について知っていますか？

設問回答項目	蒲田		足立新田		桜修館		芥川		茨木西		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
①良く知っている		0%		0%	1	2%	1	2%		0%	2	1%
②少し知っている	5	23%	12	31%	19	43%	7	17%	3	13%	46	27%
③『社会保障』という言葉は聞いたことがある	9	41%	16	41%	21	48%	21	51%	13	57%	80	47%
④あまり知らない	1	5%	10	26%	2	5%	7	17%	5	22%	25	15%
⑤全く知らない	7	32%	1	3%	1	2%	5	12%	2	9%	16	9%
総計	22	100%	39	100%	44	100%	41	100%	23	100%	169	100%



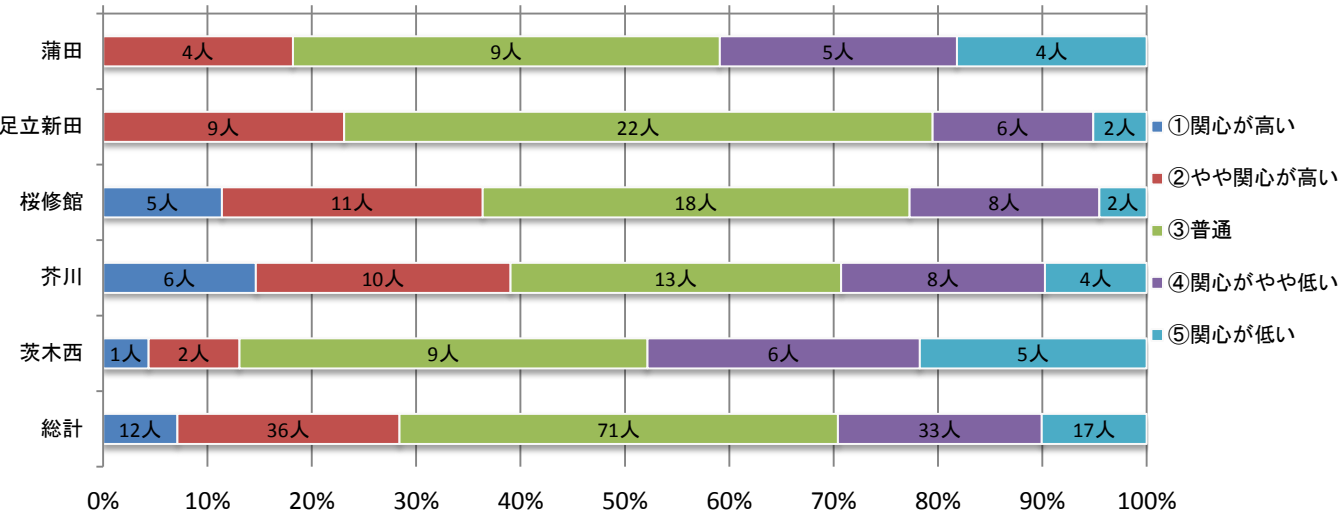
授業前の「社会保障」に対する生徒の認知度については、約半数の47%が「社会保障という言葉は聞いたことがある。」と回答している。社会保障について知識があると答えた生徒は、28%であるのに対し、知らないと答えた生徒は24%であり、同程度の割合であった。

内容までは知らないが、ニュースや授業で耳にしたことがある生徒が多いという結果になった。

ただし、進学校である桜修館は、知っている生徒が45%であるのに対して知らないと答えた生徒が7%であった。

問2. 社会保障について関心がありますか？

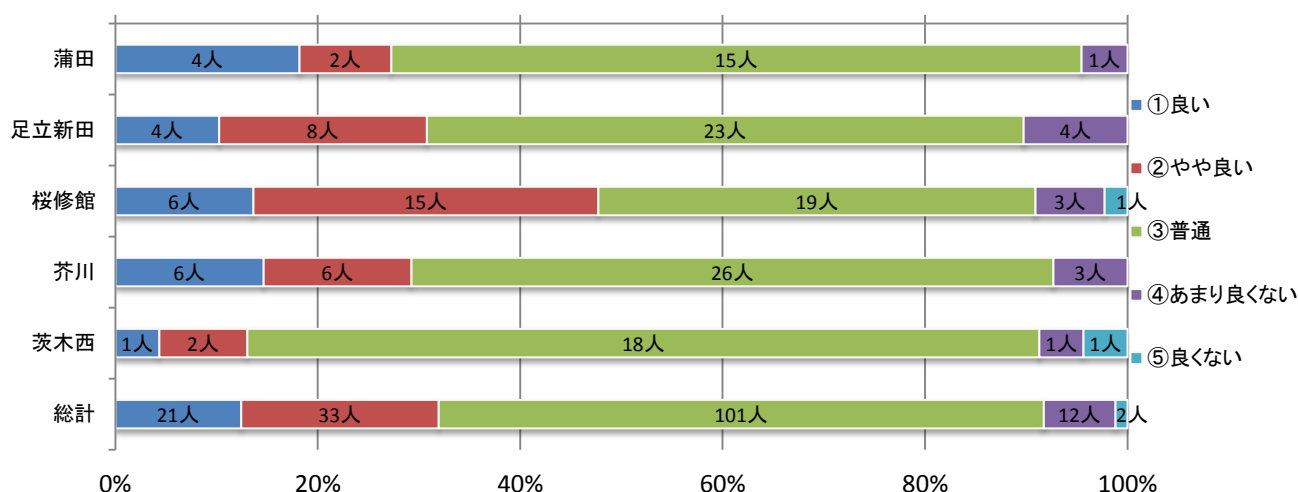
設問回答項目	蒲田		足立新田		桜修館		芥川		茨木西		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
①関心が高い		0%		0%	5	11%	6	15%	1	4%	12	7%
②やや関心が高い	4	18%	9	23%	11	25%	10	24%	2	9%	36	21%
③普通	9	41%	22	56%	18	41%	13	32%	9	39%	71	42%
④関心がやや低い	5	23%	6	15%	8	18%	8	20%	6	26%	33	20%
⑤関心が低い	4	18%	2	5%	2	5%	4	10%	5	22%	17	10%
総計	22	100%	39	100%	44	100%	41	100%	23	100%	169	100%



授業前の「社会保障」に対する生徒の関心度については、最も多い回答が、42%の「普通」であった。「関心が高い」とした生徒は28%、「関心が低い」とした生徒は30%であり、ほぼ同数であった。全体を見ると、高校生にとっての社会保障に対する関心は、特段高くもなく、低くもないという結果になった。

問3. 社会保障に対するイメージは？

設問回答項目	蒲田		足立新田		桜修館		芥川		茨木西		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
①良い	4	18%	4	10%	6	14%	6	15%	1	4%	21	12%
②やや良い	2	9%	8	21%	15	34%	6	15%	2	9%	33	20%
③普通	15	68%	23	59%	19	43%	26	63%	18	78%	101	60%
④あまり良くない	1	5%	4	10%	3	7%	3	7%	1	4%	12	7%
⑤良くない		0%		0%	1	2%		0%	1	4%	2	1%
総計	22	100%	39	100%	44	100%	41	100%	23	100%	169	100%



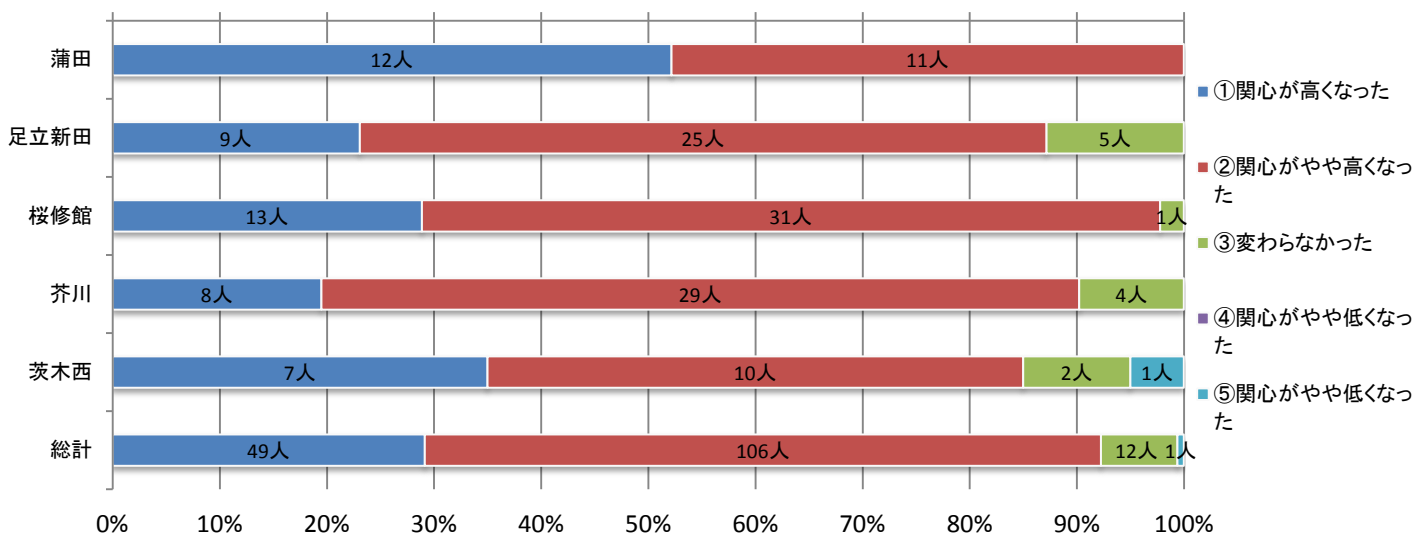
授業前の「社会保障」に対する生徒のイメージについては、「良い」「やや良い」イメージを持っている生徒が32%、「あまり良くない」「良くない」イメージを持っている生徒が8%であり、どちらかと言うと良いイメージを持った生徒が多かったが、60%の生徒が「普通」と回答しており、社会保障に対するイメージが固まっていない生徒が多いという事を読み取ることができる。

問1において社会保障について「良く知っている」「少し知っている」と回答した比率が5校中最も高かった(45%)桜修館中等教育学校は、イメージについても「良い」「やや良い」の比率が最も高く(48%)、逆に、問1の比率が5校中最も低かった(13%)茨木西高校は、イメージが「良い」「やや良い」の比率が最も低かった(13%)。

授業後

問4. 今回の授業を受けて、社会保障についての関心が高まりましたか？

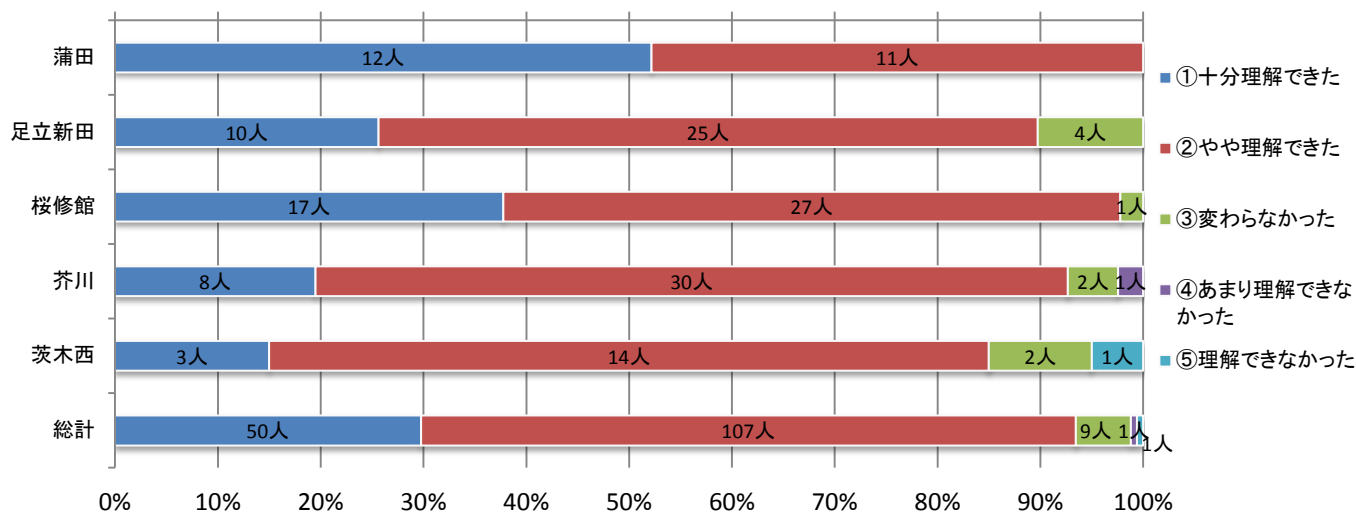
設問回答項目	蒲田		足立新田		桜修館		芥川		茨木西		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
①関心が高くなった	12	52%	9	23%	13	29%	8	20%	7	35%	49	29%
②関心がやや高くなった	11	48%	25	64%	31	69%	29	71%	10	50%	106	63%
③変わらなかった		0%	5	13%	1	2%	4	10%	2	10%	12	7%
④関心がやや低くなった		0%		0%		0%		0%		0%		0%
⑤関心がやや低くなった		0%		0%		0%		0%	1	5%	1	1%
総計	23	100%	39	100%	45	100%	41	100%	20	100%	168	100%



授業後の「社会保障」に対する生徒の関心度については、「関心が高くなった」が29%、「関心がやや高くなった」が63%と、92%の生徒に関心の向上が見られた。

問5. 今回の授業を受けて、社会保障の仕組みが理解できましたか？

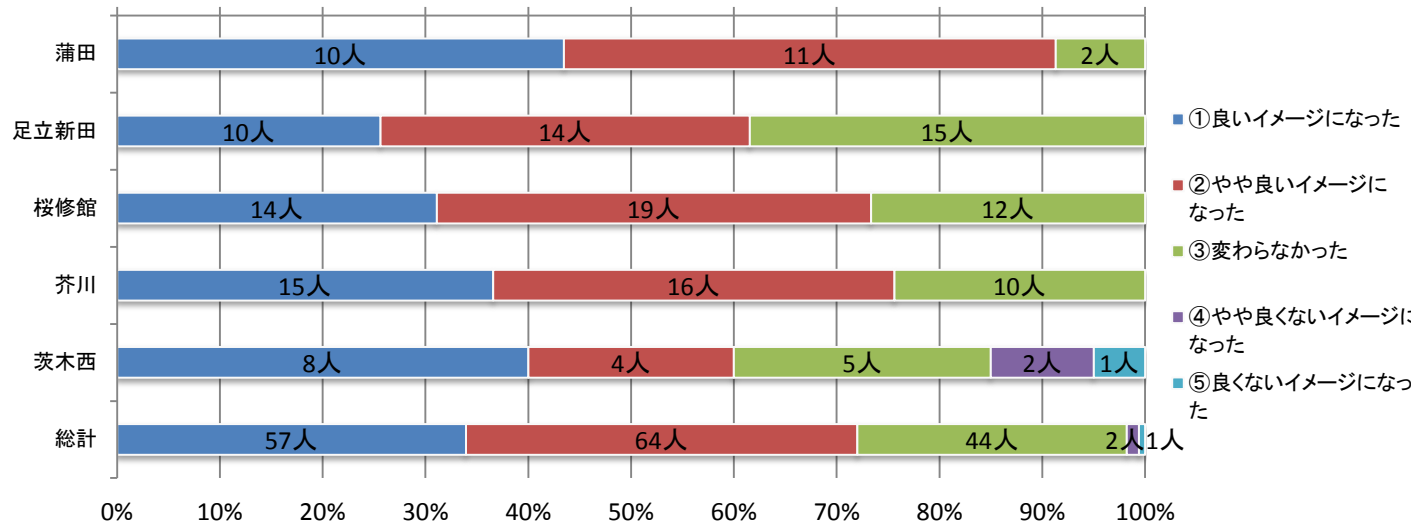
設問回答項目	蒲田		足立新田		桜修館		芥川		茨木西		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
①十分理解できた	12	52%	10	26%	17	38%	8	20%	3	15%	50	30%
②やや理解できた	11	48%	25	64%	27	60%	30	73%	14	70%	107	64%
③変わらなかった		0%	4	10%	1	2%	2	5%	2	10%	9	5%
④あまり理解できなかった		0%		0%		0%	1	2%		0%	1	1%
⑤理解できなかった		0%		0%		0%		0%	1	5%	1	1%
総計	23	100%	39	100%	45	100%	41	100%	20	100%	168	100%



授業後の「社会保障」に対する生徒の理解度については、「十分理解できた」が30%、「やや理解できた」が64%と、94%の生徒に理解の向上が見られ、授業を通して社会保障の仕組みへの理解が深まったことが読み取れる。

問6. 社会保障に対するイメージは変わりましたか？

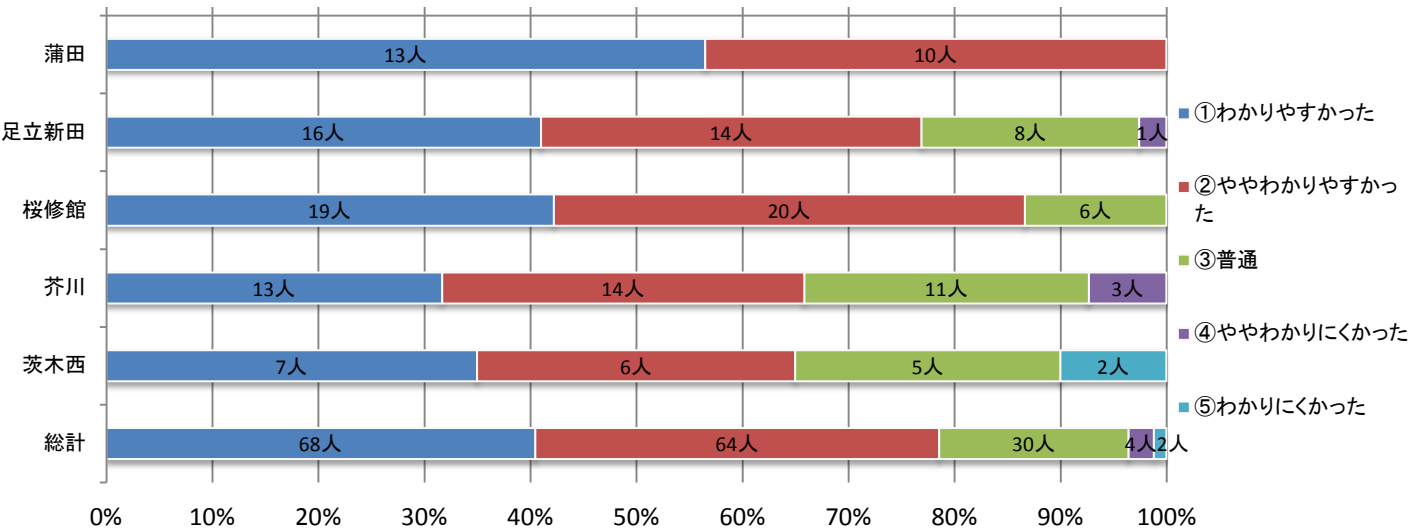
設問回答項目	蒲田		足立新田		桜修館		芥川		茨木西		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
①良いイメージになった	10	43%	10	26%	14	31%	15	37%	8	40%	57	34%
②やや良いイメージになった	11	48%	14	36%	19	42%	16	39%	4	20%	64	38%
③変わらなかった	2	9%	15	38%	12	27%	10	24%	5	25%	44	26%
④やや良くないイメージになった		0%		0%		0%		0%	2	10%	2	1%
⑤良くないイメージになった		0%		0%		0%		0%	1	5%	1	1%
総計	23	100%	39	100%	45	100%	41	100%	20	100%	168	100%



授業後の「社会保障」に対する生徒のイメージについては、「良いイメージになった」が34%、「やや良いイメージになった」が38%と、72%の生徒に授業後のイメージの向上が見られた。

問7. 今回の授業で使用した社会保障の教材はわかりやすかったですか？

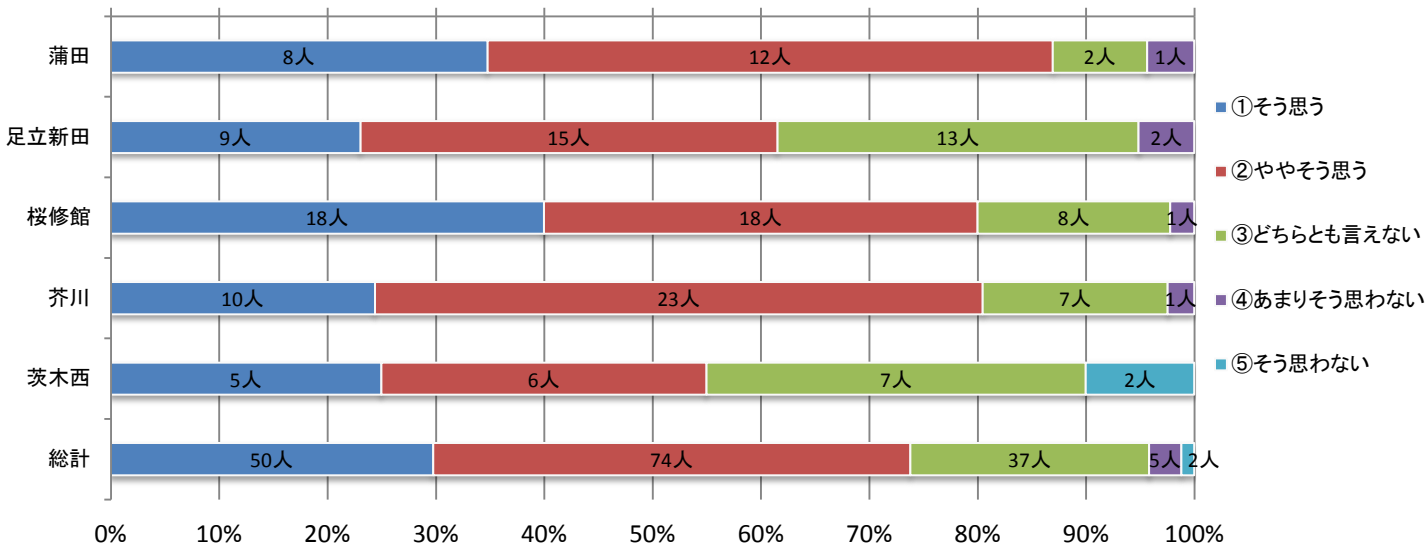
設問回答項目	蒲田		足立新田		桜修館		芥川		茨木西		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
①わかりやすかった	13	57%	16	41%	19	42%	13	32%	7	35%	68	40%
②ややわかりやすかった	10	43%	14	36%	20	44%	14	34%	6	30%	64	38%
③普通		0%	8	21%	6	13%	11	27%	5	25%	30	18%
④ややわかりにくかった		0%	1	3%		0%	3	7%		0%	4	2%
⑤わかりにくかった		0%		0%		0%		0%	2	10%	2	1%
総計	23	100%	39	100%	45	100%	41	100%	20	100%	168	100%



教材の難易度については、
「わかりやすかった」「ややわかりやすかった」と回答した生徒
が78%であり、多くの生徒にとって理解しやすい教材だったこと
が分かる。

問8. 今後もこのような社会保障教育に取り組みたいです か？

設問回答項目	蒲田		足立新田		桜修館		芥川		茨木西		総計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
①そう思う	8	35%	9	23%	18	40%	10	24%	5	25%	50	30%
②ややそう思う	12	52%	15	38%	18	40%	23	56%	6	30%	74	44%
③どちらとも言えない	2	9%	13	33%	8	18%	7	17%	7	35%	37	22%
④あまりそう思わない	1	4%	2	5%	1	2%	1	2%		0%	5	3%
⑤そう思わない		0%		0%		0%		0%	2	10%	2	1%
総計	23	100%	39	100%	45	100%	41	100%	20	100%	168	100%



今後も社会保障教育に取り組みたいかという問いに対しては、74%の生徒が「そう思う」「ややそう思う」と回答しており、今後も社会保障の学習に取り組みたいと思っている生徒が7割超を占めた。

問9.授業への感想をお書きください。

とても分かりやすく、重要な知識を得られて良かったと思います。

みんなで支え合っているんだと思った。

社会保障制度の仕組みについてよく理解できた。健康保険って凄いなと思った。年金を払うのはいいが、将来、自分が老人になった時に本当に貰えるのかが心配。

社会保障は、これからの将来を考えると必要な制度だと思いました。だけど、ビデオを見てまだまだ整備が足りていない所があると思った。

将来のことを考えようと思った。

自分たちの将来やるべきことが少し分かって良かった。

DVDやパワーポイントを使った学習は分かり易かったです。

日本は平等に出来ている国なんだなと思った。

年金って国に取られるってイメージがあったけど、実はそうじゃなくて私たちが急な病気や怪我、収入がなくなった老後も安心して暮らせるように、今働けるうちに年金を払うという、すごく素敵な制度だと思います。

20歳から年金に加入するのが義務なことを知らなかったから、授業で初めて知って良かったです。

いつか暇なときに年金制度など学ぼうと思っていたけど、授業で学ぶ機会があってとても良かった。

今まで受けたことの無い内容の授業で、それでいて将来大切な事なので、良かったと思う。

今まで詳細を知る事ができなかった社会保障を知ることが出来たし、年金についても詳しい仕組みや何の為かということも知れたので、将来に役立った。

なんで税金を払う必要があるのかと思っていたけど、ちゃんと払おうと思えた。

これからの人生で必要な知識が学べて良かったです。

社会保障は言葉だけしか知らなかったけど、今回でどんなサービスがあったり、どのような仕組みがよくわかった。

今まで知らなかった社会保障制度について、とても分かりやすいプリントでまとめられていて、よくわかりました。

「社会保障」という漠然とした単語やいくつかの保障については知っていたが、ここまで幅広いものだとは思わなかった。

日本は、政府依存型の制度にすべきだと思った。税金は国民から金をとる平等なやり方だし、福祉サービスも平等に利用できるから。ただ、貧困層には苦しいため、生活必需品は無課税にするなどの工夫が必要。

日本にとっても大切な制度だという事がよくわかった。これから生きていく上で、必ず向きあう問題なので、理解を深めた方がいいと思った。

社会保障の内容が具体的に分かってよかった。年金とかMFGのバランスが大切だなと思った。

今までより、社会保障への関心が高まってよかった。

現在も未来も自分に大きく関わっている社会保障の重要性を知ること、今の日本がなぜこうなっているのかを知ることが出来た。堅苦しい社会保障のイメージが消えた。

日本のこれからの問題を知れる良い機会になった。今まで税金が上がるニュース等があったが、この授業を受けて、その税金が社会保障や福祉に使われるなら良いことなのかもしれないと思えた。

日本国内だけでなく、海外と比較できたのが、いいと思いました。

市場と政府が家族でつながっていて、所得の再分配機能を果たしていると知り、何もしていないようにみえて、実は重要な役割を担っていることにびっくりしました。

社会の困っている人に対して援助する社会保障の仕組みについて分かったので、国民が何のためにお金を払っているかが、理解できたこと。

今回の授業の教材には色々なケースの問題があり、その解答を考えることで、社会保障というものを理解することが出来た。

問10.授業の良かったと思われる点をお書きください。

いろいろな保険を知ることができてよかった。
パワーポイントやDVDなどを使っていてよかった。
高校生の視点で丁寧に教えてくれたところ。
今はきちんと保障されているんだと思い、そのようなことが知れたので良かったです。
画面とプリント両方を使っていて分かりやすかったです。
ビデオを見たり、画面を使って一つ一つ教えて頂けたので、すごく分かりやすかったです。
黒板ではなく、DVDやパソコンを使った授業で見やすかったです。
パワーポイントとプリントを使うところが良かった。
班で話し合い皆で意見を出し合うなどしたので、みんなの意見をたくさん聞けて良かったです。
プリントやDVDを使用していたので、分かりやすかった。
高校生に分かりやすい内容だった。
みんなが知っている物語から社会保障を教えていたところ。
自分で家賃などの収入から計算して、自身に当てはめて考えるところが良かった。
貯金との違いなど、比較していた所が良かった。
将来に役に立つことを学べたこと。
プリントで分かりやすく、言葉をかみ砕いて説明してくれた所。
社会保障をあまり知らなかったなので、知る機会が出来て良かった。
年金を払ってないと自分の身に何かあった時に後悔する。その時になってからじゃ遅いという点が知れて良かった。
国民年金はみんな加入しないといけない事などを知れて良かった。
制度が何のためにあるのかしっかり分かったし、あるとどれだけ安心するかを実感出来た。
あまり退屈しないように、楽しく教えてくれたので良かったです。
良かったところは、日本は子育てや介護に対する国の援助がちゃんとあったと再確認できたところ。
外国と比較して日本は負担が少ないことが分かった。世界の中での日本という考えもあったこと。
プリントを使って分かりやすく説明してくれた。GとMとFを使うなど、ほかの国と比べることも分かりやすかった。
資料が多かつたので、資料に助けられながら、社会保障について知ることができた。
国によってパターンが異なるため、比較することで、日本の今の社会保障の問題が見えたこと。
プリントに図や表などがあって分かりやすかった。具体的な例などで理解することができた。
自分がよいと思う社会保障制度について、考えさせるところ。
様々な問題点や利点を知ることができ、未来の社会保障につながるだろうと思った。
依存型をグラフで表していること。自分で円グラフ、G、M、Fの割合を考えて記入すること。
一方的な講義だけでなく、生徒が自ら考え話合うことでより、実践的に理解することが出来た。プリントが見やすかった。
クイズが非常に面白く、また簡単な質問なのに意外とわからないところが、うまいなと思いました。
非常に分かりやすかったです。資料も、グラフや表など、だれが見ても分かるようになっていたところが、良かったと思います。

問11.授業について改善したら良いと思われる点をお書きください。

多少見にくかったのもう少しスマートに書いて欲しい。
パワーポイントや映像の文字が小さいので、もっとスクリーンを見やすくしてほしい。
教材をもっと分かりやすくしてほしい。
年金のことについてもっと知りたいと思った。
どこがどのように悪いのかを知りたい。
年金を払っている額ともらっている額の差。
字が小さいため、後ろの席から見づかった。
一人暮らしでやりくりする、という項目が自分にとっては難しかったので、もう少し分かりやすいと良かった。
プラスの面だけではなくて、マイナス面も知りたい。
具体例をもっと知りたかった。
ビデオが後半文字ばかりで見づかった。
厚生年金や高額医療制度のことを詳しく教えて欲しい。
もっと時間をかけて詳しく教えてくれたら、いろんなことを知れたと思う。
外国の例はあまりいらなかったと思う。
年金制度トラブルなど知りたかった。
年金については分かったけど、社会保障については、あまり分からなかった。
もう少し図などを使っていたら、もっと分かりやすく理解できたと思います。
難しい話だから、まだ理解できてない部分があります。
授業を受けた内容に加えて、手続きの流れとかをドラマ風でやって欲しいと思った。
もっとゆっくり書く時間がほしい。
具体的な例とかを知りたい。
例え話をつくれれば、もっと楽しく授業ができると思う。
図の見方がいまいちわからなかった。
もっと、黒板を使ってほしかった。
「社会保障」の多くの保障の原理がよくわからなかった。
教材が冊子のような、保管しやすいものだ嬉しいです。
体験型の方がもっと、分かりやすかったと思います。
社会保障の良い点や課題がよくわからなかった。
話をしている部分が多かったので、もう少し、ペアやチームなどで何かをする部分も多い方がよいかなと思いました。
難しい語、知らなかった語を細かく分かりやすく解説して欲しかったです
用語解説覧を作るなどして、詳しい用語解説が欲しいです。
これから、自分たちが具体的に何をすればいいのかを教えてほしかった。
社会保障の十分に充実した国々(北欧など)は具体的にどのような保障をおこなっているのかを知りたい。
幸福度調査の結果とかを入れて、幸福度的にはどこの国民が高いのかを入れた方が良かったと思った。
日本の現在の社会で何が改善しなければいけない点なのかを詳しく書いてほしい。
社会が嫌いな生徒から関心をもたれるように簡単なクイズの量を1ページくらいにするべき。2つ目の高齢化率のグラフがわかりにくい。
もっと表や、グラフ等を見やすくした方がよいと思う。
F、M、Gやサービスと負担の割合の違いによる詳しい違い、長所・短所などが知りたかった。
もう少し詳しく、年金制度について知りたかったです。
教材にもっと色を使ったり、2問/1pではなく、1問/1pのスライドにした方が良いのでは？
MとかF、依存型とかの説明がもう少しあった方が、より理解できたと思います。
字ばかりで少し読みにくい。
社会保障と税の一体改革で、どう変わるのかを知りたかった。
もっと時間をかけてやってほしい。教材の字がびっしりの所は学ぼうとする気が失せるかも・・・。
全体的にもっと深く、もっと広くしてもいいと思う。いっそのこと、経済という授業を1コマ分/1週間 小・中・高それぞれに設けてもいいと思う。
部活動のけがでの保障などをもう少し詳しく知りたい。
医療の仕組みに興味があるので、怪我や病気の度合いによる保障の違いなどを詳しく知りたかったです。
もう少し、広い範囲の社会保障の問題を出してほしかった。
カラーがほしい。もしくはモノクロに合った画像などに差し替えてほしい。

問12.社会保障についてどう思いますか？お書きください。

とてもいい制度、サービスだと思うからこれからも続けてほしい。
年齢なんて関係なく大事なものだと思う。
全員で支え合っていくのはいいと思う。
社会全体を支えるものだと思う。
現在は少子高齢化なので、これをしっかり考えていく必要があると思う。
医療保障はとても良い制度だと思った。
内容が複雑すぎる。
少子高齢化を考えて、働いている人の負担を考えた方が良いと思う。
自分の老後に支援してもらえるので、大人になったらちゃんと払おうと思う。これからも社会保障制度をよりよくしていけばいいと思う。
社会保障の事を全然知らなくて、何かお金に関することがあったら全部払っていかなくてはいけないと思っていたけど授業を受けて、うまく使えばいいと思った。
年寄りの人たちは、できないことがあるので保障はいいと思いました。
生きていく中でなくてはならないという程、大事なものだと思いました。
良い仕組みだと思うけど、手続きが面倒くさそうだと思った。
負担以上のものが貰えるのでいい制度だと思った。
年金はしっかり支払った方が、老後の人生が楽しく過ごせる。
社会保障があることで、収入が低い人も安心できると思った。
良い仕組みであると思う。
お金の管理ができない私にとってはとてもいいものだと思った。
しっかり学んで将来に役立てたい。やっぱり、今から考えておくべきだと思った。
とても良い制度だと思うけど、負担も大きいので、問題点もあると思いました。
いざという時、助かるものなのでいいと思うけど、年金制度は破産しそう。
老後も安心して暮らしていくためには必要だと思う。
社会保障制度だけで老後生活できる訳ではないけど、安心なのでこれからも続けて欲しい。
自分の将来の負担を少しでも軽くする、素晴らしい制度だと思った。
今の日本の制度は、丁度良いと思った。
社会保障があると、長生きもし易いなと思いました。
とても安心してきて良いと思います。これからも続けて欲しいです。
自分たちの世代は受け取る年齢が遅くなるかもしれないので心配。
自分達にとって、とてもいいものだと思った。
絶対必要な保険だと思った。
あまり自分達には関係ないと思っていたけど、大切なことだと思いました。
過保護なくらいが調度いいと思う。
お金を取られるだけだと思っていた印象が変わりました。
日本特有の手厚い制度で良かった。
実際お金を払うのは大変だけど、得なことや安心出来ることがいっぱいあるからいいと思う。

若者が減り、老人が増えたら大変だと思った。
この制度があって、便利でいいと思う。病気や事故にあっても、多額の金額を払わなくても良いから安心。
年金の制度が単純過ぎて、何か怖い。
自分が払う時に何も知らない状態にならなくて済んだ、良かった。
自分の身を守ったりするのに必要な知識だから早めに知っておくことが大事だと思った。
色々な制度があって、困った人々にも対応していて、とても良い制度だなと思いました。
やっぱり、勉強しても難しいと思った。
とても大切な保障だと思います。
生きていく中で必要な保障なので、しっかりと理解していきたいです。
ちょっと社会保障に関心を持った。
自分のためにもなる、周りを助けることにもなる。絶対必要な保障だと思う。
あまり活用されていない気がする。
大切なものだと思います。
少子高齢化社会であるから、年金を20歳になって払い続けた後にちゃんともらえるか心配。
保障は100%じゃないけど、やっというて損はないと思った。
それぞれのメリットやデメリットが沢山ありました。でも、社会保障はあった方がいいと思います。
払う料金は多いけど、払うのは大切だと思います。勉強になりました。
社会保障は良い人生を送るのにとっても大事なものだと思う。
自分には少し難しくて、考えるのは大変でしたが、ちゃんと知ることができました。
知る前はよく分からなかったが、関心が深まった。
生きていく中で大切だと思います。
日本にとって必要なものだと思います。
コクミンの義務だと思う。
絶対に知って損はないと思います。
国、政府、大丈夫なのかな？
若い人が中心になって考えなければならない問題だと思う。
普通に良いんじゃないですか？
みんな不安をなくしてくれるものだと思います。
年金ってすばらしい。
日本は住みやすい国だと思います。みんな平等になればいいと思った。
もっと国民が満足できるものになればいいと思った。
スウェーデンの制度が一番いいと思った。
良いと思った。日本は世界中でもよく考えてるんだなと思った。
いつか自分が関わっていくものだから、ちゃんと考えていく必要があると思った。社会保障は大切だと思います。
社会保障は、一人ひとりが自らの責任と努力によって成り立っていることが分かった。前よりは関心が少し高まりました。
制度を作ったことはすごいと思うけど、内容が誰でも平等に受けられるということになってないので、日本の制度は改良していくべきだと感じた。

現状では女性に負担がかかりやすいから、そこをもう少し改善できたらみんな住みやすくなるのと思った。
これから大変そうでした。
社会保障はあっていいと思うが、人によってお金の量を変えたりしたらいいと思う。みんなが同じ量を払っていると、不平等がでてくるし、生活できなくなってしまう人も、出てくると思う。
社会保障は私たちが生きる中で必要不可欠な制度です。実際は10万かかるところを3万円で済む。生活をしていく上で負担を除いてくれるので、とてもいいと思いました。
負担もまだ、少しだし、急にケガや病気になってもお金をサポートしてくれるから、家庭も崩れることなく安心できるから。いい保障だと思います。
未成年の生活にも大きく関わっている事や、日本では当たり前の事が、外国では当たり前ではない、というような事があるので、現状が最高だとは言えないため、とてもよく考えるべきだと思った。
良いと思います。ただ、嘘をついてお金をもらっている人もいるみたいなので、それを調査する事にも力を入れた方がよいと思いました。
全員(国民全員)が平等に暮らせるように考えられた、良い制度だと思う。
少子高齢化が進んでいるので、社会保障制度の充実をはかってほしい。
少子高齢化社会だから、これからどうなるのかなと思う。
良い制度ではあると思うが、財源の確保などをよく考え改善して将来も続けいってほしい。
良い制度だと思う。経済力に余裕のある人から多くの税をとるやり方は正しいと思う。
どういう保障が私たちには必要なのか、考えるのは難しいけど、なるべく平等なものになってほしい。
自分が将来高齢になったとき、不自由なく暮らしていけるような仕組みなので、これを維持・より良い形にしていってほしいと思う。
私たちの生活を支えている。
これから大人になるにつれて親も私も関わる事なので、他人事と思わないでしっかりと理解したいと思った。
中・高校生でも私のように社会保障についてあまり知らない人が多いと思うので、授業などやって知ってもらわなければならないものだと思います。
なくてはならないものだが、あり方も難しい。
自分に直接関係ないところで、難しいというイメージが強いです。
国民全員が生活できるようになっていて、良いと思った。

日本はもっと社会保障を強めるべきだと思った。
社会保障は続けていくべきだし、もっと国民の負担率を上げてでも保障を厚くしてほしい。
消費税が8%に上がるから、福祉がもっとよりよくなってほしい(年金問題など)。
少子高齢化などもあって、これから厳しくなっていくかもしれないが、皆が一定の幸せを得るためには必要だと思う。
日本はこれからの高齢化社会のためにも、効率の良い制度にした方がよいと思う。
日本は低負担、低サービスですが、低サービスで困っている人が沢山いると思うので、多少の負担は我慢して高サービスにすると思います。
年金がもらえるかどうかは分からないので、しっかりお金を貯める必要があると思いました。
20歳から社会保障に関与していると知って、自分とずっと身近なものに思えました。あと5年でその仲間入りなので、しっかりと理解してそのあり方を考えていきたいです。
もっとはっきりさせた方がよいと思う。予算に見合っているかどうか。
聞いたことぐらいしかなかった「社会保障」がとても身近に感じられた。社会保障はやはり、なくてはならないものだと思った。
今の社会には必要なものだと思う。社会保障があることによって自分の身になにかあったときでも、暮らすことが出来るし、たくさん助けられている人がいる。これをなくしてしまったら、日本は不満がたまって良くない状況になると思う。
市場依存型の国に日本は近づいてほしい。社会保障の内容はともていいことだが、その内容にお金がついていない。
一生分の生活を支えてくれる援助があるのは、とてもありがたいことだと思いますが、若くして障害を持った人と年をとってから障害を持った人では、障害を持つ前までに納めている税金に差が出てしまうのは不平等ではないかと思いました。
日本の社会保障制度はほかの国と比べて、良い制度になっていると私は思った。
良いと思う。もしものことがあっても安心だし、それで救われる人は多いと思う。
制度はとても良いものののに、大人しか知らないという、イメージが強くある。小さい時から健全な経済の授業を受けさせるといいと思う。また、政治家や政府に目先の利益だけでなく、長期的な利益も求める政治を要求します。
特に年金については、良い制度と思えない部分がある。貯蓄額がとても多い高齢者と、少ない若者3人程度で支える社会はおかしいし、それを主張しにくい選挙制度もだめだと思う。若者の意見が反映されやすい選挙にしていけるべき。
助け合うという点においては、とてもよい制度ではあると思うが、どういった流れで保障されるのかを教えてください。
この制度がなければ、日本全体が崩れてしまうと思う。この制度を取り入れていない国は多くあり、貧富の差が激しい社会保障が世界中の国で使われるようになってほしい。
日本の社会保障にはまだいくつもの問題が残っているそうですが、私は自分が社会保障制度というシステムに、部分的とはいえ、参加できていることを大変誇りに思っています。何年後かには自分が納税者となり、この素晴らしい制度を途絶えさせることのないよう、一生懸命働いていきたいです。
もし、交通事故などに合って、働けなくなってしまっても、社会保障で最低限の生活ができるようになるので、とても良いものだった。しかし、日本の財政が悪化するのはいけません。うまくやってほしい。
ないと我々が困り、あるとその負担率でたびたび問題になったりもするが、絶対になくなってはならない制度だと感じた。様々な場所で社会保障がなされており、意識していない場合もあるが、とても大事だと知った。
社会保障と聞いても、今までは正直なところ、自分には関係ないと思っていました。そのせいか、関心も全然ありませんでした。しかし、この授業を通して社会保障は、今の日本を支える大事な制度だということを知ることが出来ました。まだ、社会保障に関する、固定した自分の意見はありませんが、これによって日本がさらによくなればと思っています。

(6)アンケート集計結果 -教師-

3 アンケート案 先生用(2)

【先生用】授業前及び各授業終了後の感想

地域社会保障教育推進事業「社会保障教育プログラム」に関するアンケート

学校名	ご担当教科
高等学校	

①授業前にご記入をお願いいたします。

1. 生徒は社会保障に関心を持っていると思いますか？あてはまるものに○を付けてください。

①思う・②少し思う・③どちらとも思う・④あまり思わない・⑤思わない

2. 先生ご自身、社会保障に関心がありますか？あてはまるものに○を付けてください。

①関心が高い・②関心がやや高い・③普通・④関心がやや低い・⑤関心が低い

②授業終了後にご記入をお願いいたします。

3. 今回の授業を実施して、生徒の社会保障への関心度が高くなったと感じますか？あてはまるものに○を付けてください。

①関心が高くなった・②関心がやや高くなった・③変わらなかった・④関心がやや低くなった・⑤関心が低くなった

4. 今回の授業を実施して、先生ご自身の社会保障への関心はどのように変化しましたか？あてはまるものに○を付けてください。

①関心が高くなった・②関心がやや高くなった・③変わらなかった・④関心がやや低くなった・⑤関心が低くなった

5. 社会保障の仕組みを教えるのに、今回の授業は十分でしたか？あてはまるものに○を付けてください。

①十分だった・②ほぼ十分だった・③どちらとも言えない・④あまり十分でなかった・⑤十分でなかった

6. 今回の授業を実施して社会保障に対するイメージは変わりましたか？あてはまるものに○を付けてください。

①良いイメージになった・②やや良いイメージになった・③変わらなかった・④やや良くないイメージになった・⑤良くないイメージになった

7. 今回の授業で使用した社会保障教育の教材は使いやすかったですか？あてはまるものに○を付けてください。

①使いやすかった・②やや使いやすかった・③普通・④やや使いにくかった・⑤使いにくかった

8. 今後も学校でこのような社会保障教育に関する学習に取り組みたいと思いますか？あてはまるものに○を付けてください。

①そう思う・②ややそう思う・③どちらとも言えない・④あまりそう思わない・⑤そう思わない

9. 授業に関する意見・感想をお書きください。

10. 授業の良かったと思われる点をお書きください。

11. 次年度も授業を行う事を想定した場合、改善点がありましたらお書きください。

12. 社会保障全般についてどう思いますか？ご自由にお書きください。

13. 今回の教材について良い点をお書きください。

14. 今回の教材について不足している点・改善点をお書きください。

15. 『10個の「10分間講座」』について良いと思う点をお書きください。

16. 『10個の「10分間講座」』について不足している点・改善点をお書きください。

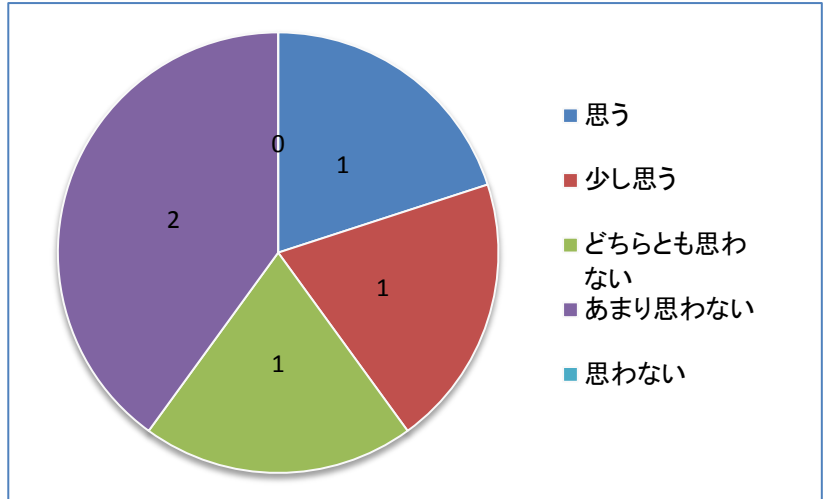
17. 今後、社会保障教育を推進していくにあたりどのような教材展開・プログラム策定が必要と考えられますか？ご自由にお書きください。

授業前

問1. 生徒は社会保障に関心を持っていますか？

(単位:人)

蒲田	どちらとも思わない
足立新田	少し思う
桜修館	あまり思わない
芥川	あまり思わない
茨木西	思う

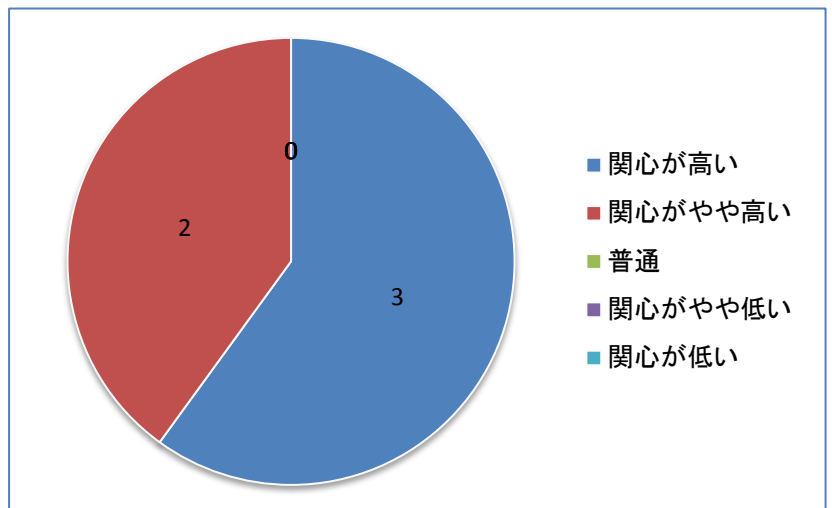


教師の考える生徒の授業前の関心度について、肯定的な回答が2人、否定的な回答が2人と、学校により回答にばらつきが見られた。

問2. 先生ご自身、社会保障に関心がありますか？

(単位:人)

蒲田	関心が高い
足立新田	関心が高い
桜修館	関心が高い
芥川	関心がやや高い
茨木西	関心がやや高い

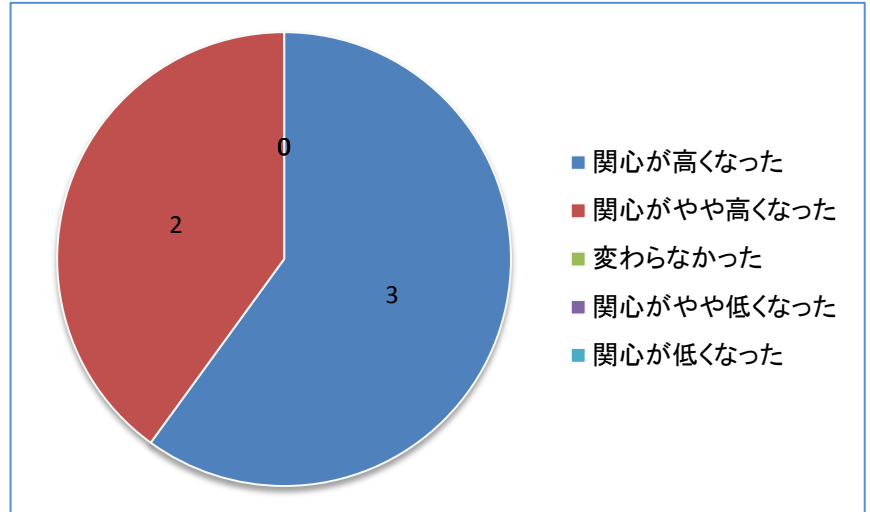


全5校の教師が、社会保障について高い関心を持っており、教育側の関心は授業前から高いことが伺える。

授業後

問3. 今回の授業を実施して、生徒の社会保障への関心度が高くなったと感じますか？
(単位：人)

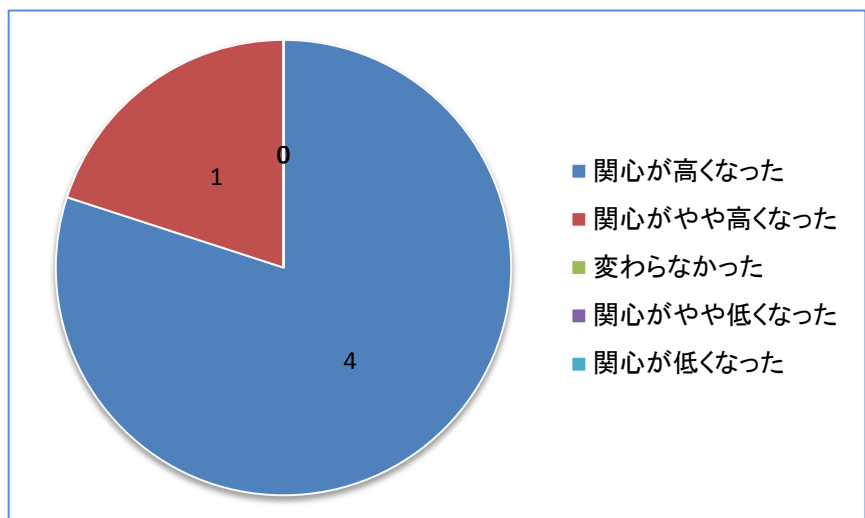
蒲田	関心が高くなった
足立新田	関心が高くなった
桜修館	関心が高くなった
芥川	関心がやや高くなった
茨木西	関心がやや高くなった



教師の考える生徒の授業後の関心度について、全5校の教師が関心が高くなったと感じている。授業前は回答にばらつきが見られたが、今回の授業が生徒の関心度向上に効果があったと感じとられていることがわかる。

問4. 今回の授業を実施して、先生ご自身の社会保障への関心はどのように変化しましたか？
(単位：人)

蒲田	関心が高くなった
足立新田	関心が高くなった
桜修館	関心が高くなった
芥川	関心が高くなった
茨木西	関心がやや高くなった



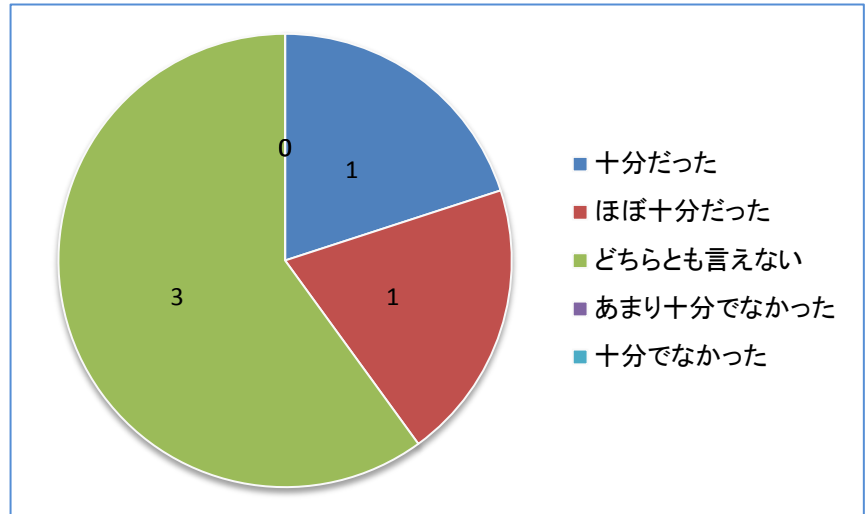
全5校の教師が授業後に関心が高くなったと回答している。授業を行う事で、もとと高かった関心が更に高くなった事が伺える。

授業後

問5. 社会保障の仕組みを教えるのに、今回の授業は十分でしたか？

(単位: 人)

蒲田	どちらとも言えない
足立新田	ほぼ十分だった
桜修館	十分だった
芥川	どちらとも言えない
茨木西	どちらとも言えない

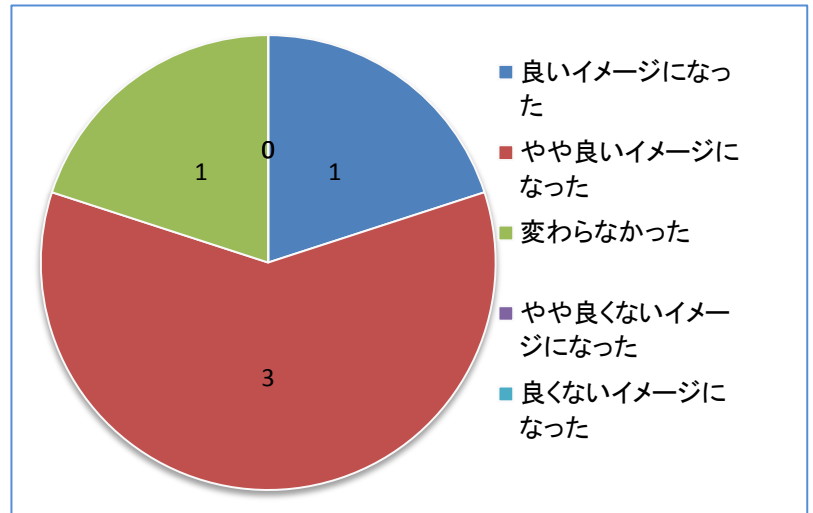


社会保障の仕組みを教えるのに、今回の授業で十分と回答した教師は2名いたが、残りの3名は中立的回答をしている。授業に対する自由回答と照らし合わせてみても、授業に対して、不足はないにしても今後内容を改良する余地があると感じていることが伺える。

問6. 今回の授業を実施して社会保障に対するイメージは変わりましたか？

(単位: 人)

蒲田	やや良いイメージになった
足立新田	良いイメージになった
桜修館	やや良いイメージになった
芥川	変わらなかった
茨木西	やや良いイメージになった



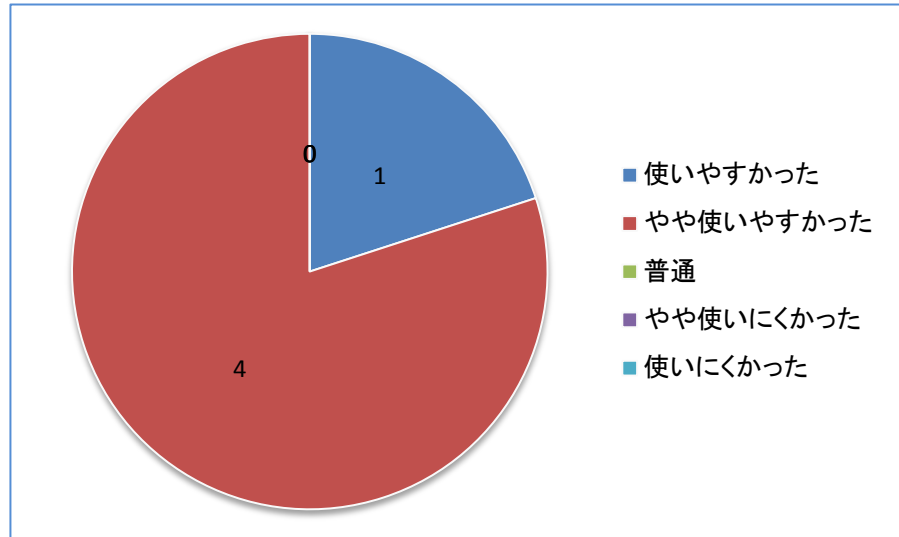
授業後、社会保障のイメージについて、5人中4人の教師が肯定的な回答をしている。生徒だけではなく、教師にとっても授業を行う事で社会保障のイメージについて良い影響を受けたことがわかる。

授業後

問7. 今回の授業で使用した社会保障教育の教材は使いやすかったですか？

(単位:人)

蒲田	やや使いやすかった
足立新田	使いやすかった
桜修館	やや使いやすかった
芥川	やや使いやすかった
茨木西	やや使いやすかった

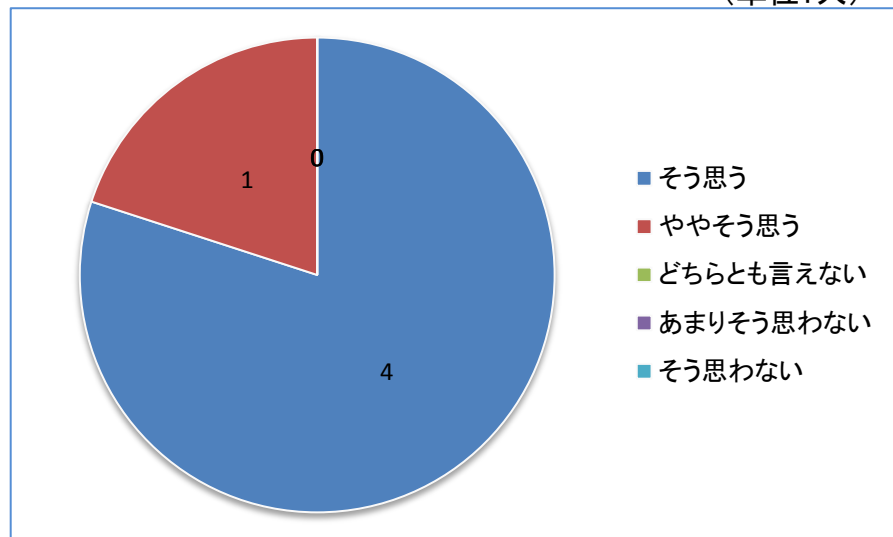


今回の授業で使用した社会保障教育の教材について、1人が「使いやすかった」4人が「やや使いやすかった」と回答している。教師にとって教材が、「やや使いやすかった」ことが伺える。

問8. 今後も学校でこのような社会保障教育に関する学習に取り組みたいですとしますか？

(単位:人)

蒲田	そう思う
足立新田	そう思う
桜修館	ややそう思う
芥川	そう思う
茨木西	そう思う



全5校の教師が授業後に、今後も社会保障教育に取り組みたいですと回答した。関心度も向上しており、継続した社会保障教育への意欲が感じられる結果となった。

問9. 授業に関する意見・感想をお書きください。

東京都立蒲田高等学校	公民科	ワークシート教材などについては、今後の課題としては”各現場でいかに応用する方法を見出せるか”だと思います。様々な実践例を作り上げていく作業が必要になってくると思います。
東京都立足立新田高等学校	家庭科	授業で取り上げれば、それなりの反応が生徒から得られると思う。授業時間の中で社会保障に費やせる時間に限りがあるので、何かと組み合わせて教材づくりをすると思う。
東京都立桜修館中等教育学校	公民科	よく考えられた教材であった。
大阪府立芥川高等学校	家庭科	実習以外の授業では、なかなか長時間集中することがむずかしい生徒たちなので、クイズ、ビデオ、ポスター作りなどいくつかのトピックを入れながら授業の組み立てを考えたが、思ったよりは内容しっかり理解しようとしていた。
大阪府立茨木西高等学校	家庭科	生徒の興味、関心や必要性の意識は高いので、分かり易く考えさせたり、理解させる事は大切だと思います。今回、グループワークでは、少し騒がしかったですが、社会保障について考える機会として、前向きに取り組んでいたと思います。

問10. 授業の良かったと思われる点をお書きください。

東京都立蒲田高等学校	公民科	視聴覚教材や言語活動の導入
東京都立足立新田高等学校	家庭科	パワーポイントの授業は生徒にとっても関心が高くなるので良かったと思う。また、作り直すことも簡単に出来るので一度作れば何度でも出来ることが良い。
東京都立桜修館中等教育学校	公民科	クイズなど、生徒の興味・関心を導き出す構成。「家庭」「市場」「政府」の依存型による分類化。
大阪府立芥川高等学校	家庭科	これまでは教科書や資料集を使って教材を作ってきたが、今回のビデオで、より自分の身近なところでの理解になった。具体的な質問もたくさん出て、「知らないではダメだな」と素直に感じて、自分から知ろうとしていた。言葉や制度の解説だけで、上すべりしがちな内容が、深く印象に残るものに変えていった。
大阪府立茨木西高等学校	家庭科	ビデオが分かり易かった。グループワークで、自発的に考え、他者と考えを共有し、気づきがあったこと。

問11. 次年度も授業を行う事を想定した場合、改善点がありましたらお書きください。

東京都立蒲田高等学校	公民科	いくつもありますが、難しい社会保障の内容を、いかに生徒に分かりやすく学ばせていくか。
東京都立足立新田高等学校	家庭科	ワークシートに情報がありすぎて、見にくいところを改善したい。
東京都立桜修館中等教育学校	公民科	見やすさ。映像化（パワーポイントの活用など）
大阪府立芥川高等学校	家庭科	基本的な制度の解説はプリントと合わせてPPTなども使用して図解できたらと思う。時間に余裕があれば、ディベートさせても面白い。
大阪府立茨木西高等学校	家庭科	2時間では時間数が足りないなので、家庭経済分野の中に入れて、4時間程度はやってみると良いと思います。

問12. 社会保障全般についてどう思いますか？ご自由にお書きください。

東京都立蒲田高等学校	公民科	世間でネガティブなイメージが広がっていますが、学校現場での努力が必要かと思います。
東京都立足立新田高等学校	家庭科	(無回答)
東京都立桜修館中等教育学校	公民科	絶対になくしてはならない制度
大阪府立芥川高等学校	家庭科	非常に大切なことなのに、きちんと伝えられていないという事が、一番よくない。大学生で加入手続きの封筒をみてもピンとこない。放っておいてもいいかと思う人の方が圧倒的に多いのが現実です。いろんなアプローチが必要だと思います。
大阪府立茨木西高等学校	家庭科	社会保障の仕組みは現状が、正確に理解されておらず、「年金は、将来破綻する」「日本の社会保障制度は、負担が大きくサービスが低い」といったマイナスイメージを持っている人が多いが、理解する機会があれば、「保険料を支払おう」などプラスイメージになるのだと思います。

問13. 今回の教材について良い点をお書きください。

東京都立蒲田高等学校	公民科	実際の数字を用い、生徒に現実感を持たせている点。
東京都立足立新田高等学校	家庭科	(無回答)
東京都立桜修館中等教育学校	公民科	楽しく活動的に学べたこと
大阪府立芥川高等学校	家庭科	ビデオ教材は生徒にとって教科書やプリントよりも、インパクトがあり、しっかり見ていた。
大阪府立茨木西高等学校	家庭科	①生徒が自ら考えて、社会保障について理解することができたところ。 ②教材の指導方法が分かり易く載っていた所。

問14. 今回の教材について不足している点・改善点をお書きください。

東京都立蒲田高等学校	公民科	9でも述べましたが、いかに「応用例」を積み上げるかだと思います。
東京都立足立新田高等学校	家庭科	(無回答)
東京都立桜修館中等教育学校	公民科	特に無し(教材の使いやすさ)
大阪府立芥川高等学校	家庭科	本校の生徒には若干長かったので、あるクラスでは後半の老後どう過ごしたらいいのかの部分(ビデオ)をカットして使用した。記述式のワークシートを用意したので、もう少し文字が長い時間画面にあるとよかった。限られた時間の中では、2つ(年金と健康保険)でもきびしかった。
大阪府立茨木西高等学校	家庭科	45分では少し盛りだくさんの内容であった感じです。 (ワークシート) ビデオの出だしのクイズは、1、2、3などとフリップつきがよかった。

問15.『10個の「10分間講座」』について良いと思う点をお書きください。

東京都立蒲田高等学校	公民科	生徒の導入に用いやすい。
東京都立足立新田高等学校	家庭科	(無回答)
東京都立桜修館中等教育学校	公民科	生徒の興味・関心が高まった。
大阪府立芥川高等学校	家庭科	クイズの答えをもとい解説しているのでわかりやすい。イラストなどもかわいい。
大阪府立茨木西高等学校	家庭科	クイズ形式で分かり易くできる。グループワークにも活用できそう。

問16.『10個の「10分間講座」』について不足している点・改善点をお書きください。

東京都立蒲田高等学校	公民科	(無回答)
東京都立足立新田高等学校	家庭科	(無回答)
東京都立桜修館中等教育学校	公民科	老後、30年間で必要な全額、①②③とも、額が大きすぎて差別化がなかった。
大阪府立芥川高等学校	家庭科	時間的に本校の生徒では10分間で進めていくのには無理がある。今回の授業ではいくつかを取り出して使用した。
大阪府立茨木西高等学校	家庭科	全体的によくできていると思います。P6の解説の部分で年金は「保険」と書いてあるが、民間と異なり、皆加入できることも載せておくと良い。P10の部分で、女性が働き易い社会、子育てしやすい社会について議論させる等良いのでは。

問17. 今後、社会保障教育を推進していくにあたりどのような
教材展開・プログラム策定が必要と考えられますか？ご自由にお書きください。

東京都立蒲田高等学校	公民科	今回は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。
東京都立足立新田高等学校	家庭科	(無回答)
東京都立桜修館中等教育学校	公民科	社会保障制度は、絶対になくなってはならない制度であるとの自覚を促す教材開発
大阪府立芥川高等学校	家庭科	生徒の感想の中で、具体的に加入手続きまで知りたいという意見も多数あった。
大阪府立茨木西高等学校	家庭科	クイズを入れたパワーポイント教材。皆が考えるグループワークと発表。視聴覚教材その2。広報活動(社会保障教育の必要性と目標、具体的な教材の周知、等)

3. 授業の実施結果の検証

【蒲田高等学校】

(1)「プログラム(授業計画)」として効果的だったと思われる点

- ・全体をパワーポイントに落とし込み、クイズやゲーム、映像視聴を要所に配置し、生徒の関心を上手くひきつけながら授業を行った点。これにより、生徒の集中力が散漫にならず、アンケートにも「ゲーム、クイズを交えたユーモアな授業がとてもよかったです」「動くものや、実際にやってみたりするので楽しかった」という意見が見られ、興味を持ち続けて効果的な学習を行えたことが伺える。
- ・1限目の冒頭15分を使って、人生には予定外の出来事＝リスクがあるという事を意識づけた上で映像教材を視聴させたことで、生徒がより内容について理解をすることができた点。
- ・解説も生徒のレベルに合わせて分かりやすく行っていたために、アンケートに「授業の進め方がよかった」「とてもわかりやすく理解がしやすかった」と回答する生徒が多かった。
- ・3限目の年金について学習する際に、導入で「10個の「10分間講座」」を使い、生徒が年金に対してもっているイメージと、実際とのギャップを気づかせることから始まり、教師オリジナル教材「年金人生ゲーム」を通して、年金のメリットをゲーム感覚で楽しく学習できた。この事により本題の部分である年金保険の見えない利益について生徒が集中力をたもった状態で学習できた。また正しい知識を学習した後に、「将来は年金がもらえなくなる」「未納者が多いから、自分も払わない」などの世の中に流れている噂についてもその実態を学習させた。それにより、「年金の事を聞いて、将来もらえないかと不安だったけど、ちょっと安心した」「年金の大切さを知った」「社会保険料、年金をしっかりと払おうと思った」という意見が多く見られ、理解の向上が見られた点が効果的であったと思われる。
- ・3回の授業のまとめとして、生徒に「授業の感想や、授業を受ける前と現在で変化したこと、今後に生かしていきたい事」を書かせたことで、生徒の理解度を確かめた点。生徒も自分の考え方をしっかりと記述しており、関心度や理解度の高さが伺えた。

(2)「プログラム(授業計画)」としての問題点・改善点

- ・全てをパワーポイントに落とし込んでの授業展開であったが、実際に授業を行った際にスクリーンが小さく、後方の生徒には文字が見えづかったことや、明るさの問題で映像教材が見づかった点。
- ・教師オリジナルの教材「年金人生ゲーム」は、貯蓄との違いと年金のメリットを学習する導入で用いられたが、今回初めて授業で使用されたこともあり、今後授業を重ねていく上で改良が加えられるものと思われる。

(3)「教材」として効果的だったと思われる点

- ・「教材はわかりやすかったですか？」とのアンケートに「わかりやすかった」「ややわかりやすかった」と回答した生徒が100%だった。
- ・「身近な社会保障ワークシート」は、家計簿に記入させる等、具体的な数字を使い学習する事ができた点。
- ・「理念やあり方ワークシート」は、自由に答えられる設問が幾つか用意してあったので、知識の詰め込みだけに終わらずに、考えをまとめながら学習できたのが効果的だったと思われる。個人で考えさせたり、発表させたり、グループで考えさせたりと、授業で色々な使い方ができた点。また、公民科で盛んになっている言語活動(ペアワーク・グループワーク・発表等)が、導入されている点。
- ・映像教材「社会保障って、なに？」は聴覚・視覚的にも生徒にインパクトが残り、2限目、3限目以降の学習への意欲が高まった点。
- ・「10個の「10分間講座」」は冒頭で使い生徒に、彼らがもっているイメージとのギャップを気づかせることができ、これから学習する内容に興味を持たせることができることが効果的だと思われる。
- ・また、「10個の「10分間講座」」をはじめ、提供された教材によって、これまで誤解していたことや知らなかったことを知ることができ、教師自身も社会保障に対して改めて考えるきっかけになった、との意見が教師よりあった。
- ・制度について学習できる「理念やあり方ワークシート」と、身近な生活から学習できる「身近な社会保障ワークシート」ものがあったので、2つを旨く使って実感をもって学べた点が効果的だったと思われる。

(4)「教材」としての問題点・改善点

- ・蒲田高校での授業のように、スクリーンに映して授業を展開する事を考えると、「身近な社会保障ワークシート」は1シートの情報量を少なくしてレイアウトを大きくしても良いように感じられた。
- ・「理念やあり方ワークシート」「身近な社会保障ワークシート」については、担当教師より「今後の課題として、“各現場でいかに応用する方法を見いだせるか”だと思います。」「様々な実践例を作り上げていく作業が必要になってくると思われます。」との意見があった。

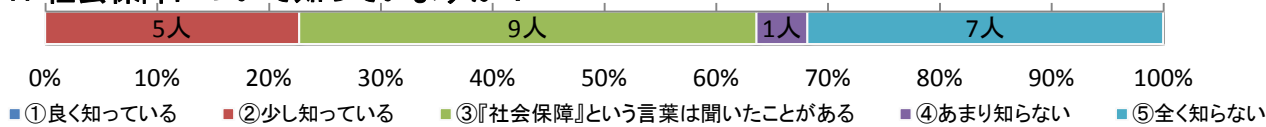
(5)全体として

- ・授業前に行ったアンケートでは、社会保障について「全く知らない」と授業前に答えた生徒が32%、「関心が高い」「やや高い」と回答した生徒が18%となったのに対して、「関心が低い」「関心がやや低い」と回答した生徒は41%となり、社会保障に対する情報量・関心度の低さが伺えたが、授業後には「関心が高くなった」「やや高くなった」と回答した生徒が100%、社会保障の仕組みが「十分理解できた」「やや理解できた」と回答する生徒が100%となるなど、全体的に社会保障に対する情報量・関心度の向上が見られた。
- ・社会保障制度に対するイメージについても、授業前に「良い」と回答した生徒が27%となったのに対して、授業後に「良くなった」と回答した生徒が91%もいた。
- ・映像教材、紙ベース教材をパワーポイントでまとめて授業を展開したことで、生徒の集中力が高まり効果的な学習ができたのではないかと考える。
- ・担当教師より、「教材が提供されたことで、授業を組み立てる際に参考になった」との意見があった。

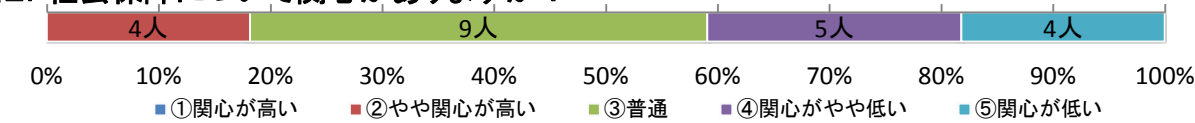
【蒲田高等学校アンケート結果】

授業前

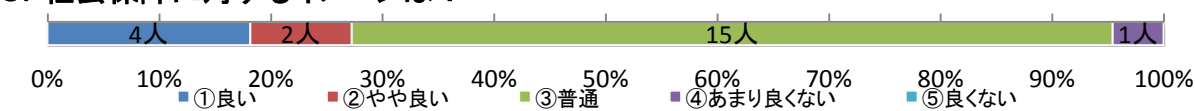
問1. 社会保障について知っていますか？



問2. 社会保障について関心がありますか？

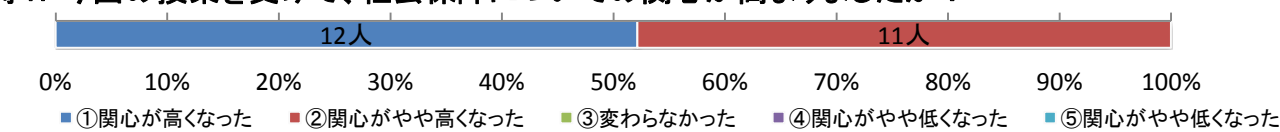


問3. 社会保障に対するイメージは？

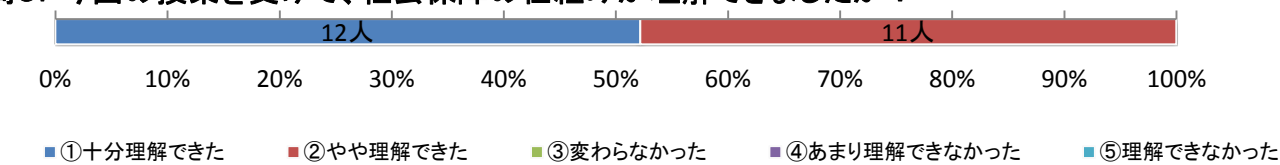


授業後

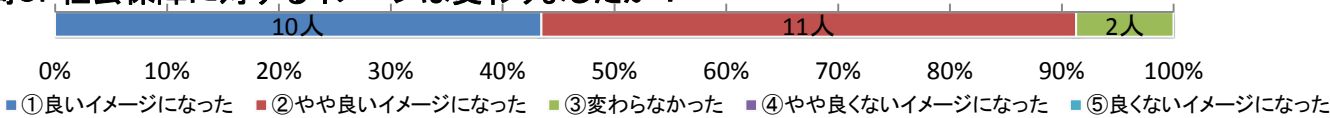
問4. 今回の授業を受けて、社会保障についての関心が高まりましたか？



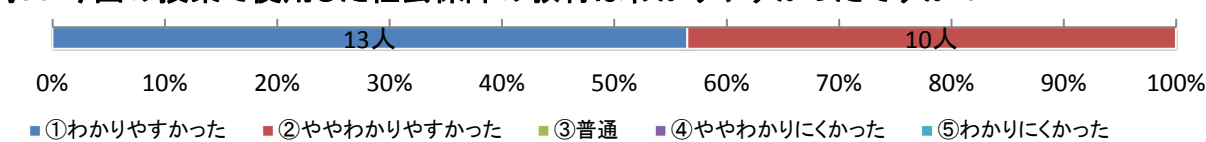
問5. 今回の授業を受けて、社会保障の仕組みが理解できましたか？



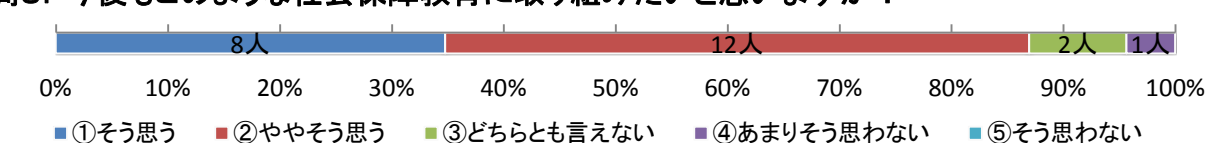
問6. 社会保障に対するイメージは変わりましたか？



問7. 今回の授業で使用した社会保障の教材はわかりやすかったですか？



問8. 今後もこのような社会保障教育に取り組みたいです thinks か？



【足立新田高等学校】

(1)「プログラム(授業計画)」として効果的だったと思われる点

- ・まずは制度についての学習から入り、それがどのように生活に関わってくるのかを、学習していった事で、制度の必要性、仕組みについて理解を深めることができた点。90%の生徒が理解できたと回答しており、「今の日本の制度は、丁度良いと思った」「社会保障は、これからの将来を考えると必要な制度だとおもいました。」「社会保障制度がどんなものなのか、知ることができて良かったです」など、制度についての言及が多く見られる。
- ・パワーポイントで授業を展開したことで、分かりやすいと感じる生徒が多かった。アンケートでも、授業の良かった点としてこの点を挙げる生徒が多数見られた。

(2)「プログラム(授業計画)」としての問題点・改善点

- ・2時間続けての授業であり、前回の振り返りなどの時間が無かったので、性急な感じがあった。実際、生徒のアンケートでも、「もう少しゆっくり知りたい」、「内容が複雑」、といった回答も見られた。少し戻りつつ学習すると、更に生徒の理解が得られるのではないかと考えられた。

(3)「教材」として効果的だったと思われる点

- ・映像教材「社会保障って、なに？」はおさらいとして活用することで、学習してきたことを考えながら視聴することができたのではないかと考える。
- ・「身近な社会保障ワークシート」は、給付と負担の両面から学習できるので、なぜ保険料を納めるかが理解できた生徒が多かった。「年金って国に取られるってイメージがあったけど、実はそうじゃなくて私たちが急な病気や怪我、収入がなくなった老後になっても安心して暮らせるように今働けるうちに年金を払うっていうすぐすぐできる制度だと思います。」「負担以上のものが貰えるのでいい制度だと思った」など、年金について自分のお金を取られるだけというマイナスイメージを持っている生徒に対して、年金の意味と負担する意義を理解させることができた点。

(4)「教材」としての問題点・改善点

- ・スクリーンに映して授業を展開する場合が多かったために、後方からは文字が見づらいという意見があった。また、授業を行った教師もアンケートで、「身近な社会保障ワークシート」は、情報がありすぎて、見にくいところを改善したい」と回答している。このことから、ワークシートは1シートの情報量を少なくしたほうが、より授業で使いやすいのではないかと考えられた。

(5)全体として

・社会保障に対するイメージは、授業前に「良い」と回答した生徒31%に対して、授業後は61%になった。「負担と給付」を学習したことで、「社会保障の事を全然知らなくて、何かお金に関することがあったら全部払っていかなくてはいけないと思っていたけど、授業を受けて、うまく使えばいいと思った」など、負担するだけではないと理解した生徒が多かった。国からお金をとられるとイメージしていた生徒が、授業を受ける事で、「老後になったら支援してもらえる」「生きていく中でなくてはならないもの」「負担する以上のものが貰える」等、良いイメージになったと思われる。

また、授業の前後共に「悪い」イメージを持っている生徒も「社会保障は、これからの将来を考えると必要な制度だと思いました。」「いざという時、助かるものなのでいいと思う」と回答するなど、制度への理解が高まったものと思われる。

・社会保障についての関心度は、授業前に関心があると回答した生徒が、23%だったのに対して、授業後に関心が高まったと回答した生徒が87%になった。

・生徒のアンケートには、「制度の問題点についても知りたい」「手続きについても知りたい」というものがあった。社会保障の基本的な所を学習して、さらに生徒個々人でそれぞれ考えることがあったように思われる。

授業後に疑問に思った事を生徒が自宅などで調べられるように、アクセスして参考になるような、WEBの情報の提供が教材と合わせて出来れば、さらに学習に役立つのではないかとと思われる。

また、授業の前後に生徒に課題として、授業で学習した事が実際には家庭ではどうか、社会ではどうなっているのか等、実態を調べてレポートさせる「調べ学習」がある。

授業後も社会保障教育に取り組みたいと回答した生徒が、61%と過半数いるので、教材の提供以外にも生徒が情報にアクセスすることができる仕組みや、例えば、持ち帰って読めるような小冊子のようなものがあれば先生・生徒双方にとって便利になるのではと思われた。

・「プログラム(授業計画)」としての問題点・改善点として、性急な感じがしたと述べたが、「家庭科で社会保障に費やせる時間に限りがある」と担当教師が答えており、時間の無さを問題点にしている先生が多い。

この点について「何かと組み合わせで教材づくりをするとよいと思う。」と担当教師は言っている。

例えば「環境」を学習する際には「住」「食」「衣」それぞれの分野で学習する事になっている。

「住」だと太陽光発電の住居や、HEMSから「環境」を考え、「衣」だとリユース、リサイクルを切り口に「環境」について学習することになっている。

時間を割く事が難しい家庭科では、他の分野と関連して社会保障を教えて行くというスタンスも良いのではないかとと思われる。

・「これまでの社会保障に関する授業は、家計簿やクレジットカード等を題材に「お金の使い方」を導入として、そこから社会保障を学んできた。

今回は、厚労省から学習項目案が提示されたのでそれを参考にして、「社会保険」を主題とし、それに向けての導入、主題、まとめを考え、ワークシートを中心に授業を組み立てた。

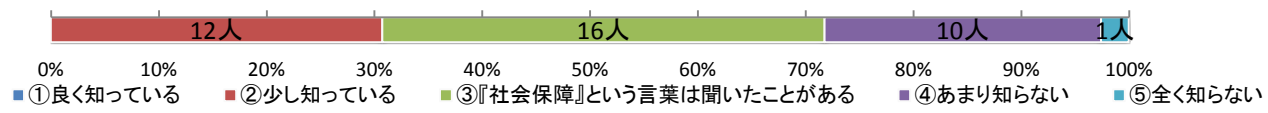
社会保険については今までの授業よりも、より理解が深まったと考えている。

また制度・仕組みがよく解ったという生徒が多かった。また、給付と負担の比率を見て理解できる資料で、給付の方が圧倒的に多いという事実を理解できたことで、生徒が制度について理解しようとする気持ちになったのではないかとと思われる。」との意見が担当教師よりあった。

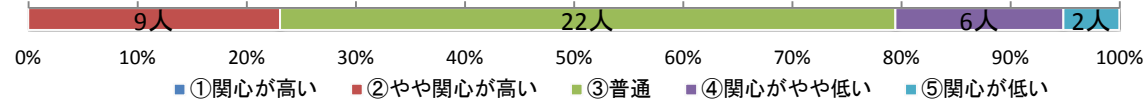
【足立新田高等学校アンケート結果】

授業前

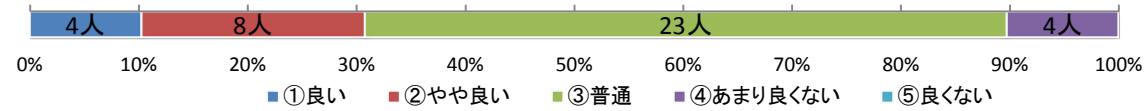
問1. 社会保障について知っていますか？



問2. 社会保障について関心がありますか？

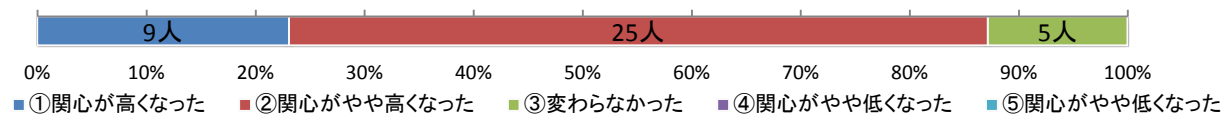


問3. 社会保障に対するイメージは？

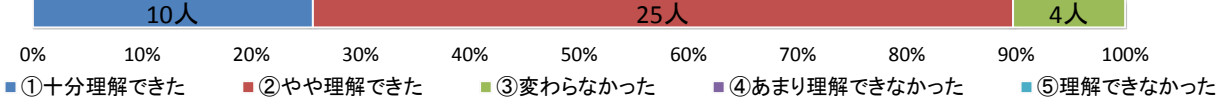


授業後

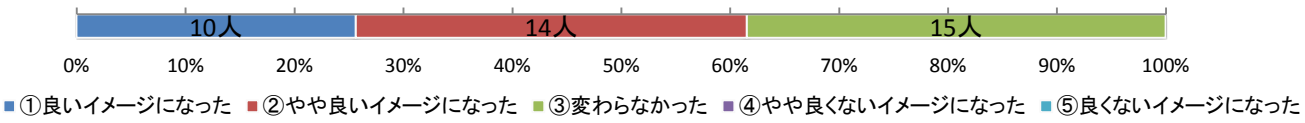
問4. 今回の授業を受けて、社会保障についての関心が高まりましたか？



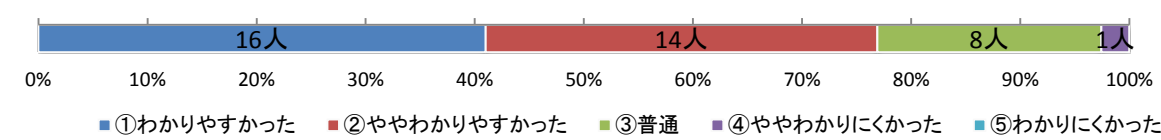
問5. 今回の授業を受けて、社会保障の仕組みが理解できましたか？



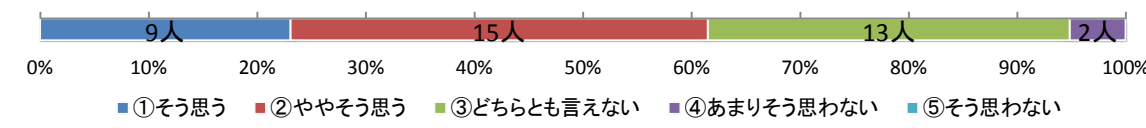
問6. 社会保障に対するイメージは変わりましたか？



問7. 今回の授業で使用した社会保障の教材はわかりやすかったですか？



問8. 今後もこのような社会保障教育に取り組むしたいと思いますか？



【桜修館中等教育学校】

(1)「プログラム(授業計画)」として効果的だったと思われる点

- ・授業冒頭でクイズをしたことで、生徒が楽しく授業に入ることができた。
また、社会保障が身近な存在であることに気付かせたことで、生徒の授業への関心を高めた点。
- ・理念やあり方について、考えさせながら学習をすすめ、
グループワークやディスカッションを行う事で更に深く考察を行ったので、
理解を深めることができたと思われる。「一方的な講義だけでなく、生徒が自ら考え、
話合うことで、より実践的に理解することが出来た。」とアンケートに回答する生徒も見られた。
- ・理念について学習させた後に、社会保障制度をテキストを使い学習させた事で、
「資料が多角的確で、資料に助けられながら、社会保障について知ることができた。」
と回答する生徒がいるなど、より分かりやすい授業になったと思われる。
- ・「理念やあり方ワークシート」をメインに2時間授業を展開したので、
詳しい説明を加えることができたことや、生徒同士で話し合いが充実した点。
また、「大切な部分は何度も繰り返していたので、よく理解できた。」と言う生徒がいたように、
重要な事を丁寧に教えることができた点。

(2)「プログラム(授業計画)」としての問題点・改善点

- ・「理念やあり方ワークシート」をメインに使用したので、まとまった授業展開になったが、
「もう少し、広い範囲の社会保障の問題を出してほしかった。」という意見がみられた。
社会保障の4つの柱をテキストで学習させたが、詳しい解説をあまり入れなかったために、
それぞれが何なのかもっと知りたいと思った生徒がいたように思われる。
- ・また、テキストの解説がなかったので、「もっと時間をかけてやってほしい。教材の字がびっしりの所は
少し読んだり学ぼうとする気が失せるかも・・・。」との意見があった。時間がもう一時間あれば、
テキストでの学習にも時間が取れ、さらに生徒の理解が向上するのではないかとされた。

(3)「教材」として効果的だったと思われる点

- ・「理念やあり方ワークシート」は他の国と比較や、
社会保障制度でも政府・国民・市場のどこに負担があるかを考察する事ができ、
生徒が制度や仕組みについて、様々な考察を行う事ができた点。
- ・「理念やあり方ワークシート」は、グラフがわかりやすく、具体的な例が出ていたので
わかりやすいという意見が生徒から多くあった。
- ・「テキスト」は教科書よりも要点がまとまっており、さらに詳しくあったとの意見が担当教師からあった。
- ・「10個の「10分間講座」」は、問題が生徒にとって身近なものであったために、分かりやすく、
解説もしっかりとついていたために生徒が理解しやすかった点。
- ・「10個の「10分間講座」」について、
「クイズが非常に面白く、また簡単な質問なのに意外とわからないところが、うまいな、と思いました。」
との意見が生徒からあった。おや？と生徒の注意を旨く喚起したことが、効果的だと思われた。

(4)「教材」としての問題点・改善点

- ・「10個の「10分間講座」」は、白黒なので見にくいという意見があった。
今回のように、スクリーンに投射して使用することを想定して、モノクロでも見やすい画像にすると更に使い勝手が良くなるように思われる。
- ・「理念やあり方ワークシート」に対して、生徒から
「教材が冊子のような、保管しやすいものだ嬉しいです。」との意見があった。
- ・「理念やあり方ワークシート」に対して、生徒から
「F、M、Gやサービスと負担の割合の違いによる詳しい違い、長所・短所などが知りたかった。」との意見があった。
- ・「理念やあり方ワークシート」に対して、生徒から「幸福度調査の結果とかが入れて、幸福度的にはどこの国民が高いのかを入れた方が良いと思った。」との意見があった。

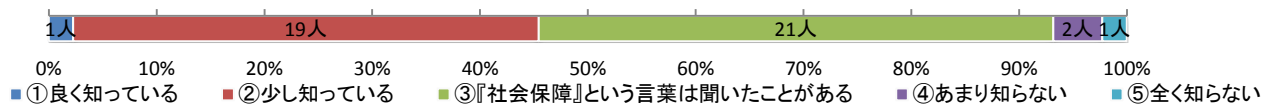
(5)全体として

- ・98%の生徒が授業後に社会保障の仕組みを「理解した」と回答しており、アンケートの回答を見ても、生徒の社会保障制度への理解が深まったことが伺える。
- ・80%の生徒が今後も社会保障教育に取り組みたいと考えており、社会保障制度について考えるきっかけになったように考える。
- ・98%の生徒が、社会保障についての関心が高まったと回答しており、
「全体的にもっと深く、もっと広くしてもいいと思う。いっそのこと、経済という授業を1コマ分/1週間 小・中・高 学校の時にもうけてもいいと思う。」
「とても大切なことで、これからも考えていきたいと思った。」
「これから大人になるにつれて、親も私も関わる事なので、他人事と思わないで、しっかりと理解したいと思った。」など、関心が高まったことにより、学習の意欲が高まったことが伺える意見が多く出た。
- ・ディスカッションに重きを置いたことで、他人の考え方を知ったことで、さらに自分の考え方もまとめ、アンケートへもしっかりと意見を記入していた。
- ・テキストに関して、用語解説が欲しいという意見が多く見られた。
「テキスト」は教科書的な役割なので、それに対する資料集、参考書のようなものがあれば生徒の学習の一助になるのではないかと考えられた。
- ・社会保障の充実している国では実際にどのような保障を行っているのか、幸福度が高い国はどこなのかなど、「理念やあり方ワークシート」に、自分が選んだ答えに対して、現状はどうなのかを知りたいという意見が見られた。
解説・ファクトシートをさらに充実させて様々な疑問に対する答えを用意してあげると、更に生徒にとっても先生にとっても便利な教材になると思われた。

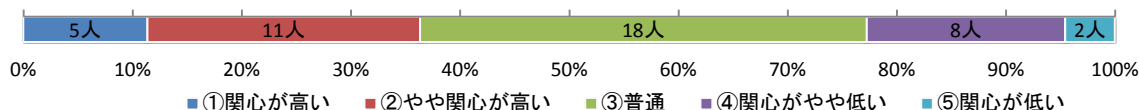
【桜修館中等教育学校アンケート結果】

授業前

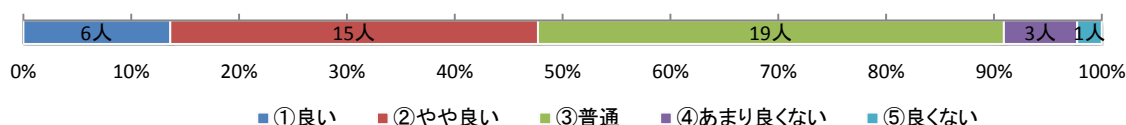
問1. 社会保障について知っていますか？



問2. 社会保障について関心がありますか？

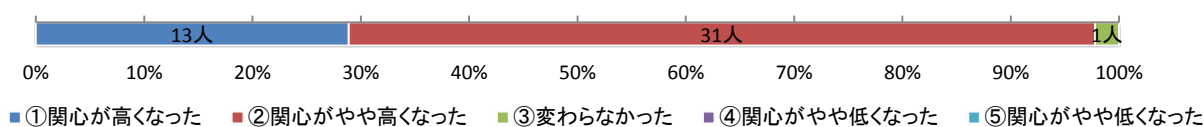


問3. 社会保障に対するイメージは？

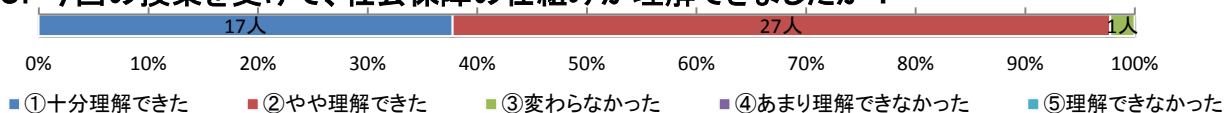


授業後

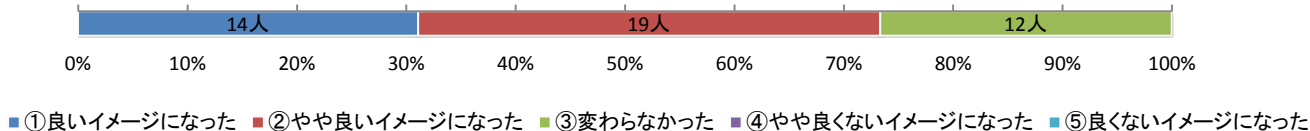
問4. 今回の授業を受けて、社会保障についての関心が高まりましたか？



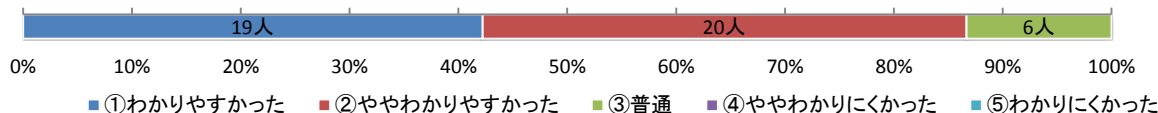
問5. 今回の授業を受けて、社会保障の仕組みが理解できましたか？



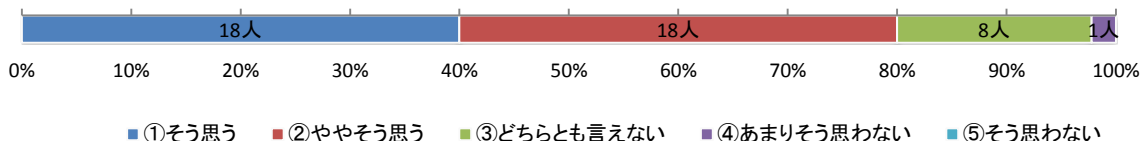
問6. 社会保障に対するイメージは変わりましたか？



問7. 今回の授業で使用した社会保障の教材はわかりやすかったですか？



問8. 今後もこのような社会保障教育に取り組みたいです thinks か？



【芥川高等学校】

(1)「プログラム(授業計画)」として効果的だったと思われる点

- ・テキスト、ワークシートを生徒が理解しやすいように、教師オリジナルのワークシートに落とし込んで学習をさせた点。
- ・授業の導入で、社会保障に関するクイズを通して、生徒の誤ったイメージと正しい知識のギャップを自覚させて、これから学習する事への意識が高まり、自分のこととして問題意識を持ち、映像視聴を行えた点。
- ・授業の最後に生徒に「わかったこと」「わからなかったこと」「感想」を書かせたことで、生徒の理解度や疑問点を把握する事ができ、次の授業で効果的なフィードバックが行えたことが、効果的であったと思われる。
- ・社会保障制度について学ぶだけではなく、卒業後の就職を見越して、サービスを受けるにはどのようにすれば良いのかなど、生活に即したプログラムにした点。また、授業の最後にポスター制作を行う事で、学習してきた内容を復習できた点。
- ・「もっと長時間できたら色んなことを知れたと思う」「もう少し時間をかけて詳しく教えて欲しかった」等、社会保障についての継続した学習を望む声があった。

(2)「プログラム(授業計画)」としての問題点・改善点

- ・1, 2時限目で社会保障制度を学んだ際に、もう少しディベートする時間があれば良いと思われた。難しい内容の事を学習する際には、学習する過程で疑問に思ったことが、他人の意見を聞く事により解決したり、忘れていた事を思い出して、知識が定着したりするメリットがある。このような時間を取る事ができれば更に生徒の理解向上に繋がるのではないかと思われた。
- ・「またもう少し一つ一つをゆっくり学習したい」とアンケートに回答した生徒が数名いたので、時間をかけて学習してもよかったように思われた。

(3)「教材」として効果的だったと思われる点

- ・社会保障に関する授業を組み立てる際に苦労するのが、適切な資料集めだが、「テキスト」は要点をまとめてあるために使いやすく、資料をあつめる手間を省ける。
- ・「10個の「10分間講座」」はクイズ形式のゲーム感覚で取り組むことが可能であるので、長時間集中する事が難しい生徒に対して授業を組むうえで効果的であったと思われる。
- ・映像教材「社会保障って、なに？」は生徒の身近なところでの理解に繋がり、具体的な質問も多くでて、自分から知ろうという姿勢がみられた点。
- ・映像教材「社会保障って、なに？」は生徒にとってわかりやすく、授業の良かった点として、40人中17人の生徒が「ビデオがわかりやすかった」と回答している。また教師のアンケートにも、「ビデオ教材は生徒にとって教科書やプリントよりも、インパクトがあり、しっかり見ていた。」とあり、集中力と理解力の向上に繋がったと思われる。
- ・「身近な社会保障ワークシート」は、貯金と年金の違いや物価の違いを、実際の数字で比較させることにより、生徒に年金のメリット、年金保険料を納める意義をわかりやすく教えている点。生徒のアンケートにも、「お金を取られるだけだと思ってた印象が変わりました」「実際お金を払うのは大変やけど、得なこととか安心出来ることがいっぱいあるからいいと思う」「将来のために、自分もしっかり払っていかないとと思った」など保険料を納める意義を理解した回答が見られた。

(4)「教材」としての問題点・改善点

- ・生徒にとって、映像教材の時間が長いという意見がみられた。
年金編と健康保険編の2編に分ける等、細分化されれば先生の使い勝手が更に向上するよう思われた。
- ・映像教材については、生徒にワークシートを配り視聴しながら要点を記入させながら学習したので、「文字がもう少し長い時間画面にあると、生徒が記入しやすかった。」という意見があった。
- ・「テキスト」の社会保障制度を学ぶところでは、生徒にイメージを持たせやすくするために、もう少し図を使うなどがあればさらに分かりやすくなるのではと思われる。
- ・また具体的な手続きを教えて欲しいという意見があったため、授業で学習する内容を、家庭で生徒に調べさせてレポート形式で提出させたりする、調べ学習に対応したもの、例えば年金について調べるのに便利なホームページの紹介、資料の紹介などがあれば、さらに発展した学習が行えるように感じた。
- ・「テキスト」は、「資料として読む分には申し分ないが、授業で使うことを考えると、もう少し項目立てがされてあった方がより使い勝手が良い」との意見が教師よりあった。

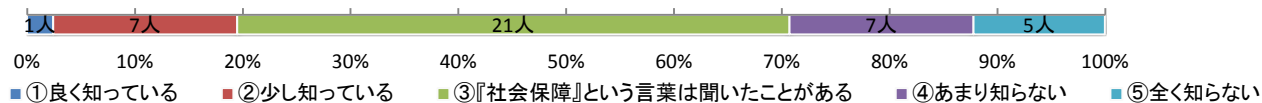
(5)全体として

- ・91%の生徒が授業後に社会保障についての関心が「高まった」と回答している。
- ・93%の生徒が授業後に社会保障の仕組みが「理解できた」と回答している。
- ・授業後のアンケートで、今後も社会保障教育に取り組みたいと回答した生徒が80%おり、「もっと長時間できたら色んなことを知れたと思う」「もう少し時間をかけて詳しく教えて欲しかった」等、社会保障についての継続した学習を望む声があった。
- ・プログラム策定時に、卒業後に就職をする学生が多いために、社会保障制度を実際の生活で生徒が活用するにはどうすればいいか？という事に繋げて教えたいと担当教師が言っていたが、生徒目線、生活レベルでの社会保障制度を教える必要があると考える家庭科の教師が多く、社会保障制度を教える際には、自治体のWEBなど実際のものを使う場合があり、社会保障制度について学習する事ができるWEBや、学習に役立つWEBの紹介など、生徒が情報にアクセスすることができる仕組みがあれば、先生・生徒双方にとって便利になるのではと思われる。
- ・家庭科向けの教材展開をする際には、授業の前後に生徒に課題として、授業で学習した事が実際には家庭ではどうか、社会ではどうなっているのか等、実態を調べてレポートさせる「調べ学習」がある。
この学習の際にも上記の生徒が情報にアクセスする仕組みがあれば、活用され则认为る。
- ・「今回教材が用意されていたことで、これまでの社会保障に関する授業より、準備が楽になった。また、厚生労働省が用意したものであるので確実な内容ということもあり、納得して授業を行うことができた。また、生徒にもより伝わったのではないかなと思う。」「これまで行ってきた社会保障に関する授業では、手続きをどのように行うか、申請の仕方などを自治体のホームページを使い、生徒が卒業後に社会人として必要になってくる知識を学ばせる事を中心としてきた。今回は社会保障制度の理念、意義、課題などを効果的に授業に盛り込むことができた。これらを学習したことで、制度を理解しやすく内容も頭に入ったのではないかなと思われる」との意見が教師より寄せられた。

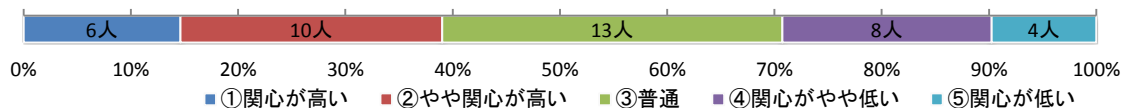
【芥川高校アンケート結果】

授業前

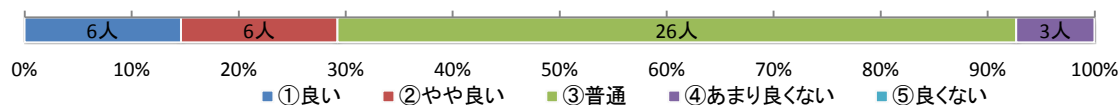
問1. 社会保障について知っていますか？



問2. 社会保障について関心がありますか？

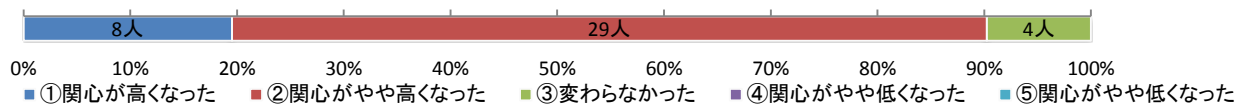


問3. 社会保障に対するイメージは？

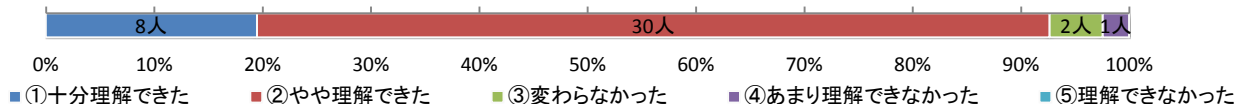


授業後

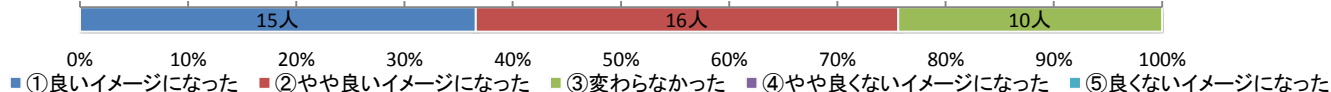
問4. 今回の授業を受けて、社会保障についての関心が高まりましたか？



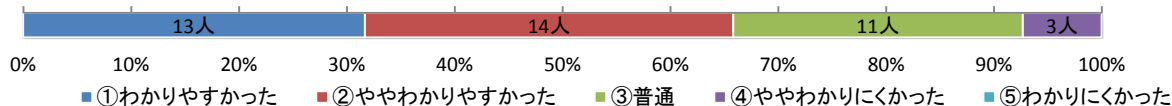
問5. 今回の授業を受けて、社会保障の仕組みが理解できましたか？



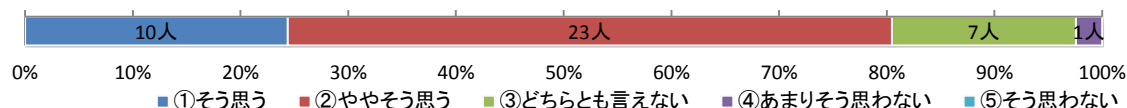
問6. 社会保障に対するイメージは変わりましたか？



問7. 今回の授業で使用した社会保障の教材はわかりやすかったですか？



問8. 今後もこのような社会保障教育に取り組みたいです thinks か？



【茨木西高等学校】

(1)「プログラム(授業計画)」として効果的だったと思われる点

- ・1限目に映像教材を用いたことで、生徒が社会保障制度がどのようなものであるのかをイメージしやすくなったために、その後の授業でのワークシートを使用した学習や、グループワークなどがより効果的に行えたと思われる。
- ・グループでの話し合いを入れたことで、他人の考えを知ることができ、それによる気づきがあった点。
- ・1限目、2限目共、授業の最後に生徒に考えを記述させる時間を設けたことで、学習してきたことのまとめになり、生徒も考えを整理する時間を持てたのが良かったと思われる。

(2)「プログラム(授業計画)」としての問題点・改善点

- ・2時限目は「理念やあり方ワークシート」の内容を一通り教える構成にしていたが、想定よりグループワークが活発化したので、時間配分に問題があった。もう少しグループワークに時間をとり、それをまとめ上げて次の内容に進むような授業計画であれば、さらに生徒の理解向上につながるものと思われた。
- ・年間スケジュールの都合上、今回は2時間しか時間がとれなかったが、4時間とることができれば今回のプログラムの内容を、さらに詳しく、また別のことも学習することができた。
- ・との教師の意見もあった。

(3)「教材」として効果的だったと思われる点

- ・「理念やあり方ワークシート」は「生徒が自ら考えて、社会保障について理解する事ができたところ」が効果的だったと担当教師がアンケートに回答している。
- ・「理念やあり方ワークシート」は、グラフなどの資料による分かりやすさがあった
- ・「理念やあり方ワークシート」の解説・ファクトシートは教材の指導方法が分かりやすく載っていたため、授業を組み立てる際に役に立ったとの意見があった
- ・映像教材「社会保障って、何？」は、生徒に社会保障のイメージをもたせたことで、理解の向上につながったと思われる。
- ・「テキスト」は要点がまとまっているので使いやすい、との意見が担当教師からあった。

(4)「教材」としての問題点・改善点

- ・「10個の「10分間講座」」のP6の解説の部分で、年金は「保険」と書いてあるが、民間と異なり、皆加入できることも載せておくと良い。P10の部分で、女性が働きやすい社会、子育てしやすい社会について議論させる等良いのでは。」との意見が担当教師からあった。
- ・映像教材「社会保障って、なに？」の冒頭部分クイズは、「問題それぞれに番号が振ってあったほうが良い」との意見が教師からあった。

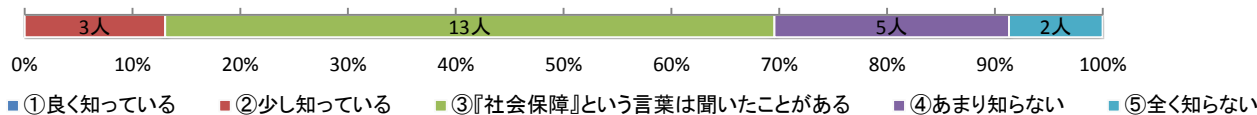
(5)全体として

- ・授業前は「社会保障」に対して、関心があると回答した生徒が13%と、全体的に関心の低さがあつた茨木西高校であるが、授業を行ったことでどのような制度かがわかつたことで、関心度の向上や、必要性を感じた生徒が多かつた。授業後に関心が「高くなつた」と回答した生徒が85%だつた。また、85%の生徒が社会保障の仕組みが「理解できた」と回答している。
- ・「もう少しゆっくり教えて欲しかつた」「訳がわからなかつた」など授業に追いつけていない生徒も見られた。今回は2時間だつたが、この学校のプログラムのボリュームは3時間、4時間かけてゆっくりやればより効果的ではないかと思われた。教師も、年間スケジュールの都合上、今回は2時間しか時間がとれなかつたが、4時間とることができれば今回のプログラムの内容を、さらに詳しく、また別のことも学習することができた。という意見を持っている。
- ・今回の社会保障教育の授業と、これまで担当教師が行っていた授業との違いについて、担当教師より、「映像教材が用意されている等、授業の組み立てがしやすかつた。」「これまでは家庭科ということで、家計簿など、身近なところから社会保障を考えるアプローチをしていたが、今回は、海外との比較をさせる資料があつたので、それを授業に取り入れた。それによりこれまでとは違つた視点で授業を行うことができた。この様に様々な角度から教えることで、生徒も理解がしやすかつたのではないかと思われる。」「卒業後に生徒が生活していくために必要な制度ではあるが、マスコミの偏つた報道などで、生徒に実態がきちんと伝わっていない。授業では社会保障制度の仕組みと意義を丁寧に教えることを目的にしている。正しい知識を教えることが重要だと思う。この点では、厚生労働省からの授業案及び、資料があると内容の確実性もあり教師自身も授業内容に迷いがなくなると考える。」との意見があつた。

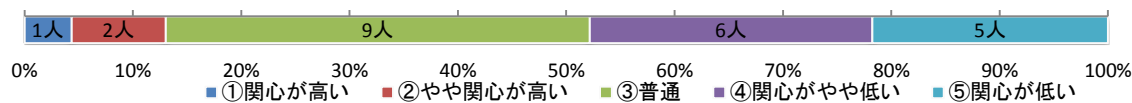
【茨木西高等学校アンケート結果】

授業前

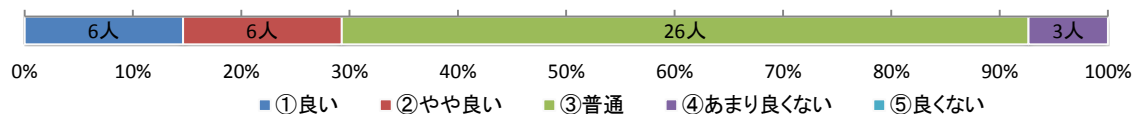
問1. 社会保障について知っていますか？



問2. 社会保障について関心がありますか？

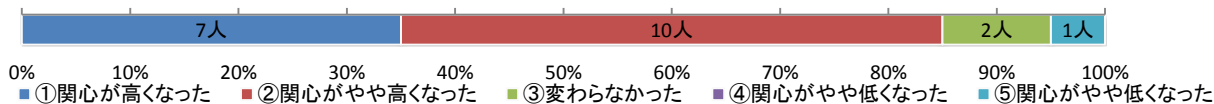


問3. 社会保障に対するイメージは？

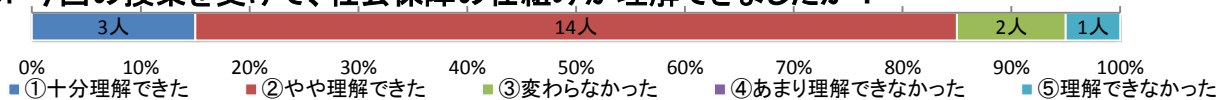


授業後

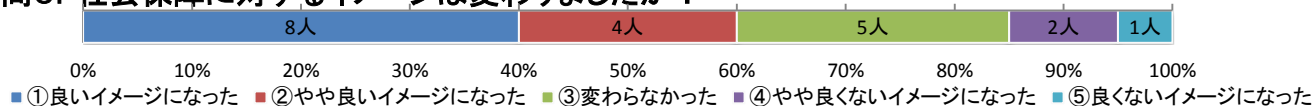
問4. 今回の授業を受けて、社会保障についての関心が高まりましたか？



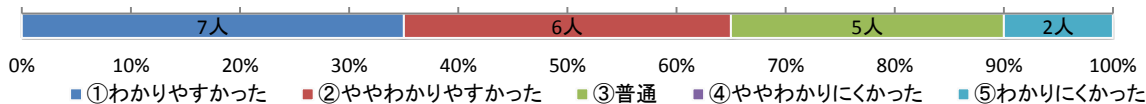
問5. 今回の授業を受けて、社会保障の仕組みが理解できましたか？



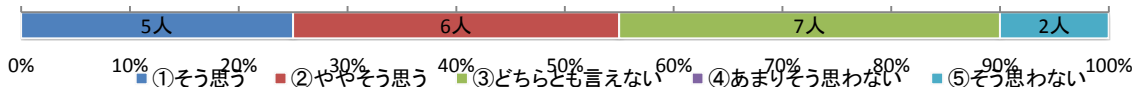
問6. 社会保障に対するイメージは変わりましたか？



問7. 今回の授業で使用した社会保障の教材はわかりやすかったですか？



問8. 今後もこのような社会保障教育に取り組みたいです thinks か？



4. 社会保障教育の全国展開・定着に向けた考察

(1) 現状の課題

- ・社会保障を教える時間が少ない。公民科も家庭科も教科書に数ページ記載がある程度であり、制度について深く学習することなく終わる事が多い。
- ・先生自身に社会保障の知識が無く、上手く教えられないのではとの意見があった。
- ・今回用意された教材でどのように授業を組み立てるのかを例示してあげないと、なかなか使用されないのではないかとと思われる。
- ・ネガティブなイメージを持った先生も多いので、社会保障教育の必要性を先生に周知する必要がある。
- ・学校にも様々なレベルがあり、現在用意されているワークシートでも生徒にとっては難しすぎると感じる先生がいた。
- ・今回の教材を見て、家庭科の教師から公民的な色が強いという理由でモデル授業を断られたケースがあり、公民科と家庭科に分けたプログラム立案を行う必要があると感じられた。
- ・現在はweb上に教材があるが、そこへ到達するのが困難な状態になっている。学校によっては、ダウンロードなどを禁止にしている学校もあるために、教材を告知していく必要があると考える。

(2) 提案

- ・授業後に今後も社会保障教育に「取り組みたい」と回答した生徒が、全体の74%を占めた。また、「手続きなど具体的な事が知りたい」「現状の課題が知りたい」といった意見が多く見られ、授業を受けてさらに社会保障について、より詳しく知りたいと考える生徒が多いことがわかった。授業の中では教えきれないため、授業を受けた生徒が自主的に学べるような仕組みがあれば、良いように思われた。生徒がアクセスして社会保障制度について学習できるページの紹介や、授業後に自宅に持ち帰り読むことが可能な小冊子などがあれば学習に役立つのではないかとと思われる。
- ・授業を終えて社会保障制度に対するイメージが「良くなった」と回答した生徒が、全体の82%であった。「国にお金を取られる」「負担だけ」というネガティブなイメージが、正しい知識を得たことで、保険料を納める意義がわかり、イメージの好転につながったものと思われる。授業での使用を想定した教材展開と合わせて、授業以外でのオリエンテーションなどで使える副教材なども効果があるのではないかとと思われる。
- ・映像教材がわかりやすいという意見が多かった。「イメージが持ちやすい」「教科書やプリントよりもインパクトがありしっかり見ていた」などの意見があった。「社会保障って、なに？」に盛り込まれていない内容のものなどニーズはあると考える。10～15分程度のものが数冊用意されていれば、授業を組み立てやすいという意見があった。
- ・教師自身が社会保障教育の必要性を感じていないと、その単元は教科書を読んで終了として、内容を深く学ばないことが多いと思われる。また、教師自身に社会保障制度の知識が少なく、内容を詳しく教えることができないケースがあるのではないかとと思われる。そのため、社会保障教育を定着させていくためには教師の社会保障制度にたいする理解が必要と思われる。講師派遣による先生対象のセミナー・出前授業の実施が有効ではないかとと思われる。
- ・学校ではネットからファイルをダウンロードすることができない等、PCがあっても情報にアクセスできない先生が多く、教材案内は、紙ベースで行うことが有効であると思われる。各企業、団体は郵送、FAXで告知活動を行っており、教師はその中から吟味して授業で使えそうなものを取り寄せる。社会保障に関する資料のニーズは高いと思われるので、紙ベースで告知を行う事で、教師も情報にアクセスする事が可能になり、授業で利用・活用されるのではないかとと思われる。

・パワーポイント教材開発。

蒲田高校の浅川先生が作成したような、パワーポイント教材を作成して提供すると、資料を用意したり、授業を組み立てる手間が省けるので、先生にとって便利だと思われる。また、パワーポイントを操作するだけで授業が行えるために、授業を組み立てる力が弱い先生にとってニーズがあると思う。

・プログラム立案。

現在用意されている教材でどのように授業を行うかのプログラムを立案し、プログラムを提供していくと良いと考える。導入、展開、まとめまで一通り例示されたものが提供されれば、教師もらくであり、社会保障に関する授業を行ったことがない先生も指導がしやすくなる。

プログラム立案にあたっては、教科ごとに行う必要があると思われる。

・指導書の作成。

上記のプログラムについて、指導のポイントや、評価のポイントなどを載せた指導書を作成して配布する。ここでの指導案は、授業案、評価のポイント、指導方法などをまとめたものを指す。巻末に参考資料を添付。

・授業実践報告などをWEBに掲載していく。

社会保障に関する授業を先生に行ってもらい、それを、厚生労働省のWEBに掲載して、教材の使い方や指導の仕方を紹介していく。

その際に先生が考えた授業案や授業のねらいや考察も載せ、それを閲覧した他の先生が、授業を組み立てる参考になる仕組みをつくると良いと思われる。巻末に参考資料を添付。

・学校のレベルに合わせたプログラム展開

進学校、中堅校等それぞれに合わせたプログラム展開ができるとより効果的であるように思われた。進学校は知識として学ばせたいケースが多く、生徒がさらに深く学習したいと考えた場合への対応があれば良いと思われる。対応としては、テキストに対応した資料集や参考書の役割をもつ教材の用意、用語集の用意、学習に役立つWEBの紹介などが考えられる。中堅校は、就職する学生に、生活で困ることが無いように、社会保障を教えるといったケースが多く、実際の自治体のwebを使用して授業を展開することもあるので、教材に合わせて、社会保障制度について学習する事ができるWEBや、学習に役立つサイトの紹介など、生徒が情報にアクセスすることができる仕組みがあれば、先生・生徒双方にとって便利になるのではないかと思われた。学力に問題を抱える学校は、漢字を読めない生徒がいるなど教材作成にあたり課題が多い。しかし、このような生徒にこそ社会保障教育が必要と感じている先生が多かったのでニーズがあると思われる。

・学習指導要領の指導についての記述

社会保障教育の定着には、学習指導要領や解説書の社会保障に関する記述のされ方など最後は文部科学省の問題になるのではないかと意見が先生方より多く寄せられた。

基本編

2 家庭経済のしくみ

【学習のねらい】

家計のしくみを知り、家庭経済は国民経済や世界経済とかわりのあることを理解させる。

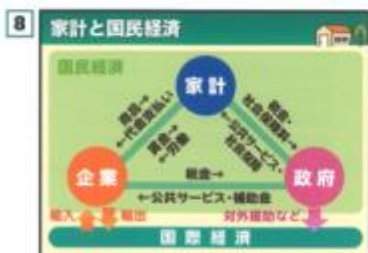


最近、価格の変化が著しいものは？

●私たちの身のまわりで価格が著しく上がったものや下がったものはありませんか？また、その価格はどのように変わってしまったのでしょうか。

✎ 導入として、生活に身近な商品の価格の変動と、世界（国民）経済とのかかわりについて考えます。価格が上がったり下がったりする背景に世界経済や国民経済の動きが関係しているものを取り上げ、なぜ値上がりや値下がりがあったのか、そのしくみを解説します。

➡資料編 2 「消費者物価指数の推移」



家計と国民経済

●家計は、家庭（世帯）を単位とする経済活動であり、社会における経済活動の基礎単位です。

●家計は企業・政府（国・地方公共団体）の経済活動とかわり、国民経済を構成しています。

●国民経済は、輸出入や対外援助などを通して国際経済と関連しています。

PowerPoint を活用し、 生徒の視点で考えさせる「家庭経済」領域

東京都立足立新田高等学校教諭 三野 直子

■視覚機器を活用する家庭科学習

生徒の生活を見渡せば、多様な機能の携帯電話の普及に伴い、携帯電話というツールひとつとっても教師のほうと追いついていない現状があります。学校の視覚機器はビデオが中心ですが、DVD の普及も家庭と学校の間に温度差があります。

授業の形態は、黒板からの知識を生徒と教師が共有しながら進めるものからワークショップ形式など多様化しているものの、まだまだ黒板を中心としています。しかし、これからの教育を考えると PowerPoint の活用は、同じ内容を数回行う授業であれば、内容を更新していくだけで簡単に教材として充実したものとなります。また、生徒の視点で捉えたと板書より見やすく、授業に変化があり、まとめとして見るのもよいと思います。

■プランの特色

PowerPoint を活用し、家庭経済を生徒の視点から考えさせることで、家庭生活のまわりにある家庭経済を自分のこととして見つめることができます。そこで、家庭経済についての興味・関心を高めるだけでなく、「生きる力」を身につけ、実践能力を高められるような授業展開例を紹介していきます。

■学習のねらい

導入に生徒の視点から家庭経済を見ることから、この領域の内容を自分のこととして考え、家庭生活のまわりで起こる家庭経済を学ばせます。

■授業展開案

基本編1「将来の自分のすがたを想像してみよう」

授業時間：1時間

時間	スライド番号	学習指導	生徒の学習活動	留意点
10分	2	30年後の自分、家族の年齢から将来を見る。	生徒に30年後を想像させ、意見を交換する。	年齢から想像した内容をまとめる。
10分	3	高校生が考える未来を知る。	データから何が見えるかを考える。	データの特徴をまとめる。
20分	4	ライフコースの内容から長期的な視点を考える。	自分のライフコースをプリントなどに記入する。	ワークシートを用意し、プランを立てる。
10分	5	計画と実際の違いとリスクを知る。	記入したライフコースから見たことをまとめる。	計画を実行する場合に考えられることを知る。

基本編2「家庭経済のしくみ」

授業時間：1時間

時間	スライド番号	学習指導	生徒の学習活動	留意点
10分	7	最近、価格が変動した商品を探す。	具体的なことを書き出しまとめる。	生徒に質問して答えさせ、経済との関係を見る。
10分	8、9	家計と国民経済の関係、家計のしくみを知る。	家計という基礎単位から経済の動きや家計の構成内容を見る。	家計を支える労働が収入をもたらす、経済を動かしていることを知らせる。
10分	10、11	可処分所得の特徴を図で理解する。	家庭で自由に使えるお金とは何かを知る。	収支バランスの大切さを理解させる。
20分	12	家計の中で自分自身に使われる項目とその金額を知る。	ワークシートに金額を記入する。その金額から家計を見つめ、まとめる。	家計の支出には自分の経費があることから家計を見直させる。

基本編3「ライフステージと経済計画」

授業時間：2時間

時間	スライド番号	学習指導	生徒の学習活動	留意点
20分	14～16	家計にある教育費から学費を考える。	これまで、これから学費はどれだけかかろう、必要かをワークシートに記入し、その額を知る。	データから教育費が家計に占める重さを知らせる。
10分	17	ライフイベントを理解し、1人暮らしをキーワードにその費用を考える。	独立、結婚、出産・子育て、住宅購入にかかる費用を推測し、実額を知る。	データを提示し、そのためにできることを考えさせる。
20分	18、19	ライフイベントと同時に考えなければならないことはないかを考える。	日々の生活に潜む偶発的な出来事について知り、その対処法を考える。	リスクへの備えの必要性を理解し、公私の保障を知らせる。
10分	20	公的保障について説明する。	スライド20を参照する。	わが国の社会保障制度の内容を理解させる。
10分	21	公的保障の1つ、社会保険の内容を説明する。	スライド21を参照する。	社会保険はどのような場合に必要なのかを知る。
10分	22	私的保障について説明し、その手段を知る。	スライド22を参照する。	私的保障はどんな場合にリスク軽減になるかを知る。
20分	23～30	リスク軽減を自転車盗難の例から考える。	スライド23～30を参照する。最後にワークシートを活用して本時のまとめをする。	預貯金と保険の違いを理解し、私的保障の有無は自分で決めることを理解する。

基本編4「家計の現在」

授業時間：1時間

時間	スライド番号	学習指導	生徒の学習活動	留意点
10分	32	1人暮らしの家計を知る。	スライド32を参照する。	家計を自分の立場で見つめ、理解する。
10分	33	年代による支出の違いを知る。	スライド33を参照する。	人の成長とお金の関係を家計から見る。
5分	34～36	現代の家計の特徴、その中のキャッシュレス化を理解する。	スライド34～36を参照する。	見えないお金の使い方の理解とその落とし穴を知らせる。
20分	—	消費者問題関連動画を視聴する。	視聴しながら、ワークシートを記入し、まとめる。	ビデオで理解を深める。

学習指導要領・教科書との対応

本教材が対応している高等学校家庭科の学習指導要領の項目および教科書の単元を示します。

新学習指導要領 (平成21年3月)

※平成25年度から完全実施されます。

家庭基礎	
目標	人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
内容	(2) 生活の自立および消費と環境 自立した生活を営むために必要な衣食住、消費生活や生活における経済の計画に関する基礎的・基本的な知識と技術を得させ、環境に配慮したライフスタイルについて考えさせるとともに、主体的に生活を設計することができるようにする。 エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画 消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について理解させ、適切な意思決定に基づいて行動できるようにするとともに、生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えることができるようにする。 カ 生涯の生活設計 生涯を見通した自己の生活について考えさせるとともに、主体的に生活を設計できるようにする。
家庭総合	
目標	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
内容	(5) 生涯の生活設計 生活設計の立案を通して、生涯を見通した自己の生活について主体的に考えることができるようにする。 ア 生活資源とその活用 生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源についての理解を深め、有効に活用することの重要性について認識させる。 イ ライフスタイルと生活設計 自己のライフスタイルや将来の家庭生活と職業生活の在り方について考えさせるとともに、生活資源を活用して生活を設計できるようにする。

教科書 (家庭基礎)

※平成23年度現在で使用されている教科書

教科	出版社	教科書番号	教科書名	単元
家庭基礎	東京書籍	家庭040	家庭基礎 自立・共生・創造	第3編 生活を設計する／第1章 生活設計の考え方
	教育図書	家庭041	新家庭基礎 とともに生きる、くらしをつくる	第2部 くらしをつくる／第5章 くらしのなかの「消費」／2 家計から生活を考えよう
		家庭042	家庭基礎 出会う・かかわる・行動する	Ⅱ 育ち、生かす、捨てる／第1章 消費生活と資源・環境
		家庭010	家庭基礎	第3章 消費生活と環境／1 家庭の経済を考える／(1) 家庭の経済 (2) 家計の収入と支出
		家庭011	家庭基礎 気づく・追求する・行動する	Ⅱ 消費生活を見直す／第1章 生活の基盤としての経済
	実教出版	家庭043	新家庭基礎 未来へつなぐパートナーシップ	3編 消費者として自立する／第2章 経済的に自立する
		家庭044	新家庭基礎21	5章 消費社会を生きて／2節 自立した経済生活のために
		家庭012	家庭基礎 自分らしい生き方とパートナーシップ	4編 消費者として自立する／第2章 経済的に自立する
	開隆堂	家庭045	家庭基礎 明日の生活を築く	第3部 生活を創る／1章 自立した消費者として
	大修館書店	家庭046	新家庭基礎 生活の創造をめざして	第3章 資源をいかす／1 家庭の経済生活をみつめよう
		家庭047	明日を拓く 高校家庭基礎	第2章 資源をいかす
	一橋出版	家庭016	家庭基礎 一すこやかに生きる一	1章 人の一生と家族／3 生活を設計する
		家庭017	これからの家庭基礎 あたらしい生活を求めて	5章 消費生活と資源・環境／3 家庭経済と生活設計
	第一学習社	家庭048	高等学校 改訂版 家庭基礎 自分らしく生きる	第7章 消費と私の行動／1 家計と消費行動
				3章 消費を考える／第1節 私たちの暮らしと経済

教科書（家庭総合）

※平成23年度現在で使用されている教科書

教科	出版社	教科書番号	教科書名	単元
家庭総合	東京書籍	家庭031	家庭総合 自立・共生・創造	第9章 生活を設計する／第1章 生活設計の考え方
		家庭032	新家庭総合 ともに生きる、くらしをつくる	第2部 くらしをつくる／第5章 くらしのなかの「消費」 2 家計から生活を考えよう
		家庭033	家庭総合 出会う・かかわる・行動する	Ⅱ 費う、生かす、接てる／第1章 消費生活と資源・環境
	教育図書	家庭002	家庭総合	第5章 消費生活と環境／2 家庭の経済を考える
		家庭034	新家庭総合 未来をひらく生き方とパートナーシップ	3章 消費者として自立する／第2章 経済的に自立する
		家庭035	新家庭総合21	7章 消費社会を生きて／2部 自立した経済生活のために
	実教出版	家庭003	家庭総合 自分らしい生き方とパートナーシップ	4編 消費者として自立する／第2章 経済的に自立する
		家庭036	家庭総合 明日の生活を築く	第4部 生活を創る／1章 暮らしと経済
		家庭037	新家庭総合 生活の創造をめざして	第2章 資源をいかに／1 家庭の経済生活をみつめよう
	大塚書店	家庭038	明日を拓く 高校家庭総合	第2章 資源をいかに／9 家計の現状と社会とのかわり
		家庭007	家庭総合ーともに生きるー	1章 一生をすごやかに生きる／5 生活を設計する
	第一学習社	家庭039	高等学校 改訂版 家庭総合 生活に豊かさをもたせて	5章 ライフスタイルを選ぶ／3 家庭経済と生活設計
				4章 消費を考える／第1節 私たちの暮らしと経済

PowerPointを活用した
高等学校家庭科教材キット

新しい「家庭経済」授業プラン

教師用手引書

2008年9月作成

2011年8月改訂

この教材の作成にご協力いただいた先生方

東京都立足立新田高等学校教諭 三野 直子

東京都立野津田高等学校教諭 内田 文子

東京都立大崎高等学校教諭 武藤 かおる

発行：公益財団法人生命保険文化センター

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル8F

TEL 03-5220-8517 FAX 03-5220-9092

<http://www.jili.or.jp/>

制作：放送映画製作所 EVR 事業部

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-3-9 西川ビル6F

TEL 03-5202-6087 FAX 03-5202-6066

許可なしに転載、複製することを禁じます。

教育の現場から

❖ 経済的な自立について考えてみる

web.04

(2013.7)

〇月〇日〇時

大阪府立芥川高等学校 稲葉 ゆかり 先生

1. はじめに

本校は家庭総合を2・3年で履修。「知らないということに気づこう」をテーマに多様な取り組みを行っている。

これまで、経済や社会保障の分野は消費者問題の分野に比べると、導入の部分から聞きなれない言葉に戸惑い、身近なこととして考えにくい生徒が多かった。

今回少し切り口を変えて、経済的に自立していくためには雇用形態や住宅問題など、生き方にかかわる大きな問題を考えなければならぬこと、また、労働対価としての社会保障制度を学ぶ第一歩にもできるように工夫した。

2. 授業の位置付け

- ◇ 対象学年 3年
- ◇ 対象科目 家庭総合
- ◇ 使用教科書 実教出版「新家庭総合－未来をひらく生き方とパートナーシップ－」

3. 授業展開例(1時間)

学習内容	学習活動	指導上の留意点	準備物等
導入 5分	○ 本時の目的を知る ○ 自立についての学習を振り返る	「知らないことを知る」大切さ、今日の授業は、これからの生き方を考えることにつながることを伝える。	
展開(1) 10分	○ 一人暮らししてみたい部屋を選ぶ ○ 一人暮らしにかかる費用の内訳を考える	記入のヒントをいくつか与えながら机間巡視し、完全でなくても、多少おおざっぱでも構わないので、まず自分で考えさせる。	⇒ ワークシート(PDF)
展開(2) 10分	○ 答え合わせをする	実際に一人暮らしをしている卒業生の1か月の収支を使い、生徒に身近な存在から考えさせる。	
展開(3) 20分	○ 働く形態による収入・社会保障などの違いや望む生き方と働き方について知る	今の自分の生活がどのような保障、扶養の上に成り立っているか考えさせる。 今後自立していくために必要なことを考える。 「あきらめる」「めんどくさい」「どうせ無理」に終わらせないようにつなげる。	
まとめ 5分	○ 自分の知らないことを知る ○ 次回について(保険、年金など)	社会保障などは遠い先の事柄ではなく、これから知るべきことであることに気づかせる。	⇒ 振り返りシート(PDF)

4. 生徒の感想



- * 先生がいつも言う「何にも知らないということを知ってください」の意味が分かりました。フリーターやバイトで何とかなるというのは甘いということもわかりました。
- * 一人で経済的に自立するというのはいろんな要素を考えないといけないと思いました。社会保険とかまったくわからなかった。知らないことだらけでやばいと思った。
- * 親とけんかした時に「嫌やったら出ていき」といわれて、「高校卒業したら、絶対家出たる」と思っていたのですが、ちょっと思いとどまろうかと思ってしまった。

5. まとめ(おわりに)



近年アルバイトをして、生活費としてはほとんど使わず、趣味や交際費、衣服費などに使っているにもかかわらず、経済的に自立できていると思い込んでいる生徒も多数いる。今回、授業をきっかけに、さまざまなことに気づき、自分の将来の生き方について素直に考え始めていた。

教科書にも具体例は出ているが、生徒に身近な存在の卒業生の実際の生活費を例に取り上げたことも自分の側に引き寄せて考えることのできた一要因だったと振り返りシートに書いている生徒も多かった。

これを入り口にして年金や健康保険、税金などについても話を進めて「知らない」ことでこうむる不利益について考えさせていきたい。

参考資料

教師オリジナル教材

蒲田高等学校

1限目

PRESENTATION

【政治経済】第15回
“社会保障”への最初のトビラ

【目標】
社会保障制度の概要を、映像などを通して理解する。

導入 “社会保障”への最初のトビラ

PRESENTATION

前回までの「租税」とも大きく関係している「社会保障」が今日からのテーマです。みなさんはあと4ヶ月程で卒業ですが、これからの人生はどのようなものになっていくでしょうか。

私はみなさんに“より幸福”になってもらうことが、この授業の一つの目的です。しかし、人生は“順風満帆”とは限りません。

導入 “社会保障”への最初のトビラ

PRESENTATION

例えば...

人生の「リスク」

導入 “社会保障”への最初のトビラ

PRESENTATION

例えば...

社会保障制度

導入 “社会保障”への最初のトビラ

3 労働条件等

項目	毎月 15日	その他	項目	毎月 25日	その他
賃金	165,000 円		手当	円	(1) 通勤 165,000 円
社会保険料	21.0 円		手当	円	通勤 円
税金	2,880 円	22,491 円	手当	円	通勤 25,351 円
実収 (上欄なし)			手当	円	通勤 139,649 円

導入 “社会保障”への最初のトビラ

PRESENTATION

以下の事態に直面した場合、どうしますか。

- ①病気になる2週間入院。医療費が合計で50万円。
- ②会社が倒産、失業してしまい、次の仕事を探すまで3ヶ月かかった。

導入 “社会保障”への最初のトビラ

PRESENTATION

働いて自分の力で生活していくことは大切なことですが、病気や障害などやむを得ない理由でそれが困難になる人もいます(誰もがその可能性があります)。そういう人にどう対処するべきだと思いますか。

社会保障特別講義ワークシート①『社会保障って何?』

3年 組 番

<step①> 次のクイズに答えてみよう!

問1 公的年金の保険料は何に使われていますか?

- 1 自分の老後のために積み立てられる
- 2 今の高齢者の年金になる

2

問2 公的年金は老後に受け取るもので、若い時には受け取れない。

- 1 ○
- 2 ×

2

問3 公的年金を受け取っている高齢者は健康保険の保険料を納付しなくてもいい。

- 1 ○
- 2 ×

2

<step②> 次の文章を読み、()に当てはまる適切な言葉を入れましょう

- (1) 社会保障制度の多くは⁽¹⁾ **社会保険** という仕組みが使われており、その中でも⁽²⁾ **公的年金** 制度と健康保険という仕組みがある。
- (2) 病気や怪我をした場合に、誰でも保険を使って安心して治療を受けることができる制度を⁽³⁾ **健康保険** という。
- (3) 健康保険に入っていると、窓口で支払う金額は⁽⁴⁾ **3** 割が一般的である。
- (4) 公的年金には、年をとった場合に受け取る⁽⁵⁾ **老齢** 年金、障害者になった場合に受けとる⁽⁶⁾ **障害** 年金、一家の生計を支えていた人が死亡した場合に遺族に支払われる⁽⁷⁾ **遺族** 年金の3種類がある。

<step③> 次の文章のうち、正しいものには「○」、間違っているものには「×」を()の中に入れましょう。

- (○) 健康保険とは、みんなで毎月少しずつお金を出し合って、病気になった人の治療費を払う制度である
- (×) 健康保険とは、国が全額税金で病気になった人の治療費を払う制度である。
- (×) 持病があったり、高齢者になると、公的医療保険には入れないことがある。
- (○) 年金の保険料を納めていない場合は、年金は受け取ることはできない。
- (○) 公的年金は、働いている人が納めた保険料に税金を加えて、高齢者に渡している。
- (○) 公的年金は、働いている人みんなで保険料を納付することで、お年寄りの生活を社会全体で支えるとともに、働いている人の負担の偏りを減らす仕組みである。
- (○) 公的年金は20歳になったら加入するものであるが、学生や収入が低い人の場合、保険料の納付を一定期間猶予したり、免除したりする制度がある。

<step④> DVDの授業を観ての感想を書きましょう。



蒲田高等学校 2限目

PRESENTATION

【政治経済】第16回
“望ましい社会保障”の
在り方を考えよう！

【目標】
社会保障制度の制度と、国家
間の違いを学んだ上で、望まし
い在り方を考察する。

導入 “社会保障”とは...何でしたっけ？

PRESENTATION

前回の授業では、社会保障とは、私たち
の人生の様々なリスクに対応するため
の制度であることを学びました。その社会
保障には、租税教室で学んだ「共助」の
考え方が生かされています。

さて、みなさんは前回のDVDの内容を
どれだけ理解できているでしょうか？

導入 “社会保障”とは...何でしたっけ？

PRESENTATION

そこで...

**社会保障
「高校生クイズ」**

導入 “社会保障”とは...何でしたっけ？

PRESENTATION

第1問

Q1.
部活中に骨折して、入院・手術...。あな
たは窓口で保険証を出して3万円を支払
いました。もし、保険証がなかったら、
いくら支払うことになるでしょう？

6万円 9万円 **10万円** 15万円

導入 “社会保障”とは...何でしたっけ？

PRESENTATION

第2問

Q2.
「年金」の保険料は20歳から払いはじめ
ます。それでは、年金の受け取りにつ
いて、「20歳から受け取る場合もある？」

ホント ウソ

導入 “社会保障”とは...何でしたっけ？

PRESENTATION

第3問

Q3.
持病があったり、高齢者になると、公的
医療保険には入れないことがある。

ホント **ウソ**

復習 “社会保障”への最初のトビラ

PRESENTATION

例えば...

人生の「リスク」

復習 “社会保障”への最初のトビラ

PRESENTATION

例えば...

社会保障制度

1 “社会保障”とは...何でしたっけ？

PRESENTATION

今回の授業は、最初に人生における様々なリスクを考えます。【子ども期】、【成年後(労働期間)】、【老齢期(退職後)】でどのような“リスク”が考えられるでしょうか。



2 “社会保障”の果たす役割

PRESENTATION

ここで、前回から学んできた社会保障制度についてまとめてみましょう。

2 “社会保障”の果たす役割

PRESENTATION

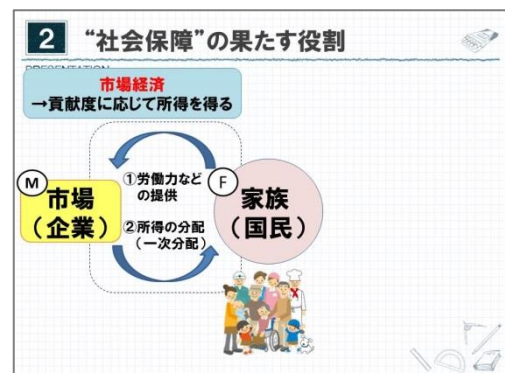
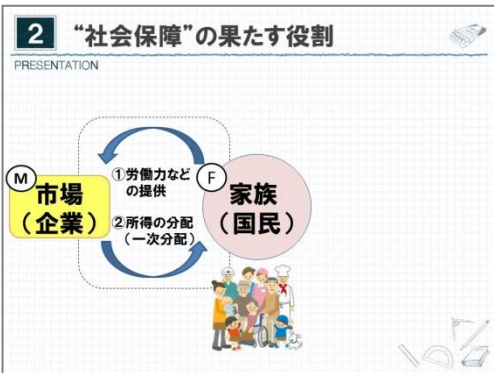
「社会保障」とは...

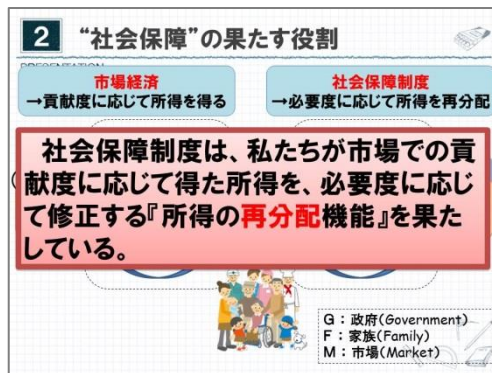
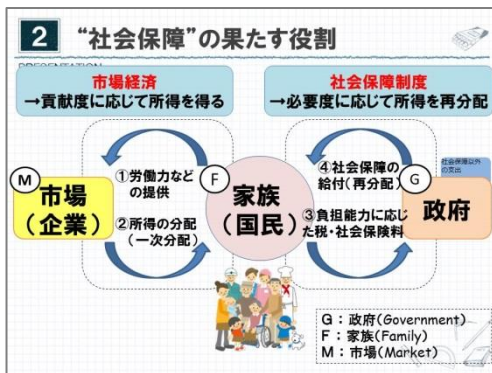
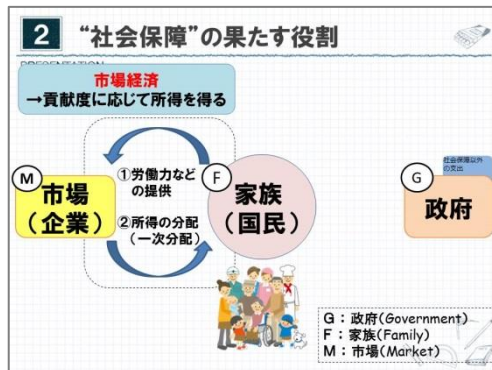
2 “社会保障”の果たす役割

PRESENTATION

「社会保障」とは...

憲法第25条で「生存権」が規定されて以降、日本の社会保障制度は大きく発展し、様々な仕組みが整備されてきた。その中心は、主に**社会保険料**を財源とする「社会保険」であり、**租税**を財源とする「社会福祉」や「公的扶助」、「公衆衛生」などがそれを補足している。

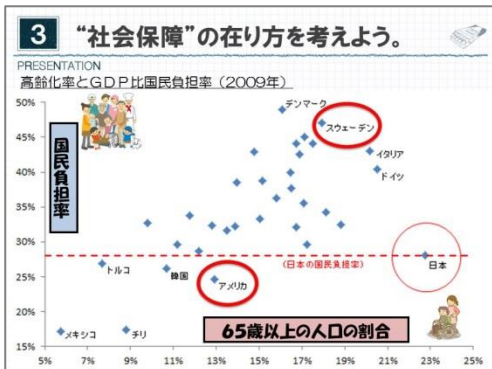
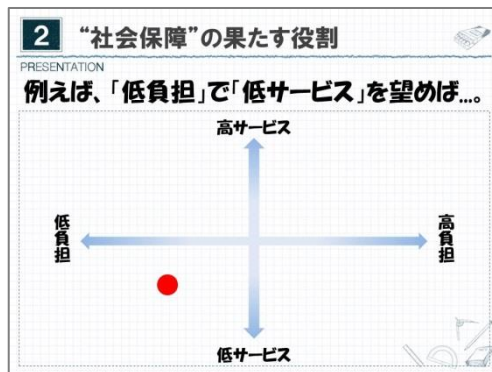




2 “社会保障”の果たす役割

今見てきたのが、社会保障制度の一例ですが、社会保障制度による「サービス」を実現するためには、「財源」、つまり、みなさんの「負担」が必要です。

もう一度、プリントNo. 11を見てください。社会保障制度の「お金」と「サービス」の関係は、どの程度がいいのかを考えてみましょう。●を付け、理由を考えます。



3 “社会保障”の在り方を考えよう。

さて、今までは「社会保障制度」の学習を進めてきました。どの国でも、子どもやお年寄りの面倒をみたり、病気を治療したりといったサービスは、何らかの形で確保されています。

しかし、国によって異なるのは、「誰が担うのか」ということです。今回、プリントではそれを「日本」、「スウェーデン」、「アメリカ」に分けて考えてみます。

3 “社会保障”の在り方を考えよう。

PRESENTATION



日本は伝統的に家族(F)、特に女性の無償労働に頼むところが多く、社会進出にも影響を及ぼしたとされています。一方、税などの国民負担は比較的安く抑えられてきました。

3 “社会保障”の在り方を考えよう。

PRESENTATION

日本、スウェーデン、アメリカと、3つの社会保障制度の形を見てきました。みなさんは、“3つの形”の中で、どの仕組みが良いと考えますか？

グループで考えてもらう前に、それぞれの「問題点」を整理しておきましょう。

3 “社会保障”の在り方を考えよう。

PRESENTATION

家族(F)依存型 **日本**

- 国民負担率は低い。
- 家庭内で子育てや介護といった福祉のニーズを満たすため、それを主に担う女性の負担が大きい社会。

問題点は…。

「家族」の負担が精神的にも、経済的にも大きく、いわゆる「介護疲れ」が発生する可能性がある。

3 “社会保障”の在り方を考えよう。

PRESENTATION

政府(G)依存型 **スウェーデン**

- 国民負担率は高い。
- 政府が福祉のニーズを満たしてくれるため、福祉サービスを誰もが比較的平等に利用できる社会。

問題点は…。

国民の負担が大きく、“もっと稼いでやろう！”という意欲が失われてしまう可能性もある。

3 “社会保障”の在り方を考えよう。

市場(M)依存型 **アメリカ**

- 国民負担率は低い。
- 福祉サービスを市場から購入することになるため、個人の所得に応じて福祉サービスの利用に大きな格差が生まれる社会。(高所得者は超豪華なサービスを利用できるが、低所得者はサービスを利用できないこともある)

問題点は…。

高所得者は超豪華なサービスを利用できるが、低所得者はサービスを利用できないこともあるなど、格差が生じる。

3 “社会保障”の在り方を考えよう。

家族(F)依存型 **日本**

「家族」の負担が精神的にも、経済的にも大きく、いわゆる「介護疲れ」が発生する可能性がある。

政府(G)依存型 **スウェーデン**

国民の負担が大きく、“もっと稼いでやろう！”という意欲が失われてしまう可能性もある。

市場(M)依存型 **アメリカ**

高所得者は超豪華なサービスを利用できるが、低所得者はサービスを利用できないこともあるなど、格差が生じる。

3 “社会保障”の在り方を考えよう。

家族(F)依存型 **日本**

「家族」の負担が精神的にも、経済的にも大きく、いわゆる「介護疲れ」が発生する可能性がある。

政府(G)依存型 **スウェーデン**

国民の負担が大きく、“もっと稼いでやろう！”という意欲が失われてしまう可能性もある。

市場(M)依存型 **アメリカ**

高所得者は超豪華なサービスを利用できるが、低所得者はサービスを利用できないこともあるなど、格差が生じる。

みなさんは、どの制度が望ましいと考えますか？

結び これからの望ましい“社会保障”とは…。

PRESENTATION

日本、スウェーデン、アメリカと、3つの社会保障制度の形を見てきました。それぞれの制度には、良い面も、問題点もありました。

日本は現在、家族(F)依存型ですが、少子高齢化が進むなど、日本社会が変わる中で、どのような在り方が望ましいのか、“私たち自身の課題”として考えていくようにしましょう。

蒲田高等学校

3限目

PRESENTATION

【政治経済】第17回
年金と社会保障制度の未来

【目標】
年金保険制度の特徴を学び、
社会保障のまとめを行う。

導入 “社会保障”も最後の時間

PRESENTATION

「社会保障制度」の授業も早いもので3回目を迎えました。この時間までに学んだこと、復習してみましょう。

- 社会保障制度は「人生のリスク(困難な事態やトラブル)」を補うものです。
- 社会保障制度は「**所得の再分配機能**」を持ち、格差を修正する役割も果たしています。
- 社会保障制度は“誰が担うか”によって異なり、それぞれに良い点と問題点があります。

導入 “社会保障”も最後の時間

PRESENTATION

さて、社会保障の授業の最後は「年金」です。年金に関して、みなさんからよく聞かれる質問は、「将来、年金ってもらえるの?」ということです。

もちろん、未来のことはわかりませんが、少子高齢化が進むなどのネガティブな要因によって、“将来、年金ヤバイ!?”というような、あまり根拠のない情報が広まっていますが、本当でしょうか?

導入 “社会保障”も最後の時間

PRESENTATION

この授業の目的は、みなさんに「年金」に関する正しい知識を身につけてもらうことです。具体的には以下のことです。

- ①「年金」制度の特徴
→「年金」と「貯蓄」の違いとは?
- ②年金保険のメリット
→目に見えない「利益」とは何でしょう?
- ③年金保険と今後の日本

導入 “社会保障”も最後の時間

PRESENTATION

何と、もう帰ってきた...

社会保障改め年金
「高校生クイズ」

導入 “社会保障”も最後の時間

PRESENTATION

第1問

30クイズ Q1 世界一長寿といわれる日本人女性の平均寿命は86歳です。では、現在65歳の日本人女性は、その後平均で何年生きると思いますか?

① 18年 ② 21年 ③ 24年

導入 “社会保障”も最後の時間

PRESENTATION

第2問

30クイズ Q2 今の男性の平均寿命は79歳ですが、例えば、30年以上前の1980年の男性の平均寿命は、何歳でしたか?

① 68年 ② 73年 ③ 78年

導入 “社会保障”も最後の時間

PRESENTATION

第3問

30クイズ Q3 会社員が退職して、老後を迎えるのは65歳からです。その後、30年間、つまり95歳まで生きるとしたら、老後の生活費はいくら必要ですか?

① 6300万円 ② 7300万円 ③ 8300万円

導入 “社会保障”も最後の時間

PRESENTATION

第4問

30クイズ Q3 平均寿命は、男性で79歳、女性で86歳ですが、国の年金は、何年間もらえると思いますか？

① 退職して10年間
② 退職して15年間(平均寿命まで)
③ 亡くなるまで

導入 “社会保障”も最後の時間

PRESENTATION

第5問

30クイズ Q2 自分たちが払う年金の保険料は、何に使われるの？

① 基本的には、自分の将来の年金のために積み立てている
② 基本的には、今の高齢者の年金に充てている

導入 “社会保障”も最後の時間

PRESENTATION

年金“高校生クイズ”を通して、年金に対する理解は深まったでしょうか？今日はまず、前々回のDVDの内容を復習しながら、年金保険制度そのものについて学んでいきましょう。

1 「年金保険」の特徴とは...？

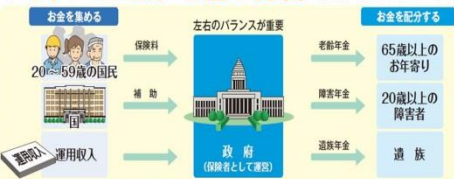
PRESENTATION

「**年金保険制度**」って...。
老齢・障害・死亡などを保険事故とし、被保険者や遺族の生活保障を目的とする年金保険制度のこと。(三省堂『大辞林』)

年金保険には、「**老齢年金**」、「**障害年金**」、「**遺族年金**」とありますが、いずれも共通するのは“**安定した収入が得られない人々の生活**”を補う制度であることです。

1 「年金保険」の特徴とは...？

年金保険には、「**老齢年金**」、「**障害年金**」、「**遺族年金**」とありますが、いずれも共通するのは“**安定した収入が得られない人々の生活**”を補う制度であることです。



1 「年金保険」の特徴とは...？

公的年金制度の全体イメージ (数値は2013年4月現在)



1 「年金保険」の特徴とは...？

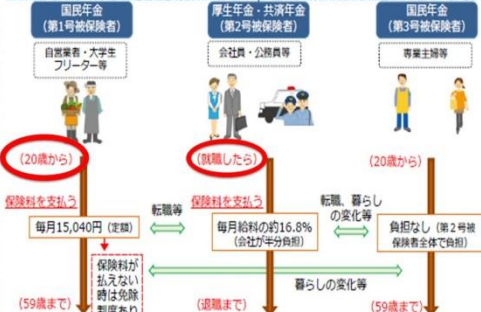
4. 国民年金 制度の全体イメージ (数値は2013年4月現在)

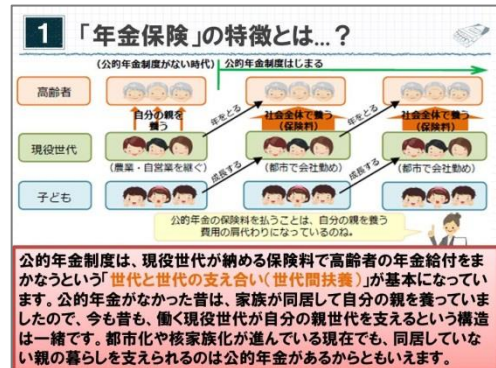
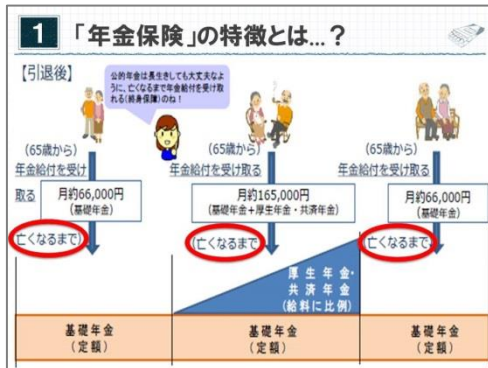
5. 厚生年金

6. 共済年金



1 「年金保険」の特徴とは...？





2 年金保険の「見えない」利益とは?

PRESENTATION

年金保険の特徴を学んだところで、次は年金と貯蓄との違いや、「年金」によって得られるものを考えます。題して....

年金人生ゲーム

2 年金保険の「見えない」利益とは?

PRESENTATION

「年金人生ゲーム」を通じて、年金保険や社会保険制度がもたらすものを考えていきます。それは単純に生活資金が賄えるということだけではなく、「見えない」利益」がもたらされます。ゲームを行いながら、その点を考えてみてください。

課題 年金人生ゲーム ※記入例

	収入	支出	社会保険料	預金(残高)
20歳	万円	万円	万円	万円
30歳	万円	万円	万円	万円
40歳	万円	万円	万円	万円
50歳	万円	万円	万円	万円
60歳	万円	万円	万円	万円
70歳	万円	万円	万円	万円
80歳	万円	万円	万円	万円
最終残高				万円

課題 年金人生ゲーム ※記入例

	収入	支出	社会保険料	預金(残高)
20歳	20 万円	10 万円	5 万円	5 万円
30歳	30 万円	30 万円	10 万円	-10 万円
40歳	万円	万円	万円	万円
50歳	万円	万円	万円	万円
60歳	万円	万円	万円	万円
70歳	万円	万円	万円	万円
80歳	万円	万円	万円	万円
最終残高				万円

課題 年金人生ゲーム①「20歳」

PRESENTATION

社会人として働き始めたあなた。毎日、仕事に頑張っています。

【収入】

【支出】

【社会保険料】

課題 年金人生ゲーム①「20歳」

PRESENTATION

社会人として働き始めたあなた。毎日、仕事に頑張っています。

【収入】
20万円(全員)

【支出】
10万円

【社会保険料】
5万円

課題 年金人生ゲーム②「30歳」

PRESENTATION

結婚し、子どもができたあなた。
家族のために頑張る毎日です。



【収入】

【支出】

【社会保険料】



課題 年金人生ゲーム②「30歳」

PRESENTATION

結婚し、子どもができたあなた。
家族のために頑張る毎日です。



【収入】

30万円

社会保険制度
に入っていれば
20万円

【支出】

15万円(「」が出た場合は、趣味のサッカーの試合で怪我をしたため、支出**30万円**)

【社会保険料】

10万円



課題 年金人生ゲーム③「40歳」

PRESENTATION

子どもも成長して、もうすぐ中学生です。
一家の大黒柱として頑張る毎日です。



【収入】

【支出】

【社会保険料】



課題 年金人生ゲーム③「40歳」

PRESENTATION

子どもも成長して、もうすぐ中学
一家の大黒柱として頑張る毎日

社会保険制度
に入っていれば
30万円

【収入】

40万円(「」, 「」が出た場合は、病気で入院したため、収入**0円**)

【支出】

20万円

【社会保険料】

15万円



課題 年金人生ゲーム④「50歳」

PRESENTATION

子どもが間もなく「成人式」を迎えます。
大学生の子どもにお金もかかります。



【収入】

【支出】

【社会保険料】



課題 年金人生ゲーム④「50歳」

PRESENTATION

子どもが間もなく「成人式」を迎
大学生の子どもにお金もかか

社会保険制度
に入っていれば
25万円

【収入】

50万円(「」, 「」が出た場合は、失業したため、収入**0円**)

【支出】

25万円(「」, 「」が出た場合は、子どもの大学の費用により、**40万円**)

【社会保険料】

20万円



課題 年金人生ゲーム⑤「60歳」

PRESENTATION

いよいよ定年退職を迎えました。
これからは「老後」の人生が始まります。



【収入】

【支出】



課題 年金人生ゲーム⑤「60歳」

PRESENTATION

いよいよ定年退職を迎えました。
これからは「老後」の人生が始まります。



【収入】

年金保険制度加入 **30万円**

年金保険制度未加入 **0円**

(「」が出たら、株式投資による利益で**50万円**)

【支出】

20万円



課題 年金人生ゲーム⑥「70歳」

PRESENTATION

だいぶ年齢を重ねてきました。
病気の頻度も少しずつ増えてきました。

【収入】



【支出】



課題 年金人生ゲーム⑥「70歳」

PRESENTATION

だいぶ年齢を重ねてきました。
病気の頻度も少しずつ増えてきました。

【収入】

年金保険制度加入 **30万円**

年金保険制度未加入 **0円**

(「**●**」が出たら、株式投資による利益で**50万円**)

【支出】

30万円(「**●**」)、「**●**」が出た場合は、病気による入院があり、**50万円**)



課題 年金人生ゲーム⑥「70歳」

PRESENTATION

だいぶ年齢を重ねてきました。
病気の頻度も少しずつ増えてきました。

【収入】

年金保険制度加入 **30万円**

年金保険制度未加入 **0円**

(「**●**」が出たら、株式投資による利益で**50万円**)

【支出】

30万円(「**●**」)、「**●**」が出た場合は、病気による入院があり、**50万円**)

社会保険制度
に入っていれば
30万円



課題 年金人生ゲーム⑦「80歳」

PRESENTATION

いよいよ最後のターンです。平均寿命は男性はこの年齢頃まで、女性はもっと長いです。

【収入】

【支出】



課題 年金人生ゲーム⑦「80歳」

PRESENTATION

いよいよ最後のターンです。平均寿命は男性はこの年齢頃まで、女性はもっと長いです。

【収入】

年金保険制度加入 **30万円**

年金保険制度未加入 **0円**

(「**●**」が出たら、株式投資による利益で**50万円**)

【支出】

30万円(「**●**」)、「**●**」が出た場合は、病気による入院があり、**50万円**)



課題 年金人生ゲーム⑦「80歳」

PRESENTATION

いよいよ最後のターンです。平均寿命は男性はこの年齢頃まで、女性はもっと長いです。

【収入】

年金保険制度加入 **30万円**

年金保険制度未加入 **0円**

(「**●**」が出たら、株式投資による利益で**50万円**)

【支出】

30万円(「**●**」)、「**●**」が出た場合は、病気による入院があり、**50万円**)

社会保険制度
に入っていれば
30万円



2 年金保険の「見えない「利益」とは？」

PRESENTATION

最終的な財産は、いくらになったでしょう...?

しかし、最終的な「財産」が多かったとか、少なかったとかが問題ではありません。特に、社会保障制度に未加入のみなさん、60歳以上の「老後」はいかがでしたか...?



2 年金保険の「見えない「利益」とは？」

老後に備えて貯蓄しても...

人は、何歳まで生きるかは予測できない。
(どれだけ貯蓄をすればよいかわからない)

50年後の物価や賃金の変動は予測できない。
(貯蓄しても、将来目減りするかもしれない)

いつ、障害を負ったり、小さな子どもがいる時に
配偶者を亡くす(=所得を失う)かわからない。

公的年金なら...

終身(亡くなるまで)で
受給できる

実質的な価値を保障され
た年金給付を受け取れる

障害年金・遺族年金を受け
取れる

年金保険は、「見える利益」として年金が支給されます。しかし、「見えない利益」として、寿命などに関係なく、(社会保障制度全体で)ある程度の生活が保障される「安心感」があります。

2 年金保険の「見えない」利益とは？

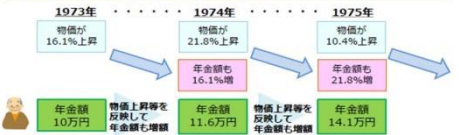
昔と今の物価

		1965年 → 2010年			1965年 → 2010年
食パン	1kg	94.9円 → 438円(4.6倍)	コーヒー(無糖) 1杯		71.5円 → 411円(5.7倍)
鶏肉	100g	71.0円 → 129円(1.8倍)	乳飲料 100ml	30円	→ 160円(5.3倍)
牛乳	瓶 1本	20円 → 114円(5.7倍)	クッキー 100g	100円	→ 710円(7.1倍)
うどん	1杯	53.7円 → 595円(11.1倍)	はちみつ 1kg	5円	→ 50円(10倍)
カレーライス	1皿	105円 → 742円(7.1倍)	ノートブック 1冊	30円	→ 144円(4.8倍)

(出典) 小売物価統計調査

「実質的な価値の保障」の例

1973年から数年間、オイルショックと呼ばれる、原油価格高騰による経済混乱(インフレーション)が発生しました。ちょうど1973年、公的年金制度に物価スライド方式(物価の上昇に応じて年金額が増える仕組み)が採用されていたため、年金額の価値が実質的に保障されました。



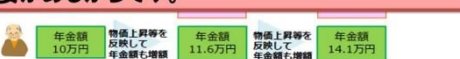
2 年金保険の「見えない」利益とは？

昔と今の物価

	1965年 → 2010年	1965年 → 2010年	
食パン 1kg	94.9円 → 438円(4.6倍)	コーヒー(無糖) 1杯	71.5円 → 411円(5.7倍)
鶏肉 1kg	71.0円 → 129円(1.8倍)	乳飲料 100ml	30円 → 160円(5.3倍)
牛乳 1本	20円 → 114円(5.7倍)	クッキー 100g	100円 → 710円(7.1倍)
うどん 1杯	53.7円 → 595円(11.1倍)	はちみつ 1kg	5円 → 50円(10倍)
カレーライス1皿	105円 → 742円(7.1倍)	ノートブック1冊	30円 → 144円(4.8倍)

(出典) 小売物価統計調査

私たちは自分がどれくらい長生きするかわかりません。また、50年後の生活水準を予測することもできません。老後に備えて貯金をするのは大事なことです。長い人生には、自分1人では対応できないこともあります。公的年金があるのは、こうしたリスクへ社会全体で備える必要があるからです。



3 年金保険と社会保障制度の未来

PRESENTATION

この時間は年金保険を学びました。この3時間で、みなさんは社会保障制度への理解が深まったと思います。
 最後のまとめとして、年金保険や社会保障制度の未来について考えていきましょう。
 冒頭でも言いましたが、年金や社会保障制度について、こんな「声」を聞いたことはありませんか？

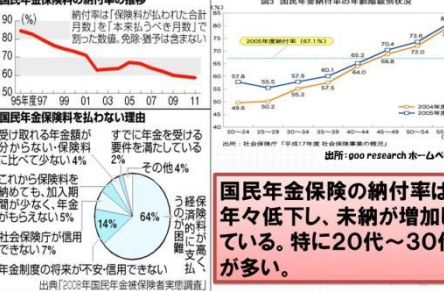
3 年金保険と社会保障制度の未来

PRESENTATION



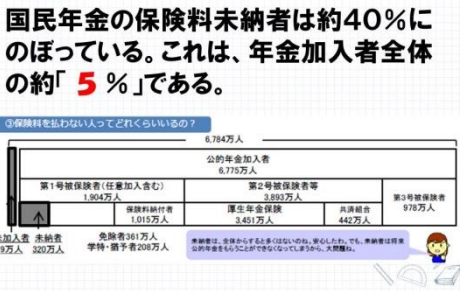
3 年金保険と社会保障制度の未来

PRESENTATION



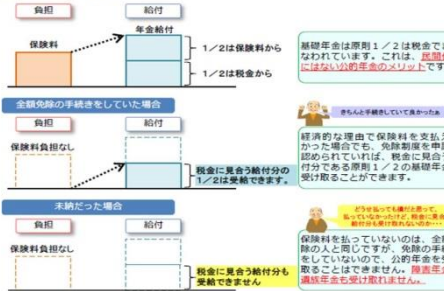
3 年金保険と社会保障制度の未来

PRESENTATION



3 年金保険と社会保障制度の未来

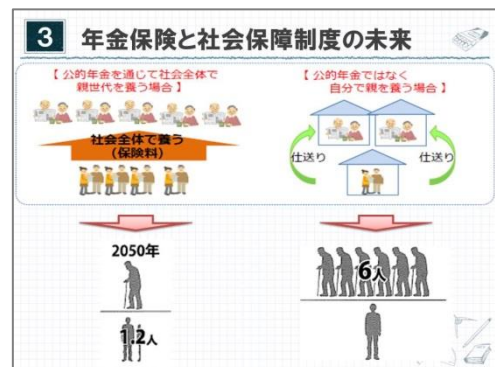
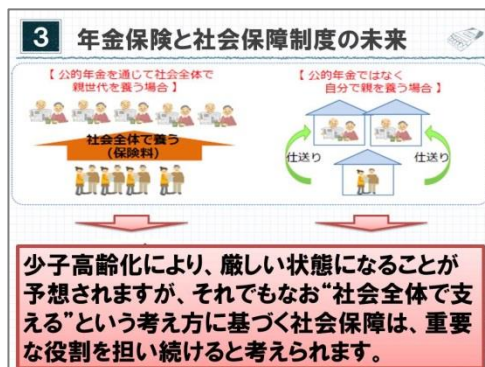
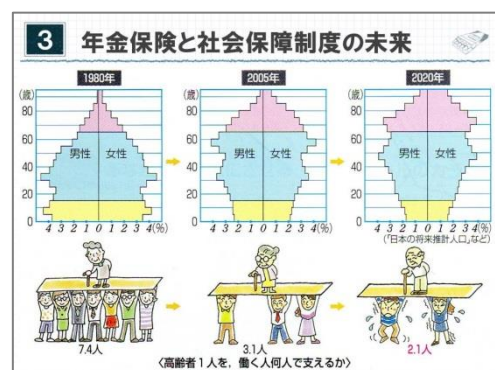
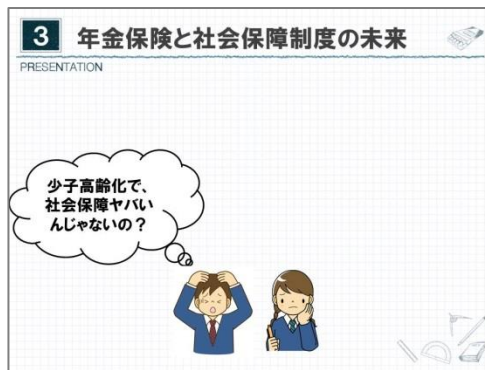
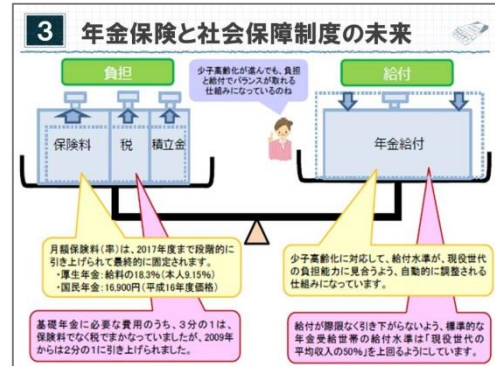
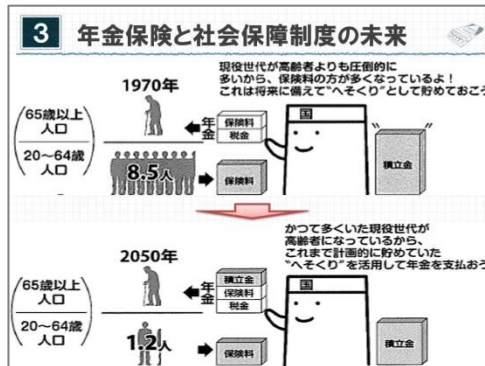
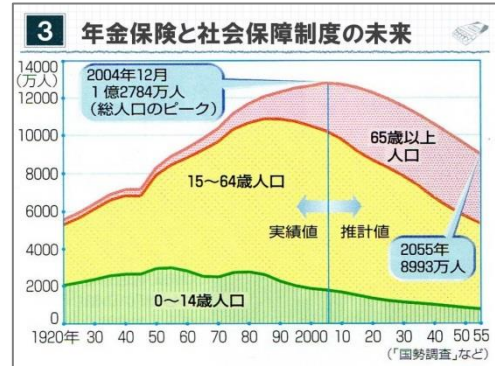
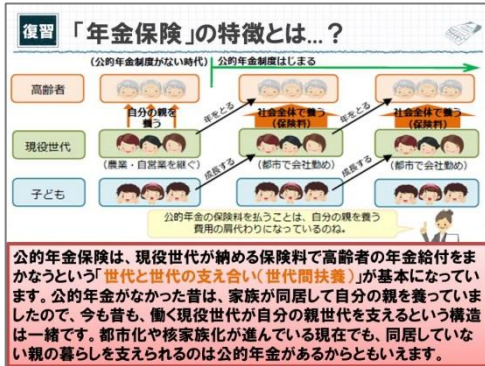
【国民年金(基礎年金)の負担と給付】



3 年金保険と社会保障制度の未来

PRESENTATION





3 年金保険と社会保障制度の未来

PRESENTATION

年金や社会保障に関しては、少子高齢化などの将来へのネガティブなイメージが先行し、(時に根拠に乏しい)悲観論が広がる傾向にあります。

しかし、私たちはあくまでも冷静に現状を見つめなければなりません。「情報」だけに惑わされることなく、「真実」を見る目を養うことが大切です。

結び 社会保障制度と日本の未来

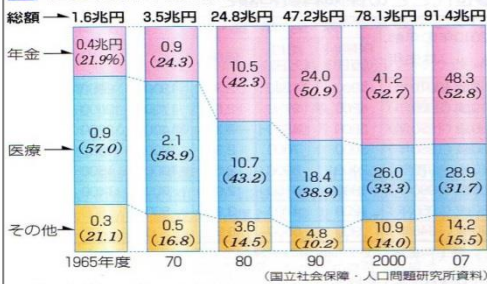
PRESENTATION

3時間にわたって、社会保障制度の学習を進めてきました。みなさん、これから社会に出ていく前に、社会保障に対する理解は深まりましたか？

今日の後半では社会保障制度の未来に関する「真実」を見てきましたが、もちろん、だからといって社会保障制度の未来は安心！と自信を持って言い切れるものではありません。

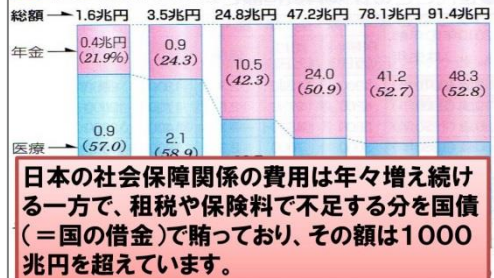
結び 社会保障制度と日本の未来

2 社会保障給付費の推移



結び 社会保障制度と日本の未来

2 社会保障給付費の推移



結び 社会保障制度と日本の未来

PRESENTATION

高齢化が進むことによる社会保障関係費の増加は、日本の未来にとって大きな課題です。もちろん、これから社会に出ていくみなさんにも関わる重要な課題です。

日本には、どのような社会保障制度の在り方が良いのか、そのためには今後何が必要なのか、これから生きる私たちの課題として、考えていくようにしましょう。

足立新田高校 1・2限目

物語から知る「自立」「社会保障のあり方」

- ・ありとギリギリス、三匹のこぶた、フランダースの犬
- ・1890年代の会話から今を見つめる。

「子どもたちが私たちの老後の面倒もみてくれるんだ。」「子どもはたくさんいる方が安心ね。」

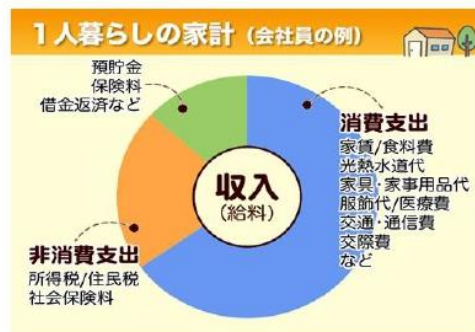
→今は、

「ローザの薬草は良く効くのよ。私たちにはお医者さんに払うお金がないの。」

→今は、

「もうすぐ陣痛がはじまりそう。皆がいて安心だわ。」

→今は、



この学習では、パワーポイントの画面を見ながらプリントをめぐり記入していきます。指示に従ってページを開いて下さい。

表題：公的保障の中の社会保障

表題：「社会の一員として生きていくこと」とは

表題：わたしたちの生活と社会保障（イメージ）

表題：ライフサイクルでみた社会保障の給付と負担のイメージ

表題：高校生として必ずおさえておきたい“年金の基礎知識”

表題：高校生として必ずおさえておきたい“公的年金のメリット”

※学習の最後に考えたこと、思ったことを下記の余白にまとめなさい。

自立に向けて・・・ 社会保障を知る

「ありとぎりぎりす」・・・備えあれば憂いなし
「三匹のこぶた」・・・日常生活のリスクを最小限に
「フランダースの犬」・・・社会保障のない時代



1850年代の社会保障

「子どもたちが私たちの老後の面倒もみてくれるんだ。」
「子どもはたくさんいる方が安心ね。」
「ローザの薬草は良く効くのよ。私たちにはお医者さんに
払うお金がないの。」
「もうすぐ陣痛がはじまりそう。皆がいて安心だわ。」



不慮の事態、不慮の事故が起きたら？



リスクへの備え

事故による経済的損失

公的保障

社会保障制度

私的保障

保険

預貯金

社会保障制度について

財源：非消費支出の税金や社会保険料

こんなにあつい！社会保障

特に医療保険（健康保険）

◇医療費自己負担額軽減（患者負担は3割）

◇出産育児一時金

◇傷病手当金、出産手当金（会社員・公務員）

財源なくして、社会保障なし



公的保障の中の社会保険

社会保険

保険（国民年金、厚生年金、共済年金）

保険（健康保険など）

保険

保険

保険

公的保障の中の社会保険

社会保険

年金保険（国民年金、厚生年金、共済年金）

医療保険（健康保険など）

介護保険

労働者災害補償保険

雇用保険

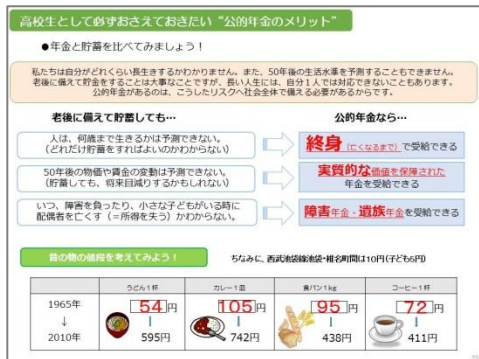
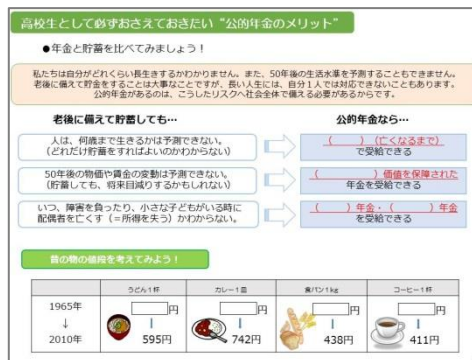
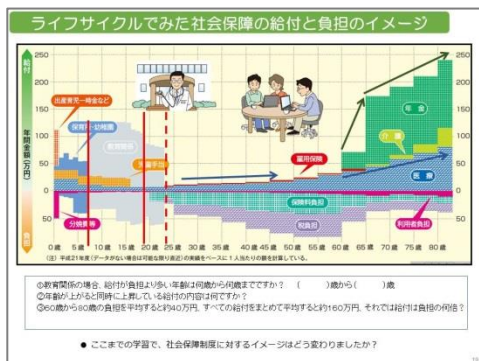
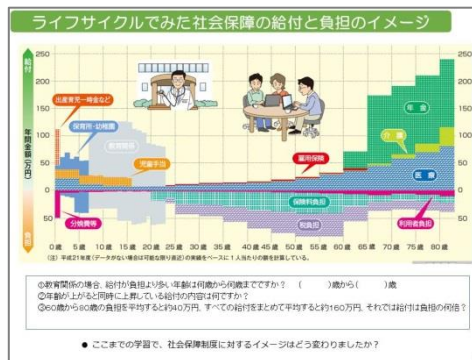
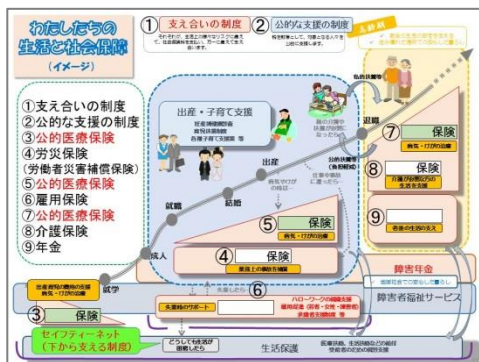
近い将来・遠い未来

社会人の初任給はどのくらい？

税金以外に差し引かれるものは？

初任給すべてが使えるわけではないよね。税金とか。家計で見よう。





芥川高等学校

1限目



「そんなん、知らんし」
で済ませていいのかな

社会保障クイズ

- (1) 社員が退職して老後を迎えるのは 65 才からです。その後 30 年つまり 95 才まで生きる
として老後の生活費はいくら必要ですか？
① 6300 万円 ② 7300 万円 ③ 8300 万円
- (2) 日本の平均寿命は男性 79 才 女性 86 才ですが、年金はいつまでもらえると思いますか？
① 退職して 10 年 ② 平均寿命まで ③ 亡くなるまで
- (3) 国の年金制度に入っているのは誰でしょう
① 国民全員 ② 原則 20 歳以上の人 ③ 原則 60 歳以上の人
- (4) 今支払われている保険料は何に使われているのでしょうか
① 自分の将来の年金を積み立てている ② 今の高齢者の年金に充てている
- (5) 今から 50 年後にもらえる年金額はどうなっているのでしょうか？
① 上がっている ② 下がっている ③ その時の物価に連動する
- (6) 国民年金保険料の納付率が 60% を下回ったというニュースがありましたが、年金の保険料
を支払っていない人は年金加入者の何%なのでしょう
① 約 40% ② 約 5% ③ 約 60%
- (7) あなたが一人っ子だったとして国民年金の仕組みがなかったら 2030 年にはあなた一人で
何人の高齢者を支えていることになると思いますか？ () 人
- (8) 年金は高齢者世帯の収入の () 割を占めている
() 割の 高齢者世帯が年金収入だけで生活している。
- (9) 自分のおじいちゃんやおばあちゃんの年金はいくらくらいだと思いますか
一か月 () 万
- (10) 部活中に骨折して入院手術 窓口で 3 万円支払いました。もし
保険証がなかったら いくら払うことになると思いますか
() 万円



DVD 視聴 社会保障って、なに？ 身近な人から学ぶ健康保険や公的年金の話

人生には リスク コントロールできない出来事がある。() ケガ ()
かつては地域や親族などで支えあい → 今は社会全体で行う・・・ () 制度
その多くは () 保険という仕組みを使っている

[公的医療保険制度 () 保険について] 卓也君と先輩の滝沢さん

治療費の負担をどうするか

月額 () 万円の治療費 → 自己負担額 () 万円

緊急時に () して治療を受けられる・・・ 健康保険

昔は 高い治療費を自分で用意しなければ治療できなかった → みんなで毎月少しずつお
金を出して、病気になった人の治療費を払う。 基本的に治療費の () 負担。

大きな治療費がかかる時には () 療養費制度を利用できる。

() のある人 () でも 大丈夫。誰でも () な時に ()
な治療を受けられる。

[真紀さんとおかあさん] 公的年金

公的年金は () である。

保険・・・病気や事故など () が起きた時のために毎月保険料を納めておいてい
ざという時に保険金を受け取る仕組み

() 人の納めたお金 + () → 年金

公的保険の保険料は 今の高齢者の年金になる

貯金との違い 貯金・・・なくなる・・・ ()

年金・・・死ぬまでもらえる・・・お金が無くなる () をしなくていい

年金の種類

老 齢 年 金 年をとった場合

() 年金 障害者になった場合 若い時にもなる可能性ある

() 年金 一家の生計を支えていた人が死亡した場合

年金の加入年齢は () から

年金の保険料を納めることで「親の長生き」を一生支えるための負担を

(みんな) で分かちあうことができる・・・ 社会全体で支える仕組み

厚生年金・・・ () が加入 基礎年金 + 厚生年金の2階建て

所得の低い人にとって () な仕組み・・・ 健康保険や介護保険も同じ

() 納付特例制度

学生を対象とした保険料の納付を一定期間猶予する制度

保険料 () ・ 納付猶予制度・・・ 収入が低い人向けに保険料の納付を免除したり
猶予したりする制度。手続きをしておくとその期間中でも、万一事故や病気などで障害を
負った時 障害年金を受け取れる 老齢年金の特例も受けられる

まとめ

健康保険

誰でも必要な時に必要な医療を受けることができる（ ）な支出を抑えることができる
いつ病気になっても（ ）していただける

公的年金は（ ）である

年金は保険料を（ ）人しか受け取ることができない

働いている人が納めた保険料に（ ）を加えてお年寄りに渡している

公的年金は（ ）まで受け取ることができる

老齢年金・（ ）年金・（ ）年金がある

年金の保険料を納めることで負担を（ ）で分かち合うことができる

年金の加入年齢は（ ）

あらかじめみんなでお金を出し合って社会でみんなの（ ）を支えあう仕組みである

わかったこと

わからなかったこと

感想

3年 組 番 氏名

芥川高等学校

2限目

知らないことが一番怖い 知らないと身を守れない

社会保障の理念 憲法25条 生存権

- 1 すべての国民は（健康）で（文化的）なく（最低）限度の生活を営む権利を有する
- 2 国はすべての生活部面について、社会福祉 社会保障及び公衆衛生の向上及び 増進に努めなければならない

目指す社会（誰もが参加できる活力ある社会 子どもを産み育てやすい社会）

1961年（国民皆保険 ・ 国民皆年金）

自立しよう（自助）	自ら働き自分の生活や健康は自分で守る	自分のお金	貯金 資金運用 民間保険
自立を支えるために事前に準備しよう（共助）	困難に対して社会連携の考え方で支えあう	社会保険料	社会保険制度
すでに困っている人を助けよう（公助）	特定の人々の生活を公的に支援する	税金	障害者福祉・児童福祉 生活保護

3つの基本機能役割（生活安定向上）機能（所得再分配）機能（経済安定化）機能

	社会保険	社会福祉	公的扶助	公衆衛生
社会保険費に占める割合	82%	4%	3%	1%
制度	（医療）保険 （年金）保険 労災保険 介護保険	（児童）福祉 母子福祉 身体障害者福祉 高齢者福祉	（生活保護）	感染症予防 （予防接種）
制度の趣旨	病気 労働 災害 失業などの保険事故に備えて人々があらかじめ（保険料）を出し合い保険事故にあった人にお金やサービスを支給する	子供への保育や障害者等への福祉サービスを社会的に提供し（生活の安定）や自己実現を支援する	資産、能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する人に対して必要な保護を行うとともに（自立を助長する）	国民が健康的な生活を送れるようにするため病気の予防や積極的な健康づくりを公的に行う
財源	保険料	公費（租税）	公費（租税）	公費（租税）

国民健康保険

医療保険・・・病気・ケガ 時のリスクを保障する 生涯にかかる医療費 2300 万円くらい
民間保険では必要な人に保障がいきわたらない恐れがある
基本的に3割負担 高額療養費制度

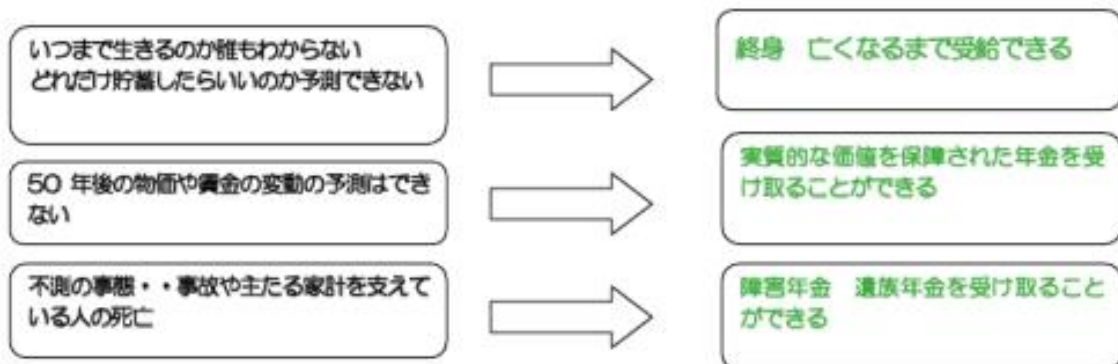
*米 民間の医療保険に個人で参加 治療によって負担額が違う。 医者によって診療費が違うことも多い
健康保険と歯科保険は別 初診料 150~300\$ 歯1本 1000\$ 盲腸の手術 1万ドル

国民年金（仕送り）方式（扶養）を社会化した制度。

（老齢年金）（障害基礎年金）（遺族年金）3本立て

国民年金 月額（15000円） 厚生年金 給料の（17%）（会社と自分と半分ずつ）

貯金との違い



	うどん	カレー	食パン	コーヒー
1965 → 2010	54円 → 595円 	105円 → 742円 	95円 → 438円 	72円 → 411円 

物価の上昇 1万円 うどん 200杯分 16杯分



福祉ニーズの量は、国によってそれほど変わるものではないが、家族（F）、市場（M）、政府（G）のどこで福祉のニーズを満たしているかは、国によって大きく違う（人々がどんな社会にしたいかを映し出している）。

Q：日本、アメリカ、スウェーデンはどの型に最も近いでしょうか？ 空欄に国名を記入してみよう。

家族（F）依存型

- 国民負担率は低い
- 家庭内で子育てや介護といった福祉のニーズを満たすため、それを主に担う女性の負担が大きい社会



政府（G）依存型

- 国民負担率は高い
- 政府が福祉のニーズを満たしてくれるため、福祉サービスを誰もが比較的平等に利用できる社会



市場（M）依存型

- 国民負担率は低い
- 福祉サービスを市場から購入することになるため、個人の所得に応じて福祉サービスの利用に大きな格差が生まれる社会（高所得者は超豪華なサービスを利用できるが、低所得者はサービスを利用できないこともある）



社会保障を取り巻く現状

（ 少子高齢化 ）（ 非正規雇用の増加 ）

*今後、日本はどうしていきべきか

払う金額を増やす？

払える人を増やす？

あなたの考え

3年 組 番 氏名 _____

振り返りシート

今回の授業で 一番「これ 知らなかったらこまるやん」 と思ったこと

次の時間はポスターづくりをします

あなたが知らせたいことを まとめて下書きしてみましょう

3年 組 番 氏名 _____

待ってくれるんねんて！

20 歳になって年金加入のお知らせが来てたけど・・・
学生のバイト代で年金保険料なんて払えない！！
年金なんて払ってもらわれへんかもしれんし・・・



学生特例制度

を使えば大丈夫！！

(注)自分で申請しないと適用されません

年金は年を取ってからだけではありません
障害基礎年金 や 遺族年金 も保険料を払って
いなければもらえません。

今すぐ手続き を！！

高槻市HP 市民課 国民年金チームのページを見てみよう

茨木西高等学校

1限目

家庭生活と社会保障

～社会保障って、なに？①～

DVDを視聴し、
社会保障について
理解しよう！

社会保障の考え方

Q. 私達の人生には、どのような**リスク**があるだろう？

病気 けが 死亡 障害
老後の生活費が不足 失業

社会保障の考え方

社会保障制度とは
個人の力だけでは備えることに
限界がある**生活上のリスク**に対
して、**社会全体で助け合い、
支えようとする仕組み**

日本では、全ての国民に人間としての
最低限度の生活が保障されているんだ！
(憲法第25条)

家庭生活と社会保障

～社会保障って、なに？①～

<目的>

社会保障について理解を深め、
自分の生活に役立てよう！

社会保障って、何？
～身近な人から学ぶ健康保険や公的年金の話～

2013. 11. 8

目的：社会保障について理解を深め、自分の生き方や生活に役立てよう。

1. プロローグ (クイズにチャレンジしてみよう！)

Q. 1 公的年金保険料は、何に使われていますか？

①自分の老後のために積み立てられる。

②今の高齢者の年金になる。

Q. 2 公的年金は、老後に受け取るもので、若い時には受け取れない。

① ○ ② ×

Q. 3 公的年金を受け取っている高齢者は、健康保険の保険料を納付しなくても良い。

① ○ ② ×

2. 社会保障保障制度とは・・・支え合いを社会全体で行う制度のこと

社会保障

①公的 () 制度

②公的 () 保険制度 (健康保険)

3. 健康保険の事例

健康保険のおかげ

1 か月で...

・胃がんの手術 治療費 (③) 万円 → 自己負担額 (④) 万円 (一般的な例)

* 急な支出を抑えられた

* いつ病気になっても経済的に (⑤)

4. 健康保険の概要

・緊急時に安心して病院で治療を受けることが出来る制度が (⑥) 保険

* みんなで毎月少しずつお金を出し合って、病気になった人の治療費を払う仕組み

* (⑦) 制度・・・大きな治療費がかかる場合にその負担を軽くする制度

* 誰でも必要な時に必要な (⑧) を受けられる

Q 3 の答え・・・ (⑨)

5. 公的年金 (老齢年金) の事例

保険・・・病気や怪我や事故など、困ったことが起きた時のために毎月保険料を納めておいて、いざという時に保険金を受け取る仕組み

・公的年金は、(⑩) である

* あらかじめ、みんなでお金を出し合って社会全体でみんなの生活を支えあう仕組み

* 年金は、保険料を納めた人しか受け取ることができない

* 公的年金は、亡くなるまで受け取ることができる

<年金の仕組みの図>

Q 1 の答え・・・ (⑪)

賦課方式の仕組み・・・働いている人たちからお金を集める + 税金 → お年寄り (年金)

* 終身給付と安心

年金保険

* 年取った場合・・・(12) 年金

<若い時になる可能性がある>

* 障害者になった場合・・・(13) 年金

* 一家の生計を支えていた人が死亡した場合 (14) 年金

Q2の答え・・・(15)

* 年金の加入年齢は (16) 歳

6. 公的年金の概要

・ 横(同世代間)の支え合い・・・公的年金は、働いている人がお年寄りの生活を支えるとともに、働いている人の負担の偏りを減らすことになった。

・ 年金の保険料を納めることで、親の長生きを一生涯支えるための負担をみんなで分かち合うことができる。

* 社会で支える・・・お年寄りを (17) 全体で支える仕組み

* 厚生年金制度・・・所得の高い人が低い人よりも保険料を多く納付している

* 健康保険・介護保険・・・年金と同じように所得の低い人にとって有利な仕組み

7. 健康保険・公的年金のまとめ

・ 学生納付特例制度・・・学生を対象とした保険料の支払いを一定期間 (18) する制度

・ 国民年金保険料免除・納付猶予制度・・・収入が低い人向けに保険料の納付を (19) したり猶予したりする制度

* 手続きをしておけば、万が一自己や病気などで障害を負ったときには、(20) 年金を受け取ることができる。老後の年金の特例も受けられる。

* 高校卒業後、就職した場合は、健康保険と年金に加入しなければならない

ライフプランについて

* 公的年金は、老後の生活資金の全てを賄うものではない・・・貯金や住居を用意することも必要

8. 人生をどのように過ごしていくのか、リスクに備えた自分なりのライフプランを考え、「社会保障と私」をテーマに400字以上で論じなさい。(別紙にて宿題)

9. 自己評価 (授業にしっかりと取り組み、理解できたか A・B・C)

10. 振り返り (考えたこと・感想)

* 社会保障制度(健康保険・公的年金)についてどう思うか?

年 組 番氏名

茨木西高等学校

2限目

家庭生活と社会保障

～社会保障って、なに？②～

<目的>

公的年金のあり方や保険料を納める意味、少子化への対応について自ら考え、自分の生活や生き方に役立てよう！

日本の社会保障制度

資料p. 2 図表2 参照

財源

「社会保険」・・・保険料＋税
「社会福祉」・・・税
「公的扶助」・・・税
「公衆衛生」・・・税

社会保障の中心

社会保険について 資料p. 1

* 知らなかった所に赤線を引こう！

* 給付を受けるためには、事前に保険料を拠出する義務があり、拠出していない場合には、実際にリスクに見舞われても、原則給付を受けることが出来ない仕組み(14～19行目)

* 「医療保険」「年金保険」「雇用保険」「労災保険」「介護保険」(20～24行目)

* すべての人々の生活のリスクを分かち合うため、法律で全ての人々への加入を義務付ける仕組み(31～34行目)

国の年金の仕組みは？

Q1 国の年金制度に入っているのは誰でしょう？

- A. 国民全員
- B. 原則20歳以上の人
- C. 原則60歳以上の人

年金の保険料を払わないと？

Q2 保険料を払える収入があるのに払わない人は？ ○ or ×

法律違反

税金の払い損

(年金が給付されない)

* 年金は、保険料＋租税が財源

国の年金の仕組みは？

Q3 自分達が払う年金の保険料は、何に使われるの？

- A. 基本的には、自分の将来の年金のために積み立てている。
- B. 基本的には、今の高齢者の年金に充てている。

公的年金の意義

資料p. 3 28行目

賦課方式 ... 現役世代全員で拠出した保険料

高齢者等に給付

- * 公的年金は、長生きリスク・インフレリスクへの対策
障害を負った時や死亡した際に遺族がいるときの保障
- * 仕送り方式で、扶養を社会化した制度
- * 高齢者の生活を支え、経済を支えている

どうして年金は「仕送り方式」？

Q4 今から50年後にもらえる年金額は
どうなっているか？

- A. 上がっている
- B. 下がっている
- C. 上がるか下がるか分からないが、基本的にそのときの物価や賃金に連動する

資料p. 4~5

- * 皆年金、20歳で加入、遺族・障害年金、納付特例制度 (学生や所得の低い人の保険料支払いを猶予したり免除したりする制度)
- * 高齢化への対応 (基礎年金の半分が税金、5年ごとの財政状況チェック)
- * 未納・未加入は障害・遺族年金を受け取ることもできないこと 等

年金の保険料を払わないと？

Q5 収入が低くて、年金の保険料を払えない人はどうすればよいか？

正しいものは？

A. あきらめる

B. 保険料免除制度を利用する

**支払いを待ってもらう手続きを
して、払えるようになったら払う**

「幸福を分かち合う社会」とは？
“社会保障制度”が果たす役割を理解しよう！

「社会保障」に関する“高校生クイズ”

Q 1. 部活中に骨折して、入院・手術……。あなたは窓口で保険証を出して3万円を支払いました。もし、保険証がなかったら、いくら支払うことになるでしょう？

6万円	9万円
10万円	15万円

Q2. 「年金」の保険料は20歳から払いはじめます。 それでは、年金の受け取りについて、「20歳から受け取る場合もある？」

ホント ウソ

○あなたが望ましいと考える
「社会保障制度」とは？ 赤で☆

○実際の日本の「社会保障制度」はどの位置にあると思うか？

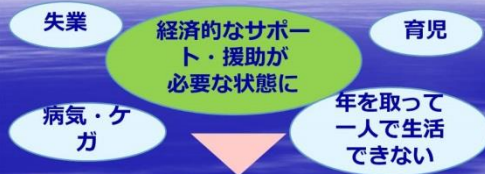
青で☆

理由は？



<http://stats.oecd.org/>

「幸福を分かち合う社会」とは？
“社会保障制度”が果たす役割を理解しよう！



社会保障制度が必要

- * 社会保障制度の役割は、様々なリスクから国民の生活を守ること
- * 社会保障は、人々が安心して生活できる重要な基盤
＝経済社会の安定や発展が支えられている

社会保障の機能・役割

資料p. 2 13行目～

①生活安定・向上機能

*** 人々の自立した生活を支援し、社会全体の活力に！**

②所得再分配機能

* 低所得者は、より少ない税・保険料負担で社会保障給付

③ 經濟安定化機能

* 高齢者等の生活を安定 & 経済社会の安定

◆「社会保障制度」を整理してみよう。

憲法第25条で「生存権」が規定されて以降、日本の社会保障制度は大きく発展し、様々な仕組みが整備されてきた。その中心は、主に（1 **社会保険料** ）を財源とする「社会保険」であり、

(2 **税金**) を財源とする「社会福祉」や「公的扶助」、「公衆衛生」などがそれを補足している。

◆「社会保障制度」を整理してみよう。

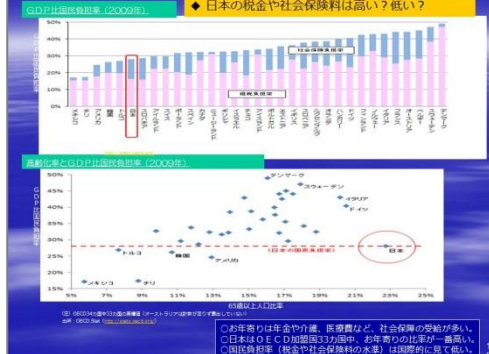


社会保障制度は、私たちが市場での貢献度に
応じて得た所得を、必要度に応じて修正する
『所得の（ **再分配** ）機能』を果たし
ている。

◆「社会保障制度」を整理してみよう。

- 経済的なサポート・援助が必要な時のために、**あらかじめみんなで出し合った税・社会保険料を基にして社会的に備えておく仕組み**があるので、私たちは安心して毎日の仕事や生活に全力を尽くすことができる。
- 社会保障制度は、**所得の低い人に対して所得の移転を通じて生活を保障したり、病気やけが、障害や高齢により、生活上の困難を抱えたときに、それを乗り越えるのに必要な専門的なサービスや生活費を保障している。**
- このようにして、**私たちは同じ社会の一員としてお互いに支えあっている**のである。

◆日本の税金や社会保険料は高い？低い？



◆「社会保障制度」…国によって様々なパターンがある。

福祉サービスの提供は、国によって大きく異なるものが多い。家族（F）、市場（M）、政府（G）のどこで福祉サービスのニーズを満たしているかは、国によって大きく異なる（人々がどんな社会にしたいかを表している）。

Q：日本、アメリカ、スウェーデンはそれぞれの型に最も近いでしょうか？
下表の右の空欄に国名を記入してください。

家族（F）依存型 ○国民負担率が高い ○家庭内で子育てや介護といった福祉のニーズを満たすため、それを主に担う女性の負担が大きい社会	日本
政府（G）依存型 ○国民負担率が高い ○政府が福祉のニーズを満たしてくれるため、福祉サービスを誰もが比較的平等に利用できる社会	スウェーデン
市場（M）依存型 ○国民負担率が高い ○福祉サービスを市場から購入することになるため、個人の所得に応じて福祉サービスの利用に大きな格差が生じる社会（高所得者は高額のサービスを利用できるが、低所得者はサービスを利用できないこともある）	アメリカ

※F、M、Gは、それぞれ家族、市場、政府が提供する福祉サービス

社会保障制度… 資料p. 3 9行目～

所得再分配 → 格差は正・経済社会安定
活性化
給付を手厚くすると…人々の負担増

所得の高い人がより多くの税や保険料を拠出し、所得の格差を緩和

私達は、日本がどのような社会を目指し、そのためにどのような機能をどの程度求めるのか？

今後の社会保障は？ 資料p. 6

高齢化 独居高齢者 共働き 非正規雇用 少子化

医療・介護・保育などの在り方やどう支えていくか？

若者、女性、高齢者、障害者など誰もが参加できる活力のある社会、子どもを産み、育てやすい社会を！！

◆「社会保障制度」…国によって様々なパターンがある。

あなたの考えは？

あなたはどんな社会がいいと思う？

※F、M、Gは、それぞれ家族、市場、政府が提供する福祉サービス

理由は？

家庭生活と社会保障

～社会保障って、なに？②～

感想をしっかり書こう！